

「第 5 次安堵町総合計画・第 2 期安堵町総合戦略」策定のための
アンケート調査結果報告書

令和 3 年 3 月

安堵町

目 次

第1章 調査概要.....	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の区分	1
3. 数値等の基本的な取扱いについて	1
第2章 まちづくりアンケート調査結果.....	2
1. 属性	2
2. 町の住み良さについて	8
3. 健康・医療・福祉について	19
4. 生活環境について	23
5. 産業振興・都市基盤について	32
6. 教育・文化について	34
7. 行財政・まちづくりについて	39
第3章 事業所アンケート調査結果.....	49
1. 事業所（団体）の概要	49
2. 現在の事業状況	55
3. 今後の事業について	59
4. まちづくりについて	63
5. その他意見	66
第4章 中高生アンケート調査結果.....	67
1. あなた自身について	67
2. 安堵町について	69
3. 町の住み良さについて	71
4. まちづくりについて	73
第5章 転入者アンケート調査結果.....	81
1. 調査結果	81
第6章 転出者アンケート調査結果.....	82
1. 調査結果	82
第7章 調査票.....	88
1. まちづくりアンケート調査票	88
2. 事業所アンケート調査票	100
3. 中高生アンケート調査票	102
4. 転入者アンケート調査票	106
5. 転出者アンケート調査票	108

第1章 調査概要

1. 調査の目的

「第5次安堵町総合計画・第2期安堵町総合戦略」（令和4年度から10年間）の策定に当たり、その資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査の区分

本調査は、令和2年10月～令和3年2月に実施しました。配布・回収方法、回収数などは以下のとおりです。

種類	まちづくりアンケート	事業所アンケート	中高生アンケート
対象	町内にお住いの18歳以上の方を無作為抽出	町内に住所のある事業所を無作為抽出	町内にお住いの中高生をはじめとする若者の方
調査方法	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収	学校または郵送による配布・回収
調査期間	令和2年10月23日 ～11月11日	令和2年10月23日 ～11月11日	令和2年10月23日 ～11月11日
配布数	1,500 票	125 票	260 票
回収数	566 票	77 票	179 票
回収率	37.7%	61.6%	68.8%

種類	転入者アンケート	転出者アンケート
対象	町内に転入された方	町内から転出された方
調査方法	窓口での配布・回収	窓口での配布・回収
調査期間	令和2年11月1日 ～令和3年2月5日	令和2年11月1日 ～令和3年2月5日
回収数	2 票	11 票

3. 数値等の基本的な取扱いについて

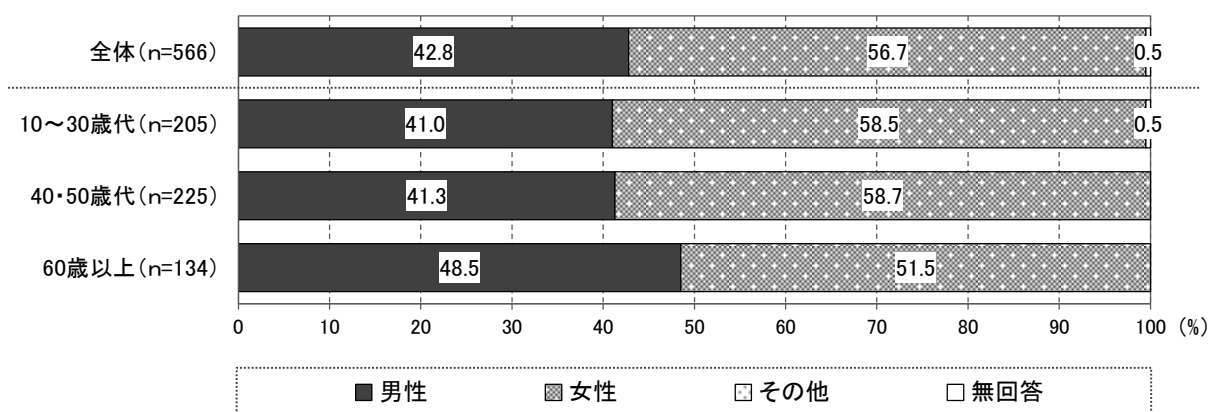
- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。（回答者総数または該当者数）
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー（選択肢）の文言は、一部簡略化する場合があります。
- ・文中、グラフ中の数値や選択肢の文言は、一部省略・簡略化してあります。また、割合が0%であった箇所や無回答の数値は、一部を除いて基本的に省略しています。

第2章 まちづくりアンケート調査結果

1. 属性

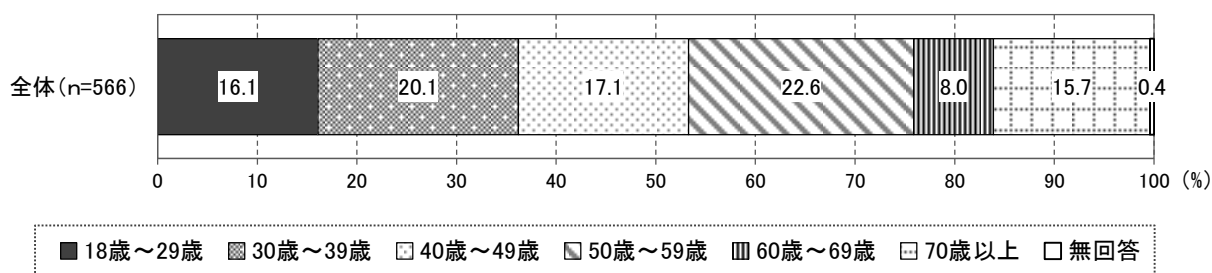
問1 あなたの性別はどれに該当しますか。

「男性」が42.8%、「女性」が56.7%となっています。



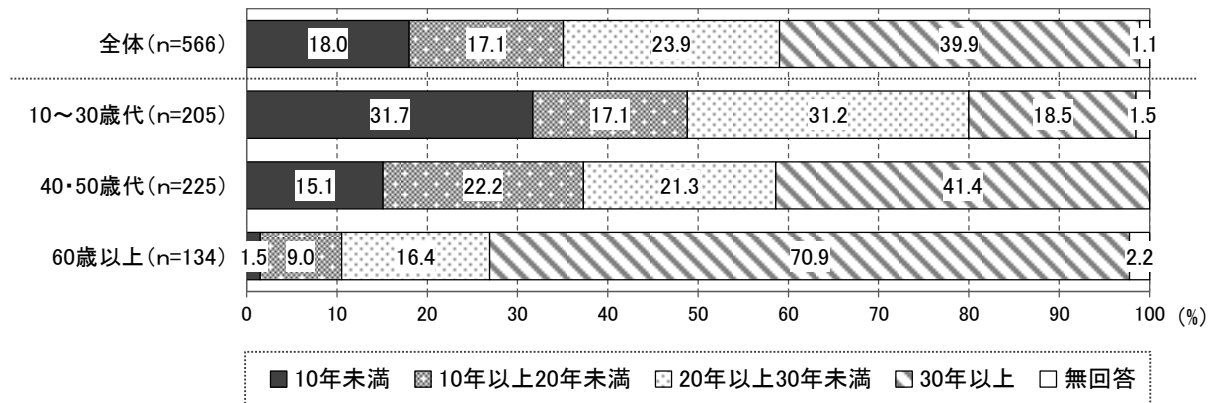
問2 あなたの年齢はどれに該当しますか。【○は1つだけ】

「50歳～59歳」が22.6%と最も高く、次いで、「30歳～39歳」(20.1%)、「40歳～49歳」(17.1%)の順となっています。



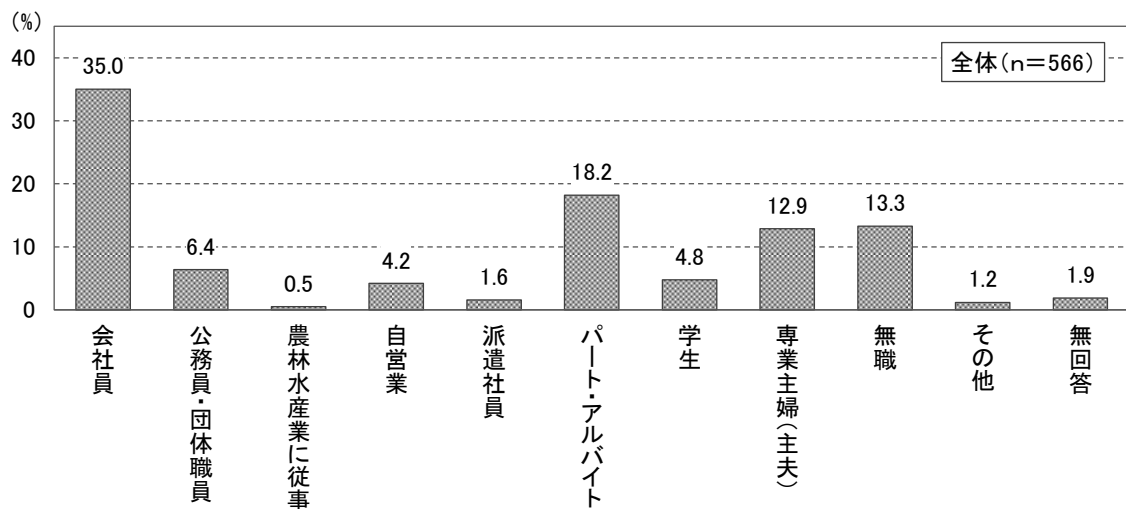
問3 あなたは、安堵町に通算でどれくらい住んでいますか。【〇は1つだけ】

居住年数は、「30年以上」が約4割を占めていますが、10～30歳代では、「10年未満」といった比較的新たに転入してきた住民も3割を占めます。



問4 あなたの主な職業はどれですか。【〇は1つだけ】

職業は、「会社員」が35.0%と最も高く、次いで、「パート・アルバイト」(18.2%)、「無職」(13.3%)の順となっています。

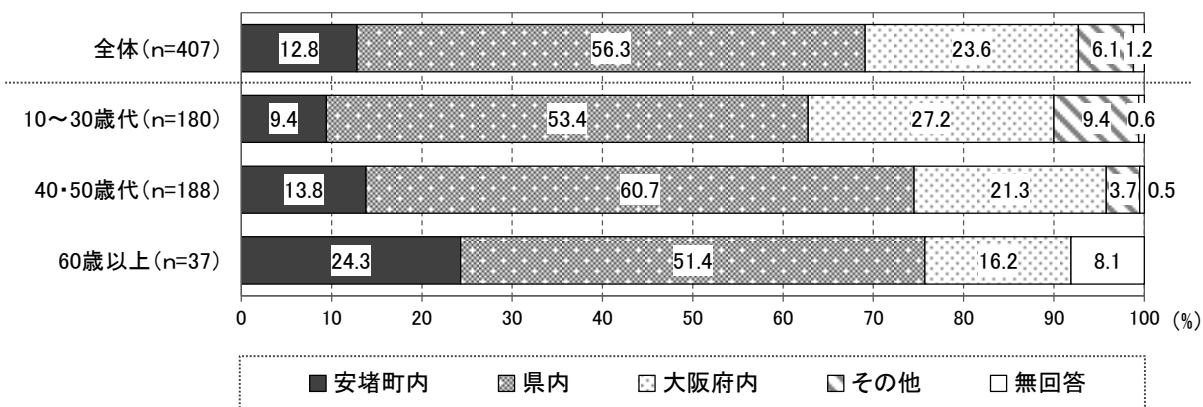


		会社員	公務員・団体職員	農林水産業に従事	自営業	派遣社員	パート・アルバイト	学生	専業主婦(主夫)	無職	その他
	(n=)										
全体	566	198 35.0%	36 6.4%	3 0.5%	24 4.2%	9 1.6%	103 18.2%	27 4.8%	73 12.9%	75 13.3%	7 1.2%
10～30歳代	205	79 38.4%	15 7.3%	0 0.0%	6 2.9%	2 1.0%	47 22.9%	27 13.2%	12 5.9%	9 4.4%	4 2.0%
40・50歳代	225	107 47.6%	16 7.1%	1 0.4%	11 4.9%	7 3.1%	44 19.6%	0 0.0%	28 12.4%	9 4.0%	2 0.9%
60歳以上	134	10 7.5%	5 3.7%	2 1.5%	7 5.2%	0 0.0%	12 9.0%	0 0.0%	33 24.6%	57 42.6%	1 0.7%

問5

働いている方、または学生の方にお聞きします。あなたの勤務先、通学先はどこですか。【〇は1つだけ】

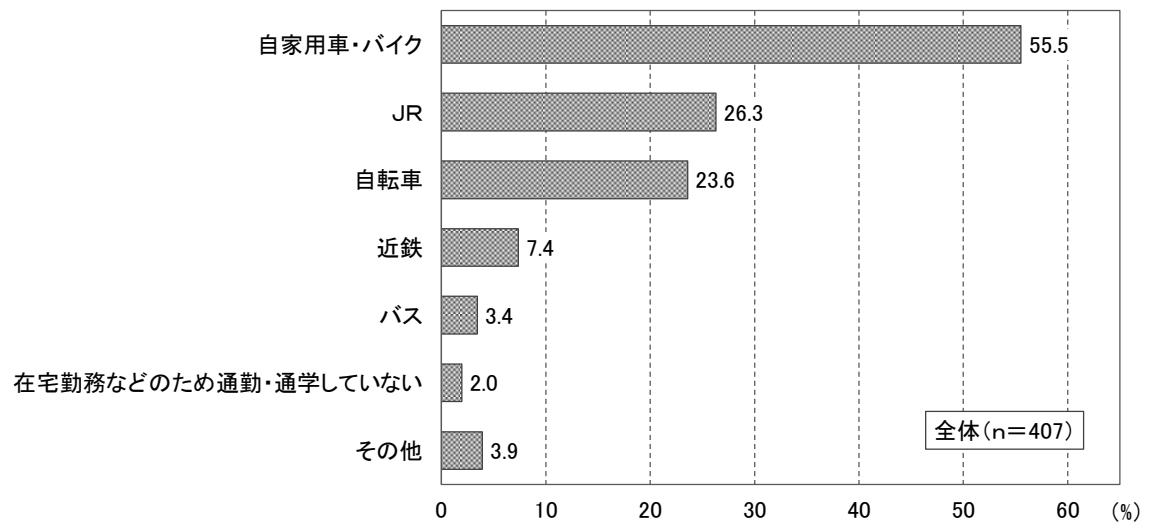
通勤・通学先は、「県内」が56.3%と最も高く、次いで、「大阪府内」(23.6%)、「安堵町内」(12.8%)の順となっています。「その他」が6.1%あり、京都府、三重県、滋賀県などの記入がみられました。



問6

働いている方、または学生の方にお聞きします。通勤・通学の交通手段は何ですか。【〇はいくつでも】

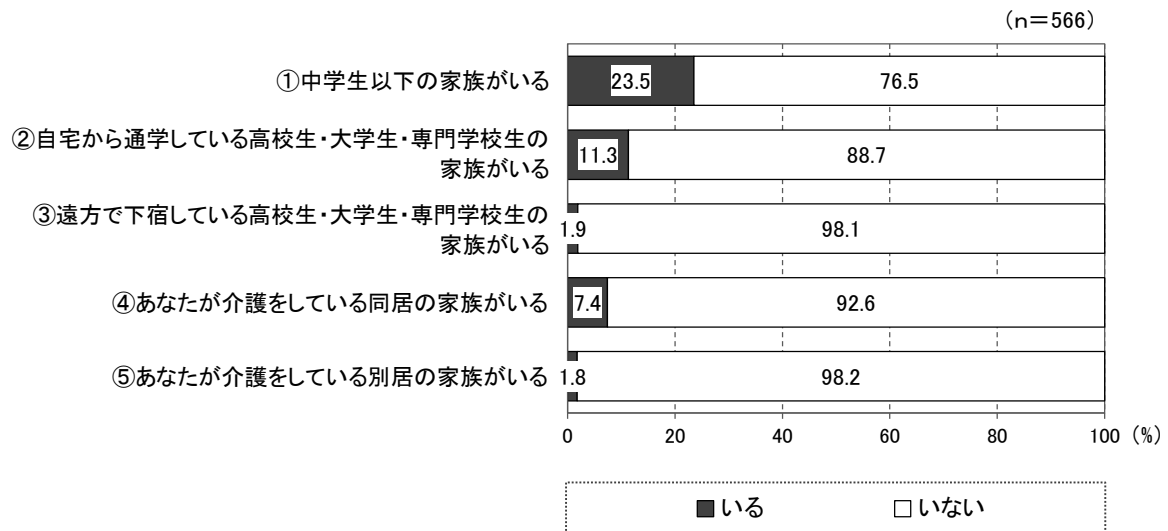
通勤・通学の交通手段は、「自家用車・バイク」が 55.5%と最も高く、次いで、「JR」(26.3%)、「自転車」(23.6%) の順となっています。



		自家用車・バイク	J R	近鉄	バス	自転車	在宅勤務などのため通勤・通学していない	その他
	(n=)							
全体	566	229 40.5%	108 19.1%	30 5.3%	14 2.5%	97 17.1%	9 1.6%	17 3.0%
10～30歳代	205	89 43.4%	60 29.3%	17 8.3%	7 3.4%	51 24.9%	3 1.5%	5 2.4%
40・50歳代	225	120 53.3%	42 18.7%	11 4.9%	7 3.1%	36 16.0%	5 2.2%	9 4.0%
60歳以上	134	18 13.4%	5 3.7%	2 1.5%	0 0.0%	10 7.5%	1 0.7%	3 2.2%

問7 あなたの家族に次の方がいらっしゃいますか。【〇はいくつでも】

家族の状況による施策ニーズの違いをみるために、子どもや要介護者の有無をお聞きしたところ、「①中学生以下の家族がいる」は23.5%、「②自宅から通学している高校生・大学生・専門学校生の家族がいる」は11.3%、「③遠方で下宿している高校生・大学生・専門学校生の家族がいる」は1.9%、「④あなたが介護をしている同居の家族がいる」は7.4%、「⑤あなたが介護をしている別居の家族がいる」は1.8%でした。

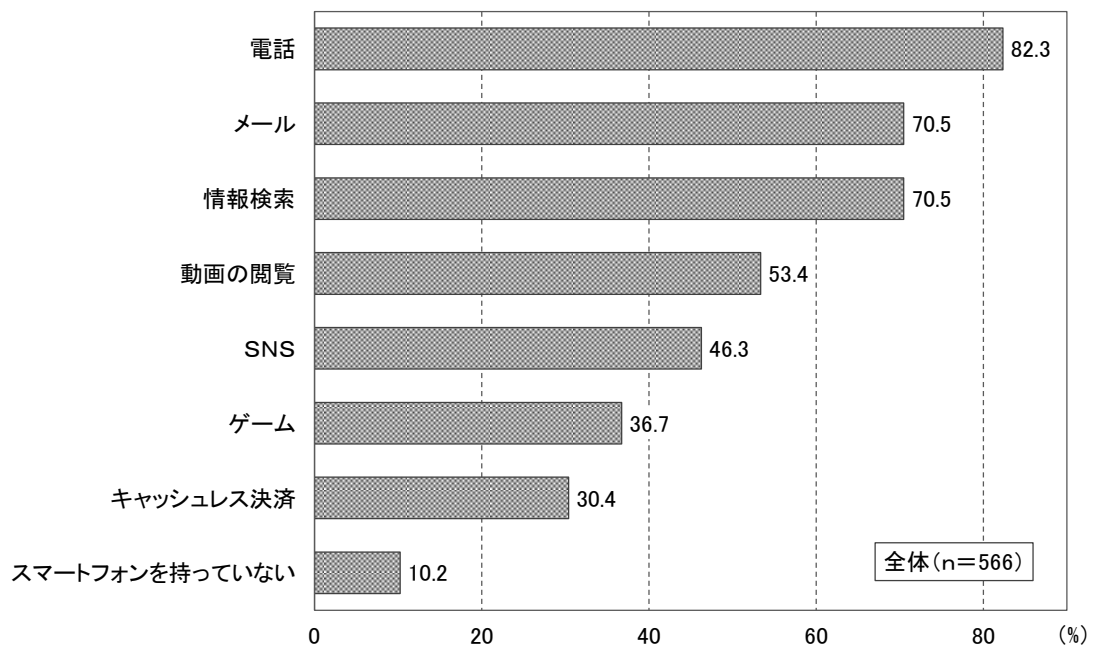


	①中学生以下の家族がいる		②自宅から通学している高校生・大学生・専門学校生の家族がいる		③遠方で下宿している高校生・大学生・専門学校生の家族がいる		④あなたが介護をしている同居の家族がいる		⑤あなたが介護をしている別居の家族がいる	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
いる	133	23.5%	64	11.3%	11	1.9%	42	7.4%	10	1.8%
いない	433	76.5%	502	88.7%	555	98.1%	524	92.6%	556	98.2%
回答者数	566	100%	566	100%	566	100%	566	100%	566	100%

問8

あなたはスマートフォンをどのように利用していますか。
【〇はいくつでも】

スマートフォンをどのように利用しているかについては、「電話」が82.3%と最も高く、次いで、「メール」・「情報検索」（70.5%で同率）、「動画の閲覧」（53.4%）の順となっています。



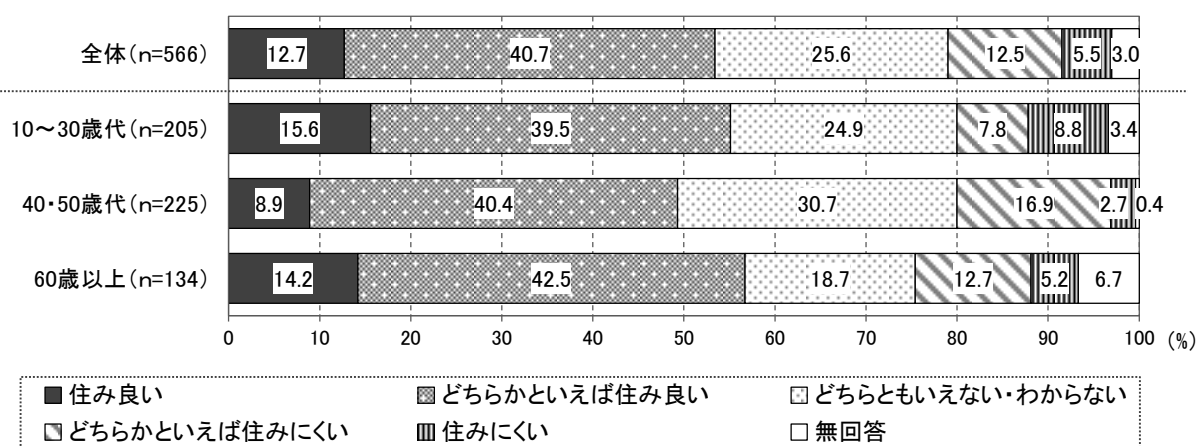
		電話	メール	SNS	ゲーム	動画の 閲覧	キャッ シュレ ス決済	情報検 索	スマー トフォ ンを持 っていない
	(n=)								
全体	566	466 82.3%	399 70.5%	262 46.3%	208 36.7%	302 53.4%	172 30.4%	399 70.5%	58 10.2%
10～30歳代	205	184 89.8%	149 72.7%	158 77.1%	119 58.0%	159 77.6%	91 44.4%	180 87.8%	4 2.0%
40・50歳代	225	194 86.2%	180 80.0%	91 40.4%	80 35.6%	126 56.0%	72 32.0%	174 77.3%	16 7.1%
60歳以上	134	86 64.2%	68 50.7%	11 8.2%	7 5.2%	15 11.2%	7 5.2%	43 32.1%	38 28.4%

2. 町の住み良さについて

問9

安堵町の住み良さはいかがですか。次の中から選んでください。
【〇は1つだけ】

町の住み良さを5段階の尺度でお聞きしたところ、回答者全体では、「住み良い」が12.7%、「どちらかといえば住み良い」が40.7%で、5割強の方が住み良いと感じています。
年齢別にみても大きな差はなく、どの年齢層も本町はおおむね住み良いと感じていることが伺えます。

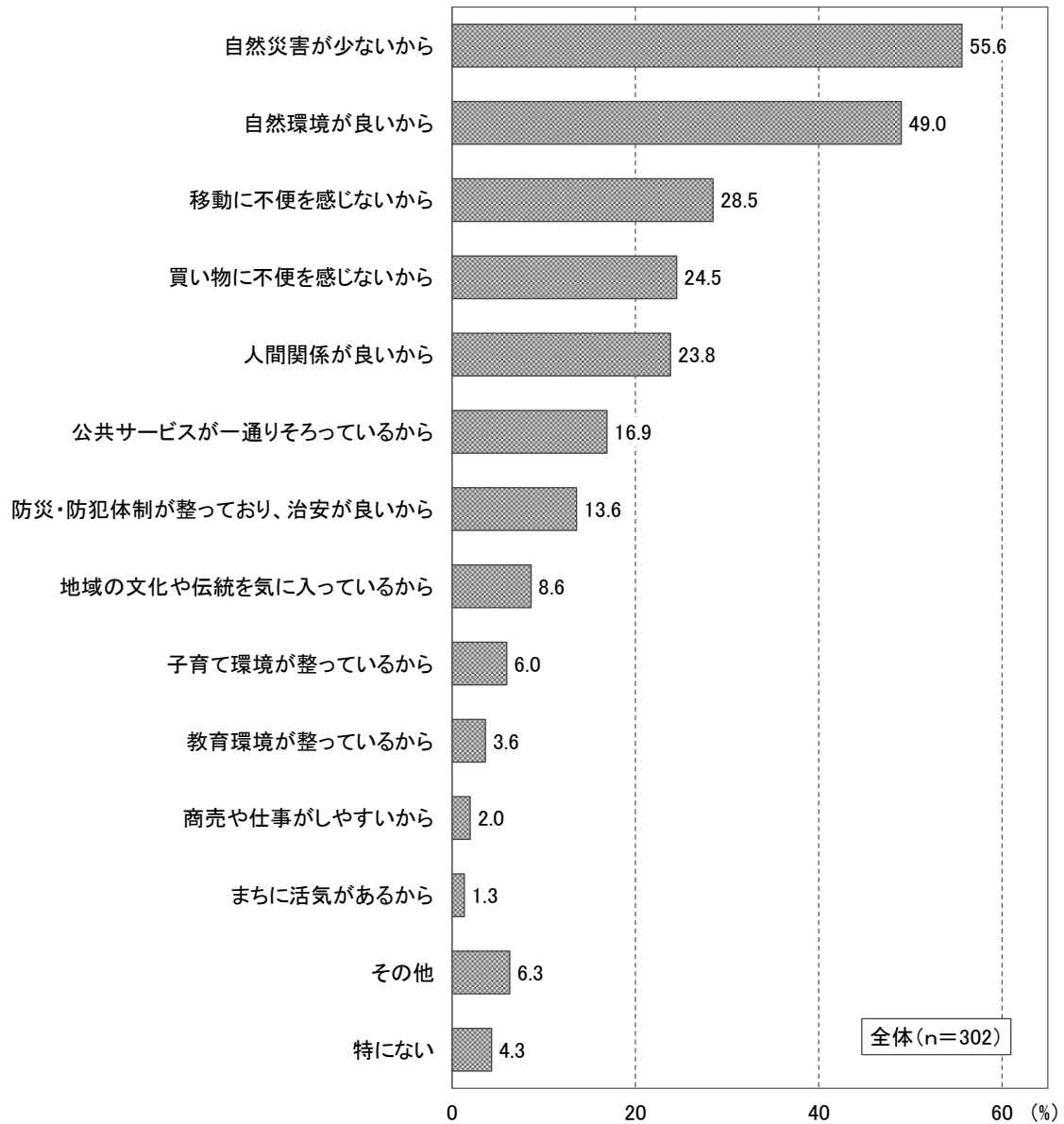


問 9-1

◆問9で「1.」または「2.」と答えた方。

前の質問について「住み良い」という回答の理由を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

住み良いと回答した方に、その理由をたずねたところ、「自然災害が少ないから」が55.6%と最も多く、次いで、「自然環境が良いから」(49.0%)、「移動に不便を感じないから」(28.5%)と続いています。



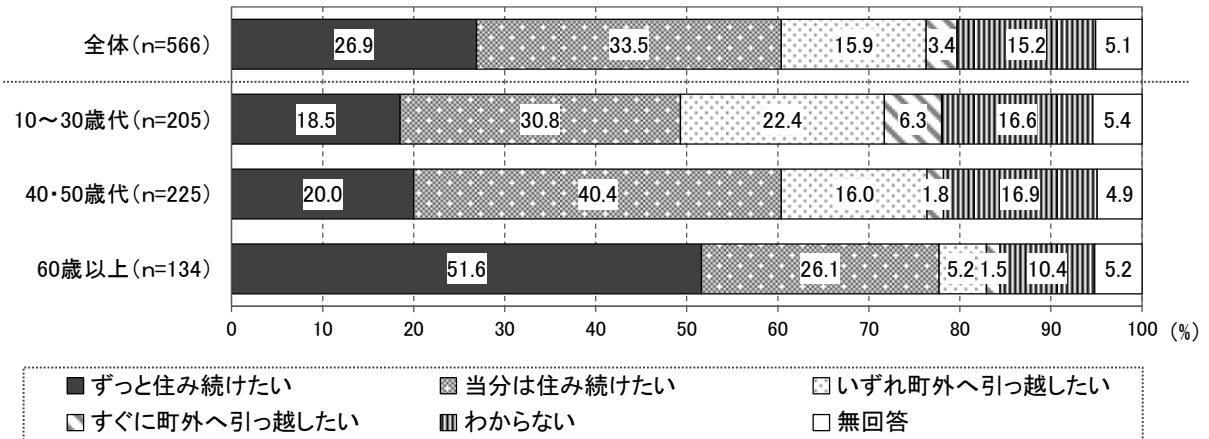
		自然環境が良 いか	自然災害が少 ないか	人間関係が良 いか	公共サービスが一 通りそろって いるか	移動に不便を 感じないか	買い物に不便 を感じないか	商売や仕事が しやすいか	子育て環境が 整っているか	防災・防犯体制が 整っており、治安が 良いか	教育環境が 整っているか	地域の文化や 伝統に気を入 っているか	まちに活気がある か	その他	特にな い
	(n=)														
全体	302	148 49.0%	168 55.6%	72 23.8%	51 16.9%	86 28.5%	74 24.5%	6 2.0%	18 6.0%	41 13.6%	11 3.6%	26 8.6%	4 1.3%	19 6.3%	13 4.3%
10～30歳代	113	47 41.6%	56 49.6%	18 15.9%	16 14.2%	29 25.7%	24 21.2%	2 1.8%	6 5.3%	6 5.3%	8 7.1%	5 4.4%	2 1.8%	11 9.7%	9 8.0%
40・50歳代	111	57 51.4%	60 54.1%	23 20.7%	20 18.0%	41 36.9%	31 27.9%	2 1.8%	11 9.9%	17 15.3%	2 1.8%	7 6.3%	0 0.0%	6 5.4%	4 3.6%
60歳以上	76	42 55.3%	51 67.1%	31 40.8%	15 19.7%	16 21.1%	19 25.0%	2 2.6%	1 1.3%	18 23.7%	1 1.3%	13 17.1%	2 2.6%	2 2.6%	0 0.0%

問 10

あなたは、今後も安堵町に住み続けたいとお考えですか。次の中から選んでください。【〇は1つだけ】

今後も町に住み続けたいかをたずねたところ、回答者全体では、「当分は住み続けたい」が33.5%と最も高く、次いで、「ずっと住み続けたい」(26.9%)、「わからない」(15.2%)の順となっています。

10～30歳代で「すぐに町外へ引っ越したい」が6.3%あるなど、若い層で転出したいという意向がやや強くみられます。



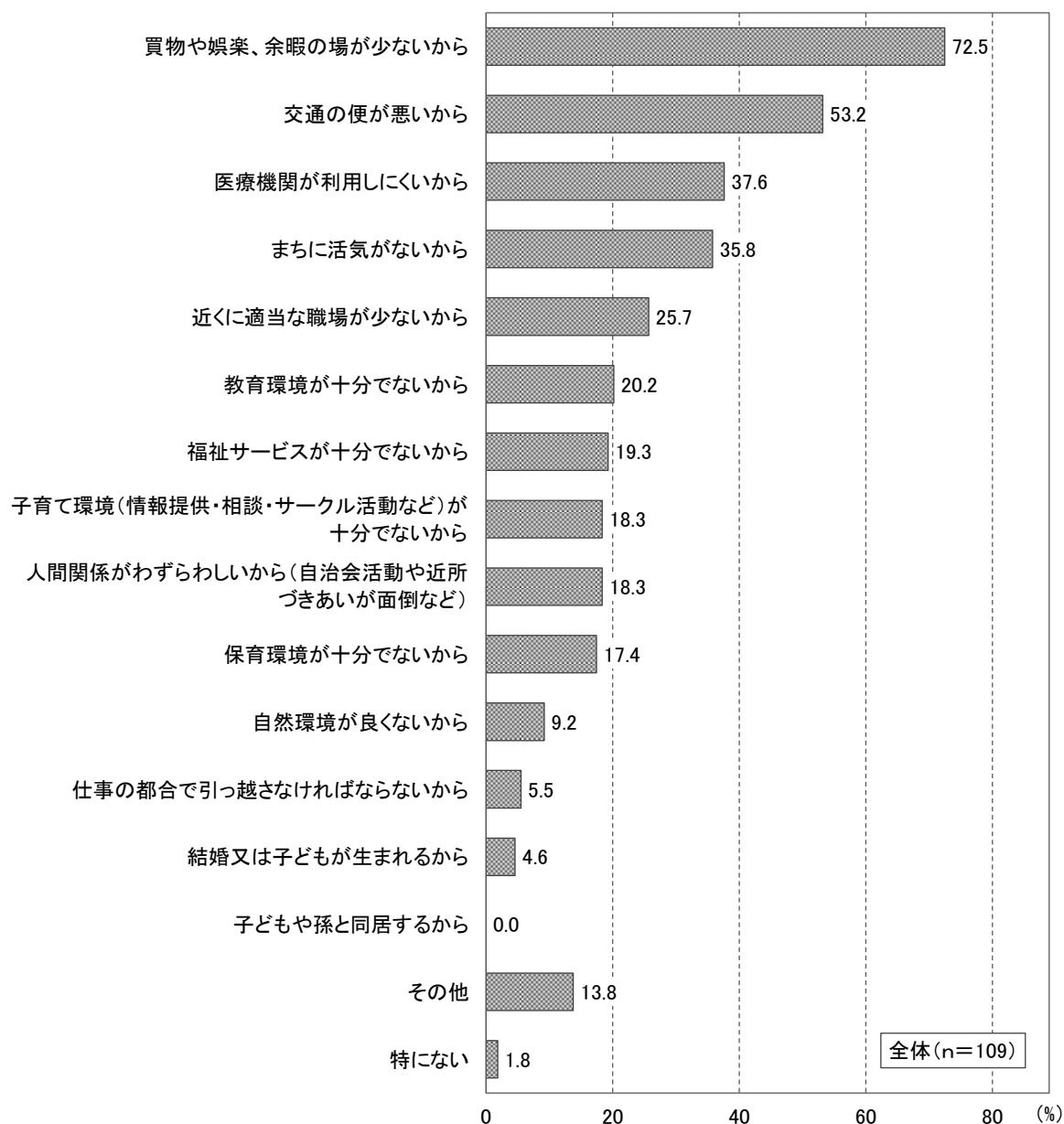
問 10-1

◆問 10 で「3.」または「4.」と答えた方。

町外へ引っ越したい理由を、次の中から選んでください。

【〇はいくつでも】

町外へ引っ越したいという回答があった方にその理由をたずねたところ、回答者全体では、「買物や娯楽、余暇の場が少ないから」が 72.5%と最も高く、次いで、「交通の便が悪いから」(53.2%)、「医療機関が利用しにくいから」(37.6%)の順となっています。



	(n=)	交通の便が悪いから	買物や娯楽、余暇の場が少ないから	近くに適當な職場が少ないから	福祉サービスが足りないから	医療機関が利用しにくいから	保育環境が足りないから	子育て環境（情報提供・相談・サークル活動など）が足りないから	教育環境が足りないから	自然環境が良くないから	人間関係がわるいから（自治会活動や近所きあいがないなど）	仕事の都合で引っ越さなければならないから	子どもや孫と同居するから	まちに活気がないから	結婚又は子どもが生まれるから	その他	特にな
全体	109	58 53.2%	79 72.5%	28 25.7%	21 19.3%	41 37.6%	19 17.4%	20 18.3%	22 20.2%	10 9.2%	20 18.3%	6 5.5%	0 0.0%	39 35.8%	5 4.6%	15 13.8%	2 1.8%
10～30歳代	59	31 52.5%	41 69.5%	20 33.9%	9 15.3%	18 30.5%	13 22.0%	16 27.1%	16 27.1%	8 13.6%	8 13.6%	3 5.1%	0 0.0%	22 37.3%	5 8.5%	9 15.3%	1 1.7%
40・50歳代	40	22 55.0%	29 72.5%	7 17.5%	9 22.5%	19 47.5%	6 15.0%	4 10.0%	5 12.5%	1 2.5%	11 27.5%	3 7.5%	0 0.0%	14 35.0%	0 0.0%	6 15.0%	1 2.5%
60歳以上	9	4 44.4%	8 88.9%	1 11.1%	3 33.3%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 11① 安堵町の生活環境やまちづくりの各項目に関する満足度

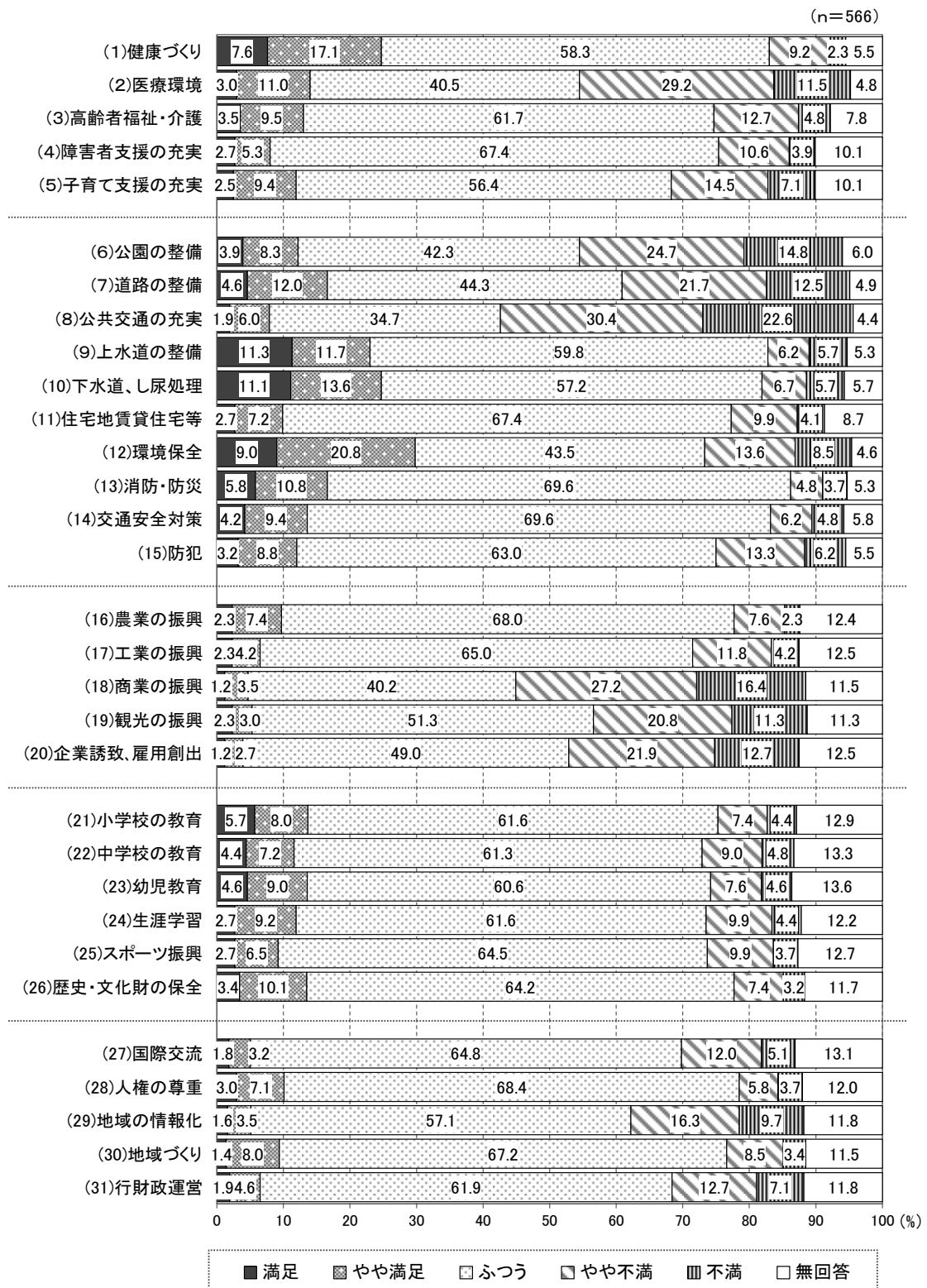
各施策の満足度を伺ったところ、以下のとおりとなりました。

◆満足度の高い施策 ※「満足」＋「やや満足」の割合【上位3番目まで】

①環境保全（29.8％） ②健康づくり・下水道、し尿処理（24.7％で同率）

◇満足度の低い施策 ※「やや不満」＋「不満」の割合【上位3番目まで】

①公共交通の充実（53.0％） ②商業の振興（43.6％） ③医療環境（40.7％）



問 11② 安堵町の生活環境やまちづくりの各項目に関する重要度

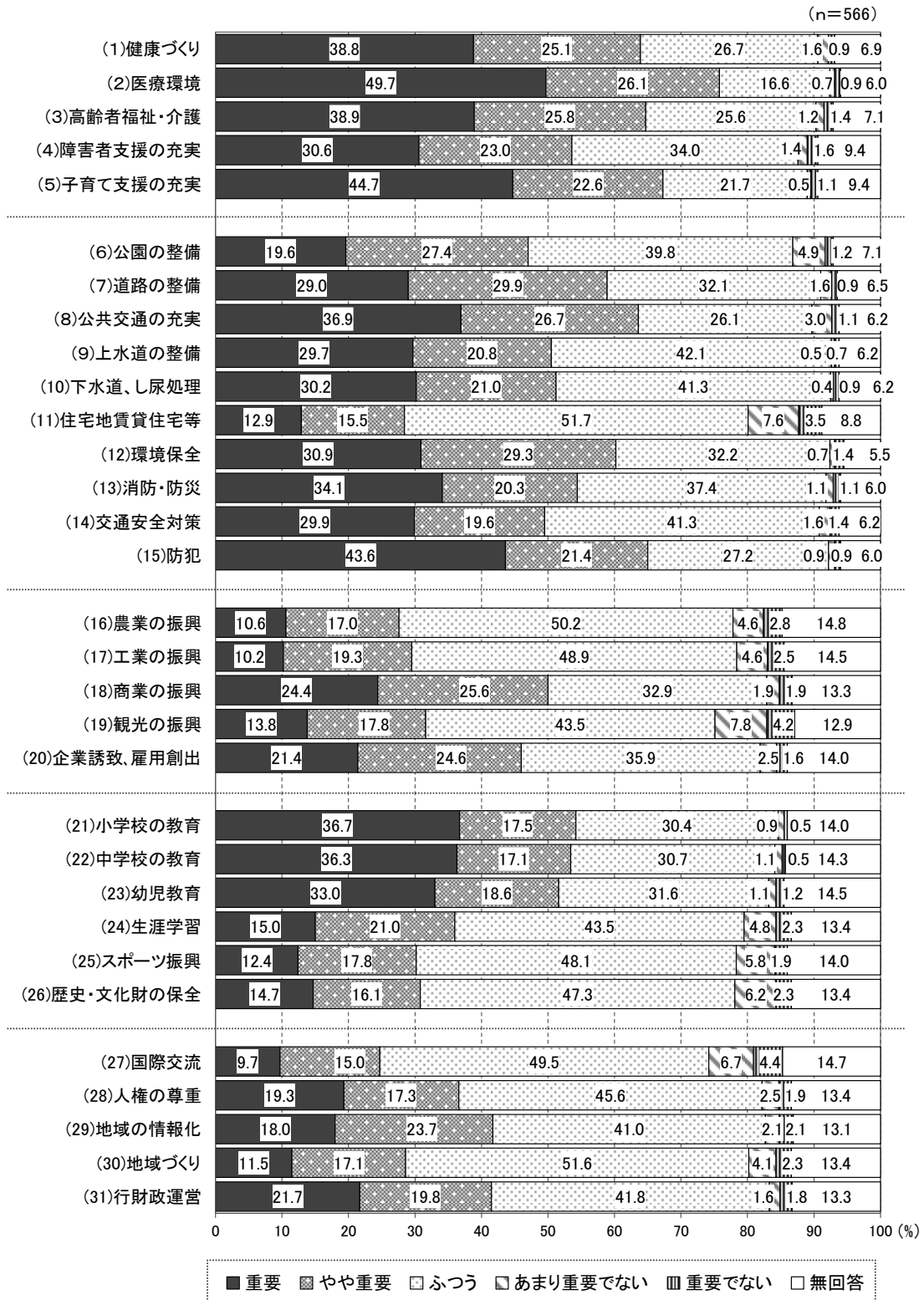
各施策の重要度を伺ったところ、以下のとおりとなりました。

◆重要度の高い施策 ※「重要」＋「やや重要」の割合【上位3番目まで】

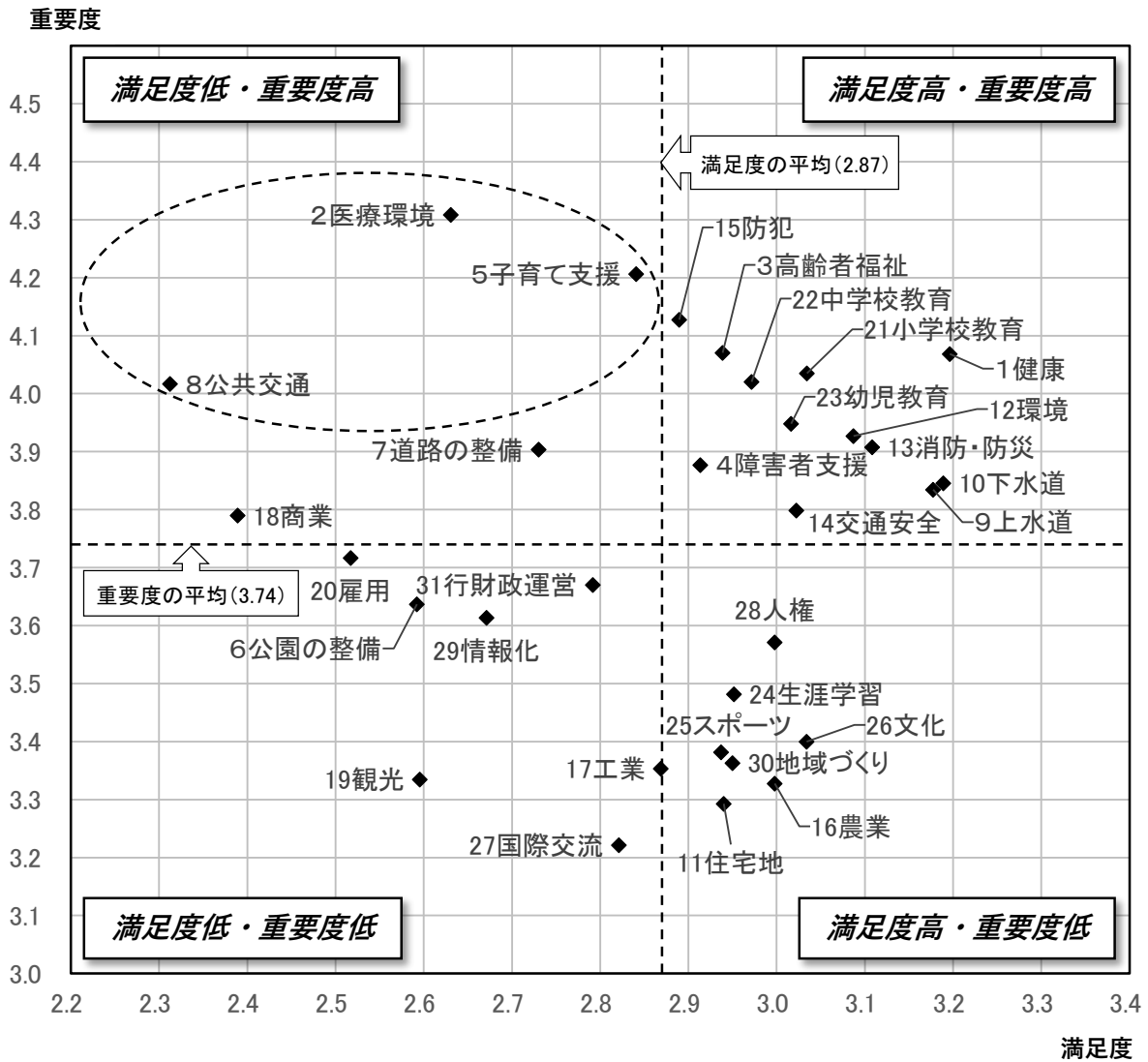
①医療環境（75.8%） ②子育て支援の充実（36.3%） ③防犯（65.0%）

◇重要度の低い施策 ※「あまり重要でない」＋「重要でない」の割合【上位3番目まで】

①住宅地賃貸住宅等（59.3%） ②国際交流（56.2%） ③地域づくり（55.7%）



満足度・重要度の相関図



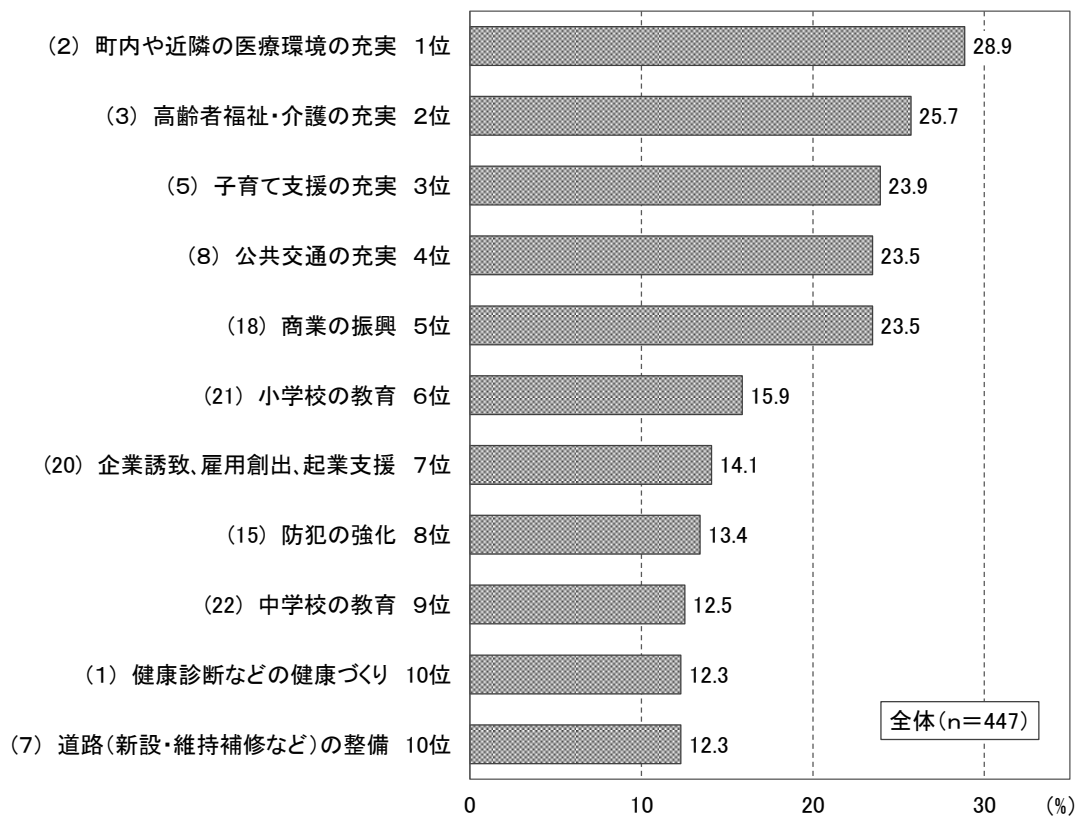
上図の  で囲われている施策項目が、本町にとって最も取り組むべき施策と言えます。

問 11-1

自治体は限られた財源の中で、施策を実施していかなければなりません。
問 11 の（１）から（31）の施策に優先順位をつけるとしたら、優先順位
の高い施策と優先順位の低い施策は、それぞれどれですか。
【それぞれ３つ記入】

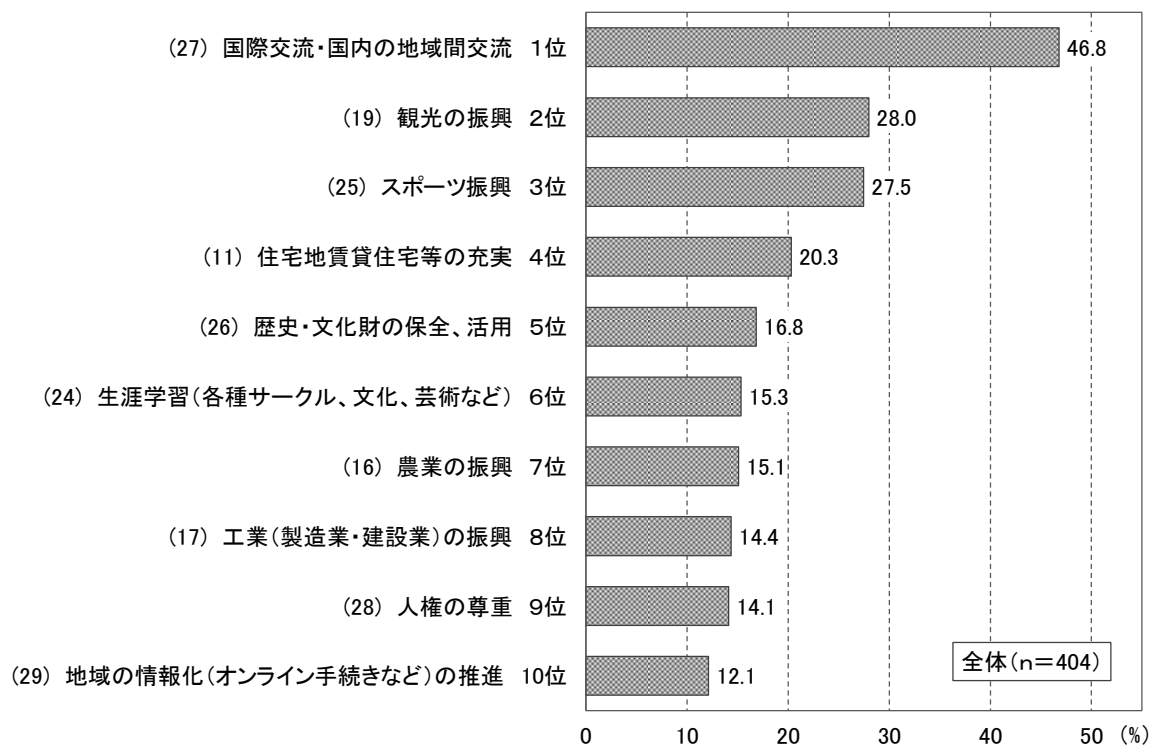
① 優先順位の高い施策 上位 10 位

優先順位の高い施策は、「（２）町内や近隣の医療環境の充実」が 28.9%と最も高く、次いで、「（３）高齢者福祉・介護の充実」（25.7%）、「（５）子育て支援の充実」（23.9%）の順となっています。



② 優先順位の低い施策 上位 10 位

優先順位の低い施策は、「(27)国際交流・国内の地域間交流」が 46.8%と最も高く、次いで、「(19)観光の振興」(28.0%)、「(25)スポーツ振興」(27.5%)の順となっています。



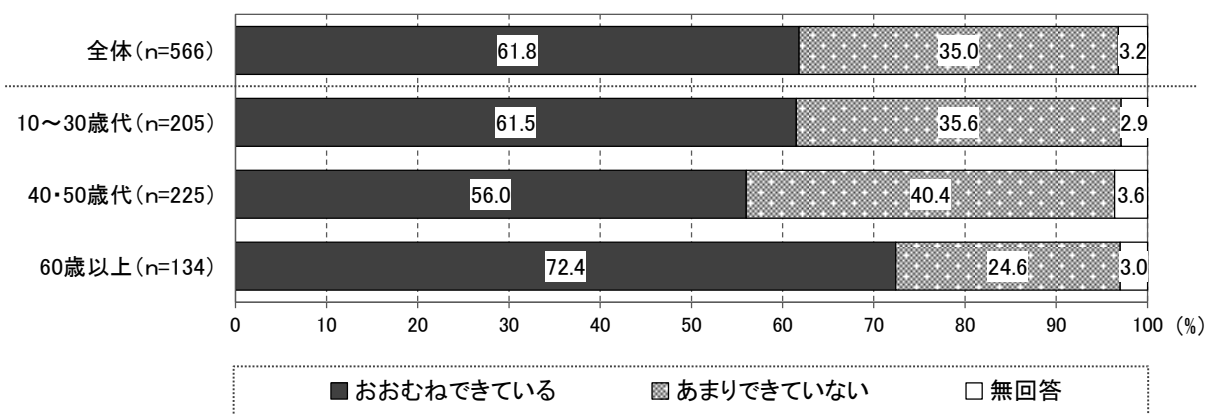
3. 健康・医療・福祉について

問 12

あなたは、現在、健康づくりのために次のことができますか。
【それぞれ1つに○】

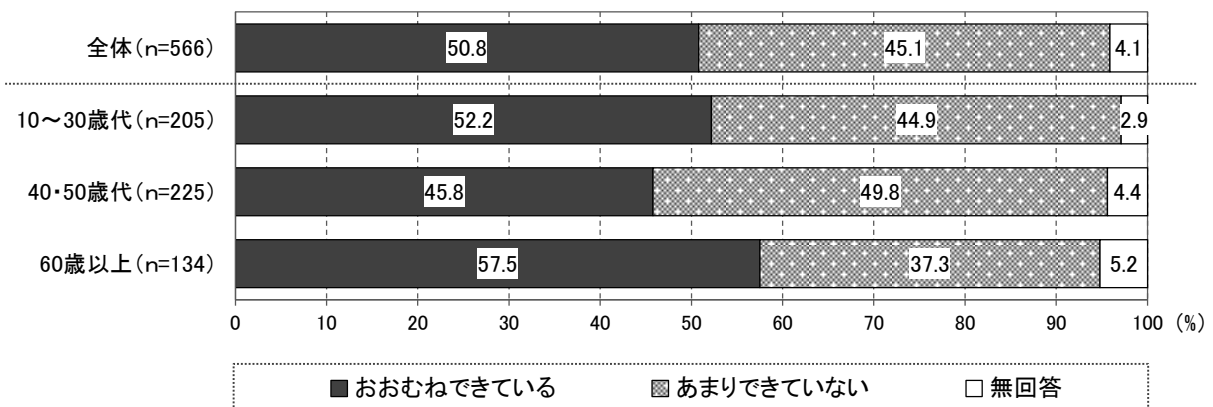
① 食事に気をつける（量や塩分、脂肪分など）

健康づくりの取り組みの実践度をお聞きしたところ、食事に気をつけることが「おおむねできている」という回答は全体の約6割です。ただし、40・50歳代で「あまりできていない」がやや多いため、啓発を推進していくことが求められています。



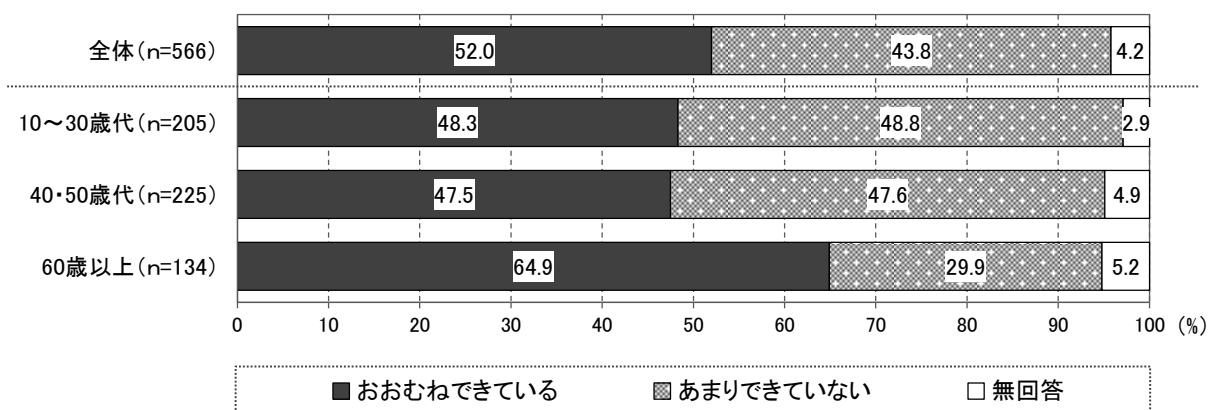
② できるだけ体を動かす

できるだけ体を動かすことが「おおむねできている」という回答は全体の約5割です。ただし、40・50歳代で「あまりできていない」がやや多くなっています。



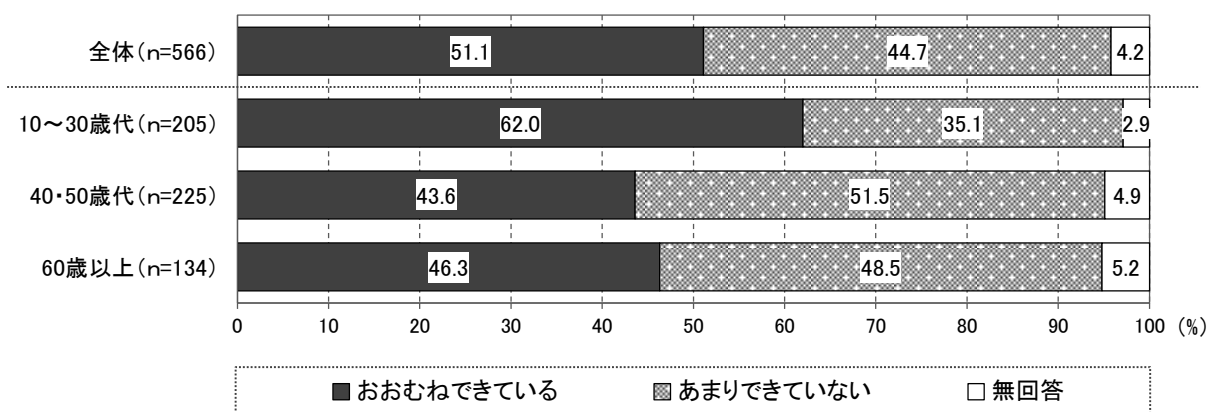
③ ストレスをためない

ストレスをためないことが「おおむねできている」という回答も全体の約5割です。ただし、10～50歳代で「あまりできていない」がやや多くなっています。



④ 出かけたり、人を招いたりして人との会話を楽しむ

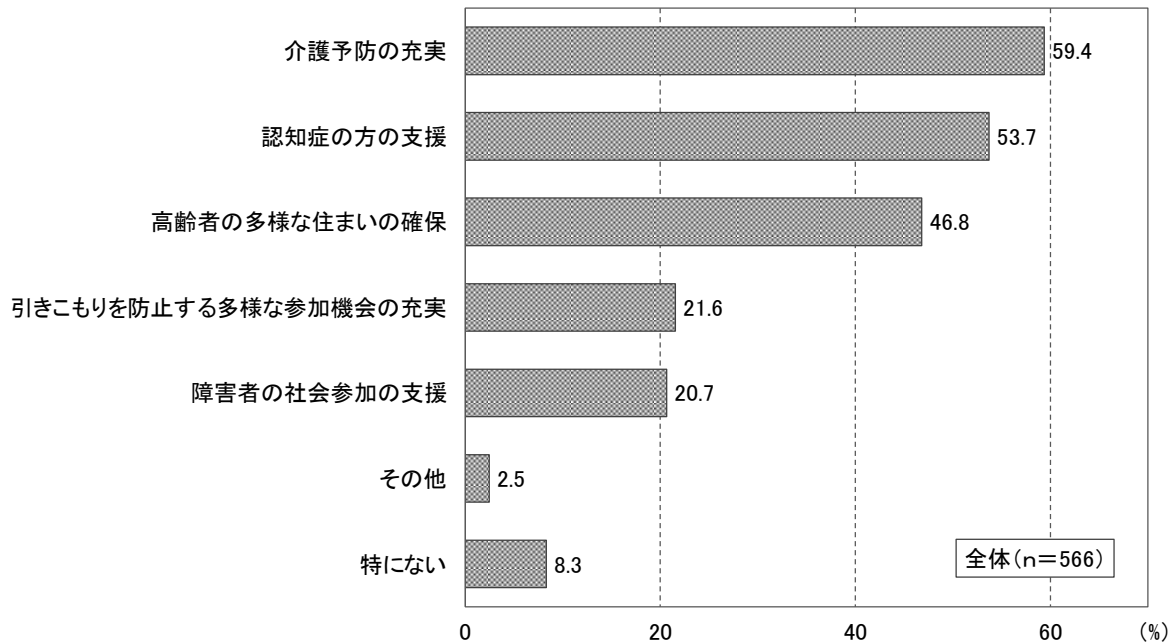
出かけたり、人を招いたりして人との会話を楽しむことが「おおむねできている」は全体の約5割です。年齢別では、「おおむねできている」の割合は10～30歳代で高く、40歳代以上で低くなっています。



問 13

あなたは、介護保険や障害福祉など、安堵町の福祉サービスで、今後、特に充実すべきことは何だと思いますか。【〇は3つまで】

介護保険や障害福祉など、安堵町の福祉サービスで充実すべきことについては、「介護予防の充実」が59.4%と最も高く、次いで、「認知症の方の支援」(53.7%)、「高齢者の多様な住まいの確保」(46.8%)の順となっています。

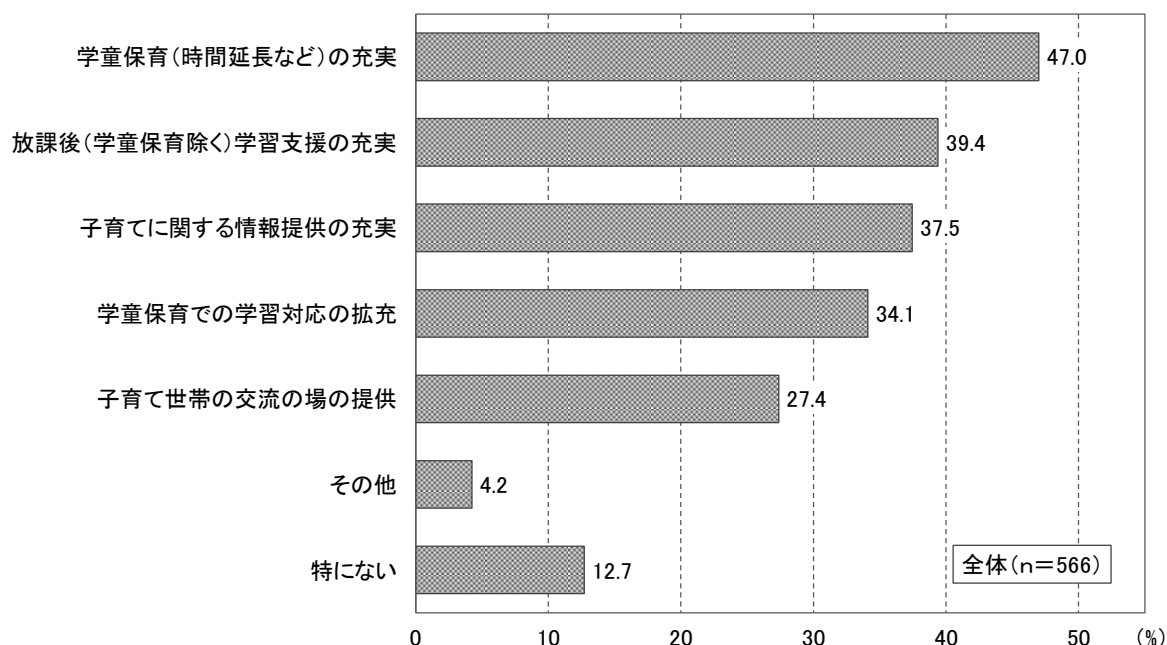


	(n=)	高齢者の 多様な住 まいの確 保	認知症の 方の支援	介護予防 の充実	障害者の 社会参加 の支援	引きこも りを防止 する多様 な参加機 会の充実	その他	特にない
全体	566	265 46.8%	304 53.7%	336 59.4%	117 20.7%	122 21.6%	14 2.5%	47 8.3%
10～30歳代	205	98 47.8%	87 42.4%	110 53.7%	51 24.9%	46 22.4%	6 2.9%	26 12.7%
40・50歳代	225	113 50.2%	135 60.0%	126 56.0%	44 19.6%	51 22.7%	7 3.1%	15 6.7%
60歳以上	134	54 40.3%	81 60.4%	100 74.6%	21 15.7%	24 17.9%	1 0.7%	5 3.7%

問 14

あなたは、以下の子育てサービスで、今後、特に充実すべきことは何だと思いますか。【〇は3つまで】

子育てサービスで充実すべきことについては、「学童保育（時間延長など）の充実」が47.0%と最も高く、次いで、「放課後（学童保育除く）学習支援の充実」（39.4%）、「子育てに関する情報提供の充実」（37.5%）の順となっています。

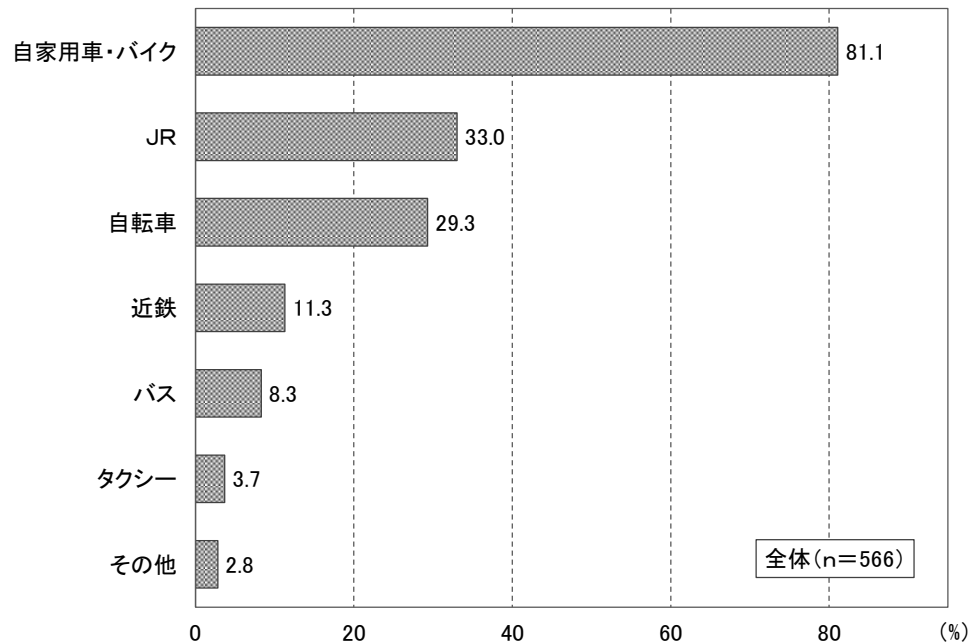


	(n=)	学童保育 (時間延長など) の充実	学童保育 での学習 対応の拡 充	放課後 (学童保 育除く) 学習支援 の充実	子育てに 関する情 報提供の 充実	子育て世 帯の交流 の場の提 供	その他	特にない
全体	566	266 47.0%	193 34.1%	223 39.4%	212 37.5%	155 27.4%	24 4.2%	72 12.7%
10～30歳代	205	115 56.1%	91 44.4%	87 42.4%	92 44.9%	65 31.7%	11 5.4%	13 6.3%
40・50歳代	225	95 42.2%	67 29.8%	94 41.8%	79 35.1%	56 24.9%	11 4.9%	35 15.6%
60歳以上	134	55 41.0%	34 25.4%	41 30.6%	41 30.6%	34 25.4%	2 1.5%	24 17.9%

4. 生活環境について

問 15 通勤通学を除く日常生活での主な移動手段は何ですか。【〇はいくつでも】

日常生活での主な移動手段は、「自家用車・バイク」が81.1%と最も高く、次いで、「JR」(33.0%)、「自転車」(29.3%)の順となっています。



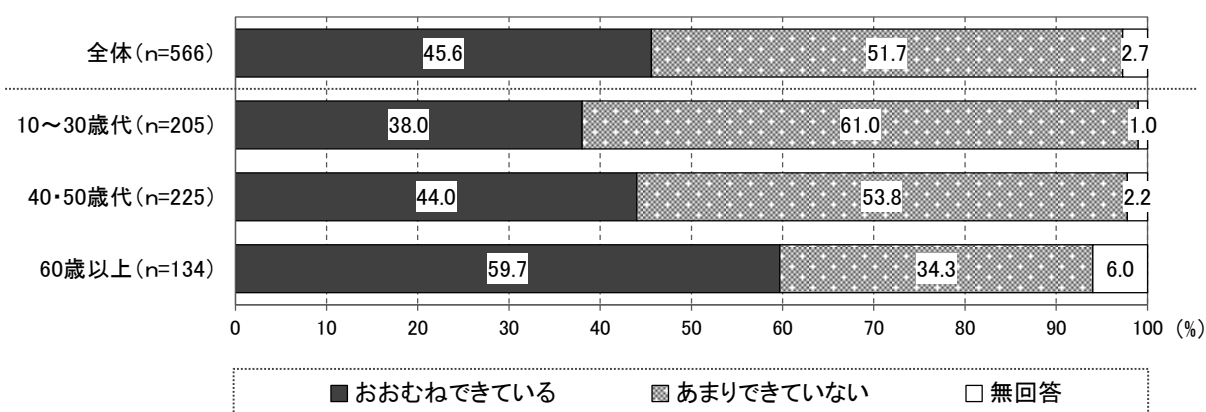
	(n=)	自家用車・バイク	J R	近鉄	バス	自転車	タクシー	その他
全体	566	459 81.1%	187 33.0%	64 11.3%	47 8.3%	166 29.3%	21 3.7%	16 2.8%
10～30歳代	205	153 74.6%	80 39.0%	29 14.1%	15 7.3%	64 31.2%	2 1.0%	5 2.4%
40・50歳代	225	204 90.7%	63 28.0%	20 8.9%	12 5.3%	53 23.6%	3 1.3%	6 2.7%
60歳以上	134	100 74.6%	43 32.1%	14 10.4%	20 14.9%	48 35.8%	16 11.9%	5 3.7%

問 16

あなたは、現在、環境保全のために次のことができますか。
【それぞれ1つに○】

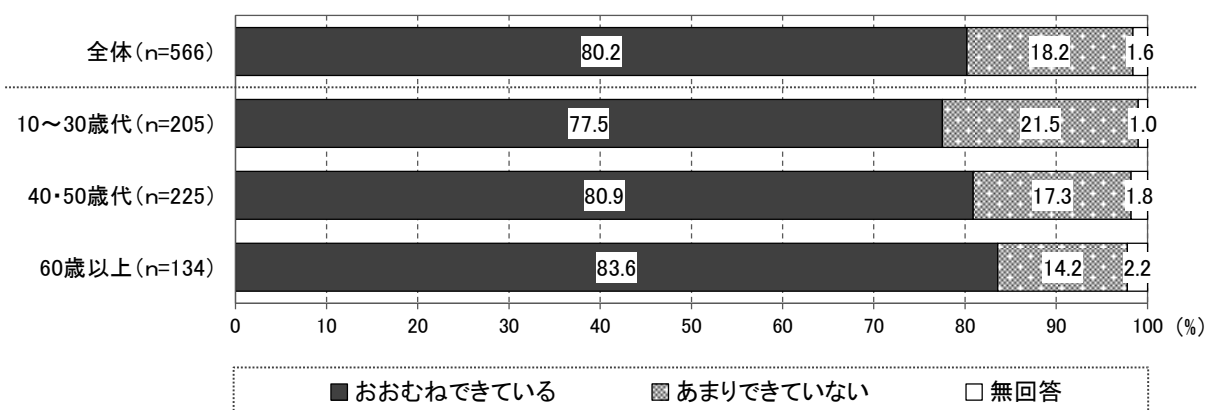
① 使い捨て商品をできるだけ使わないようにしている

環境保全の取り組みの実践度をお聞きしたところ、使い捨て商品をできるだけ使わないことが「おおむねできている」という回答は全体の5割弱で、若い層ほど「あまりできていない」が多く、若い層への啓発を推進していくことが求められていると言えます。



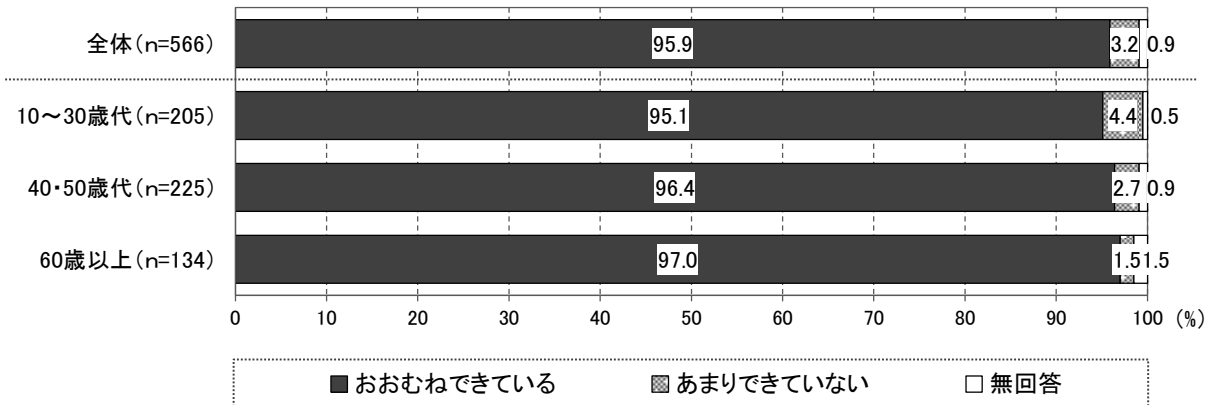
② 食品を買い過ぎたり、捨てたりしないようにしている

食品を買い過ぎたり、捨てないようにすることが「おおむねできている」という回答は全体の約8割となっています。



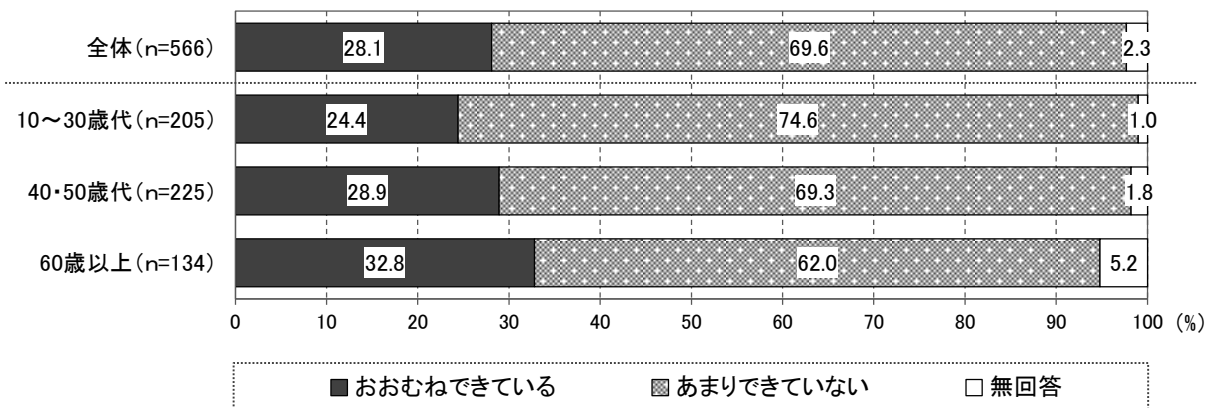
③ ごみはきちんと分別し、定められた方法で出している

ごみをきちんと分別し、定められた方法で出すことが「おおむねできている」という回答は全体の9割強となっています。



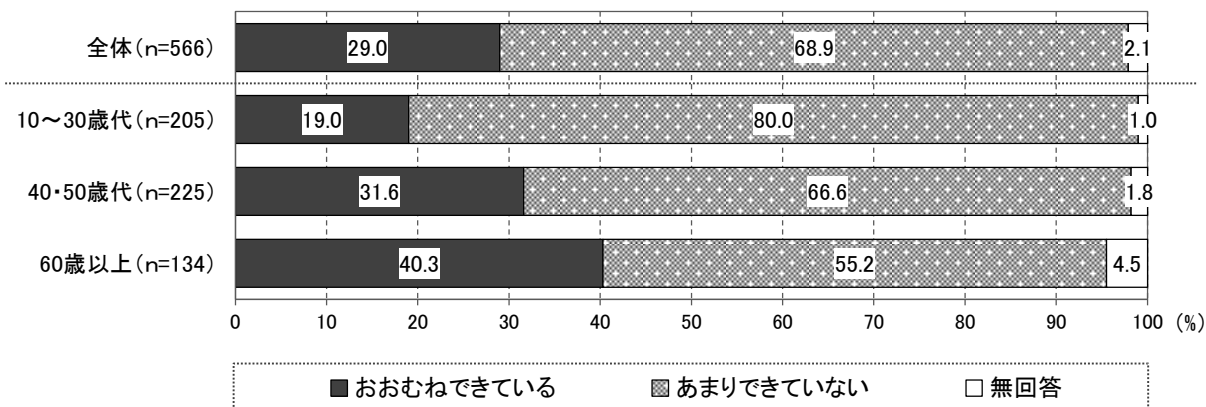
④ できるだけ地域で採れた農産物を購入している

できるだけ地域で採れた農産物を購入することが「おおむねできている」は全体の28%となっています。



⑤ エコマーク商品など省エネ効果の高い製品を選んでいる

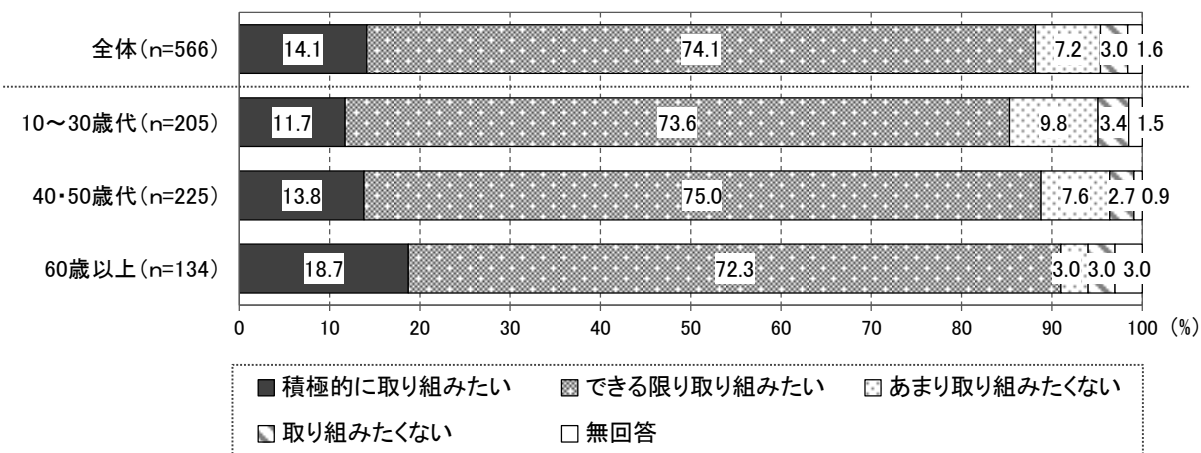
エコマーク商品など省エネ効果の高い製品を選ぶことを「おおむねできている」は全体の29%となっています。



問 17

あなたは、ごみの減量化や資源のリサイクルに取り組みたいですか。
【○は1つだけ】

ごみの減量化や資源のリサイクルに取り組みたいかをたずねたところ、回答者全体では、「積極的に取り組みたい」は14.1%、「できる限り取り組みたい」は74.1%、「あまり取り組みたくない」が7.2%、「取り組みたくない」が3.0%となっています。

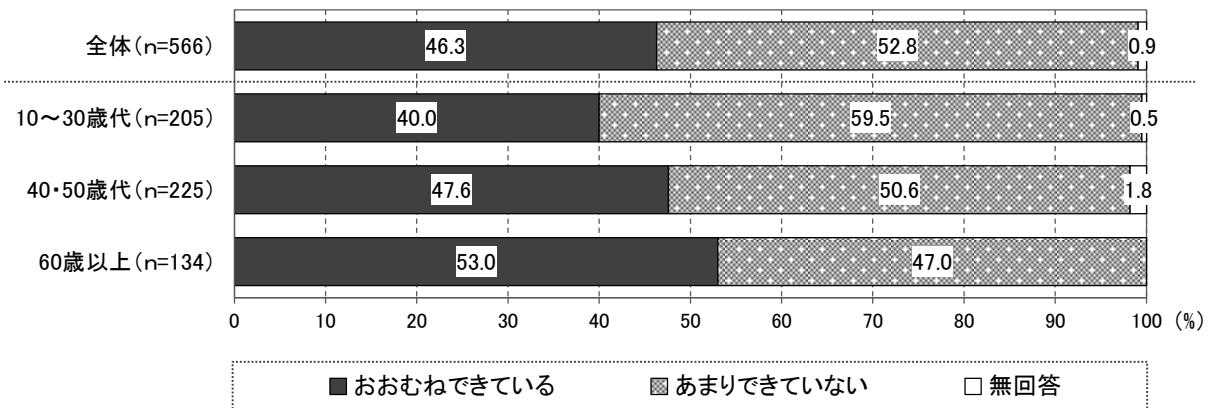


問 18

あなたは、災害への備えのために次のことを実践していますか。
【それぞれ1つに○】

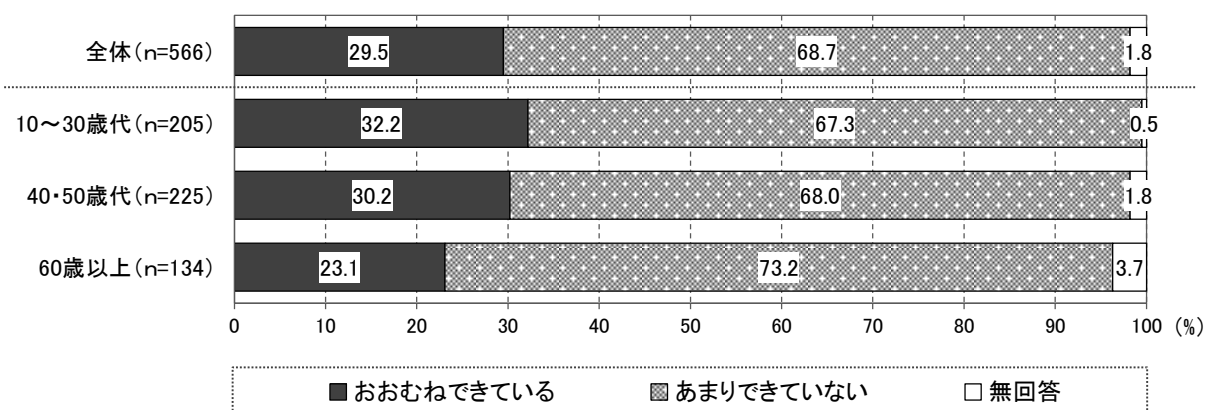
① 食料等の備蓄や停電時対策（ラジオ、懐中電灯等）

防災の取り組みの実践度をお聞きしたところ、食料等の備蓄や停電時対策が「おおむねできている」という回答は全体の5割弱となっています。



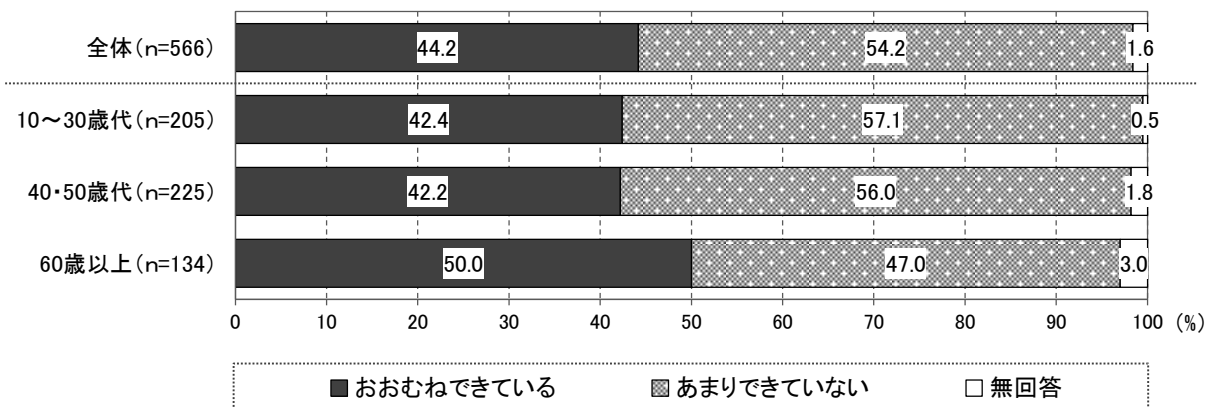
② 家具の転倒防止策や建物の耐震補強

家具の転倒防止策や建物の耐震補強が「おおむねできている」という回答は全体の約3割に過ぎないため、一層の啓発が求められます。



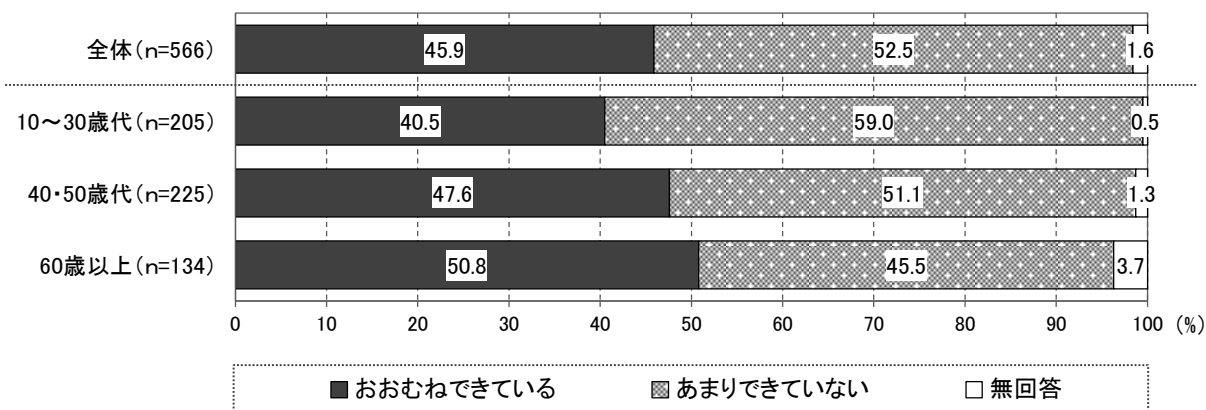
③ 被災時の家族や支援者との連絡方法の確認

被災時の家族や支援者との連絡方法の確認が「おおむねできている」という回答は全体の4割強であり、割合が高いとは言えないため、一層の啓発が求められます。



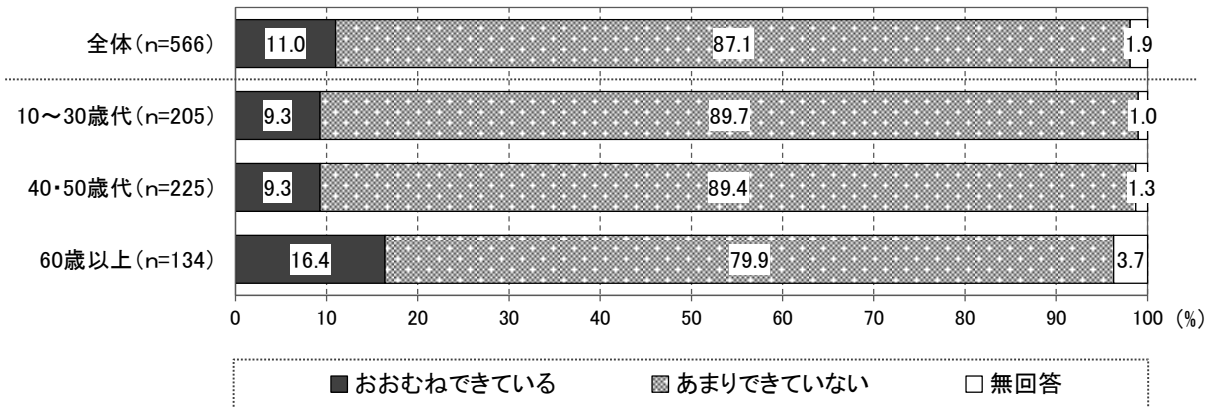
④ 避難場所への移動方法の確保

避難場所への移動方法の確保が「おおむねできている」という回答は全体の5割弱と少なく、避難場所の周知や避難路の安全確保対策など、必要な取り組みを進めることが求められます。



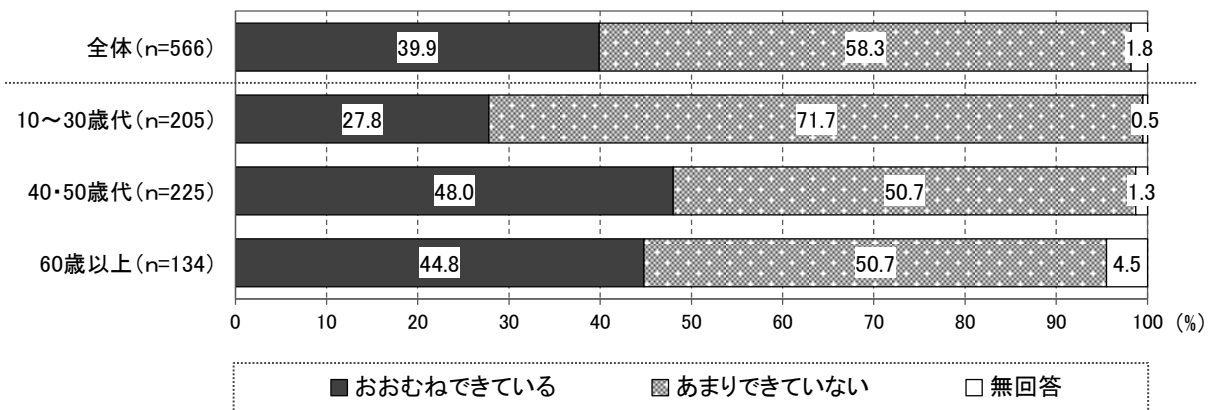
⑤ 自治会や隣近所など地域での交流・避難訓練

地域での交流・避難訓練が「おおむねできている」という回答は全体の1割強となっています。



⑥ ハザードマップでの危険個所の確認

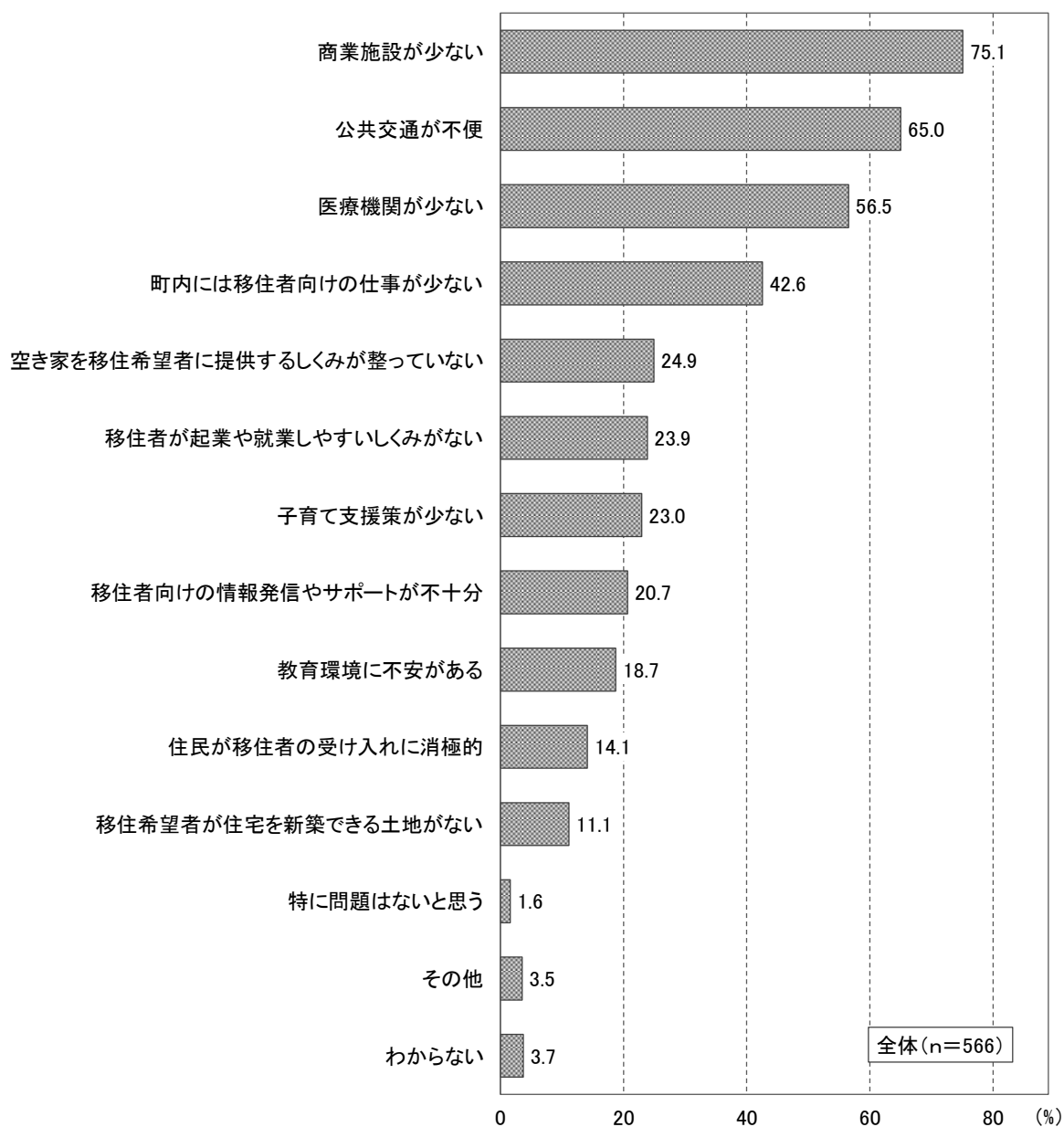
ハザードマップでの危険個所の確認が「おおむねできている」という回答は約4割となっており、一層の啓発が求められます。



問 19

あなたは、町外から安堵町に移住する際の課題は何だと思いますか。
【〇はいくつでも】

移住を受け入れる課題は、「商業施設が少ない」が75.1%と最も高く、次いで、「公共交通が不便」(65.0%)、「医療機関が少ない」(56.5%)の順となっています。



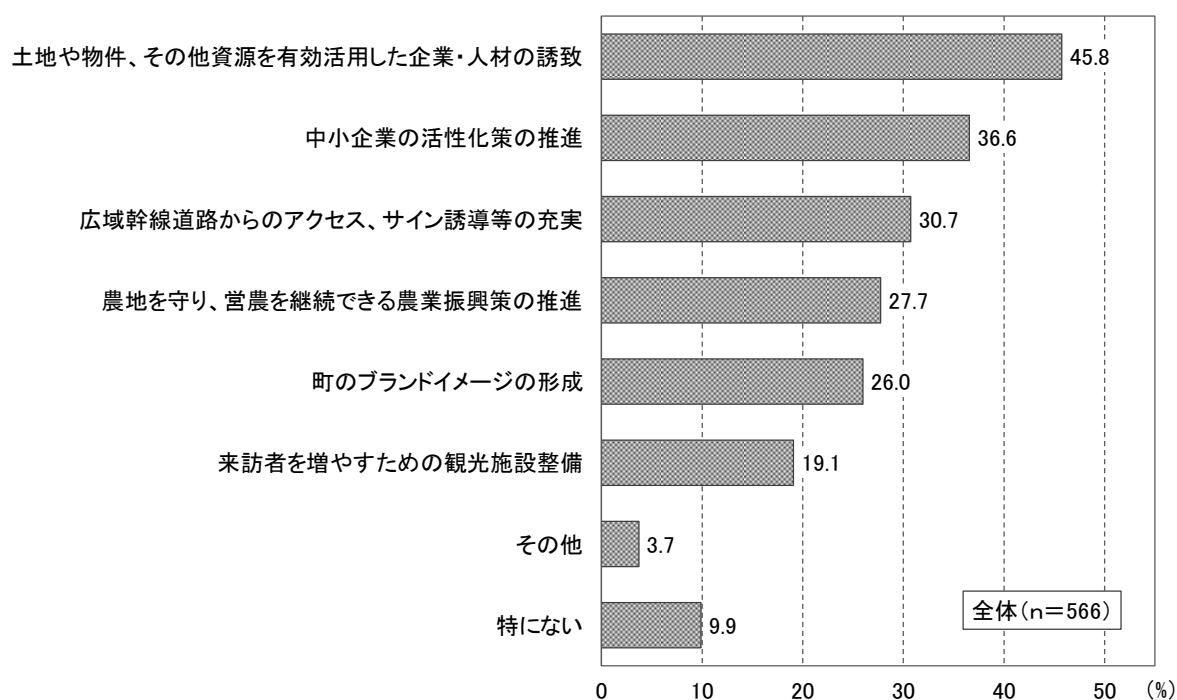
		移住希望者が住宅新築で土地が足りない	空き家を移住希望者に提供し、くみが整っていない	公共交通が不便	医療機関が少ない	商業施設が少ない	移住者向けの情報やサポートが不十分	町内には移住者向けの仕事が少ない	移住者が起業しやすいイメージがない	住民が移住者の受け入れに消極的	子育て支援策が少ない	教育環境に不安がある	特に問題はないと思う	その他	わからない
全体	(n=)	566	141	368	320	425	117	241	135	80	130	106	9	20	21
10～30歳代		205	50	117	98	152	50	84	54	37	70	52	4	12	12
40・50歳代		225	50	158	143	179	45	104	55	29	40	46	1	5	7
60歳以上		134	41	92	79	93	22	53	26	14	20	8	4	3	2
			24.9%	65.0%	56.5%	75.1%	20.7%	42.6%	23.9%	14.1%	23.0%	18.7%	1.6%	3.5%	3.7%
			24.4%	57.1%	47.8%	74.1%	24.4%	41.0%	26.3%	18.0%	34.1%	25.4%	2.0%	5.9%	5.9%
			22.2%	70.2%	63.6%	79.6%	20.0%	46.2%	24.4%	12.9%	17.8%	20.4%	0.4%	2.2%	3.1%
			30.6%	68.7%	59.0%	69.4%	16.4%	39.6%	19.4%	10.4%	14.9%	6.0%	3.0%	2.2%	1.5%
			9.0%												

5. 産業振興・都市基盤について

問 20

あなたは、安堵町の産業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【〇はいくつでも】

産業振興策について、農・林・商・工・観光の施策を分野横断的に聞きしたところ、「土地や物件、その他資源を有効活用した企業・人材の誘致」が45.8%と最も高く、次いで、「中小企業の活性化策の推進」(36.6%)、「広域幹線道路からのアクセス、サイン誘導等の充実」(30.7%)の順となっています。

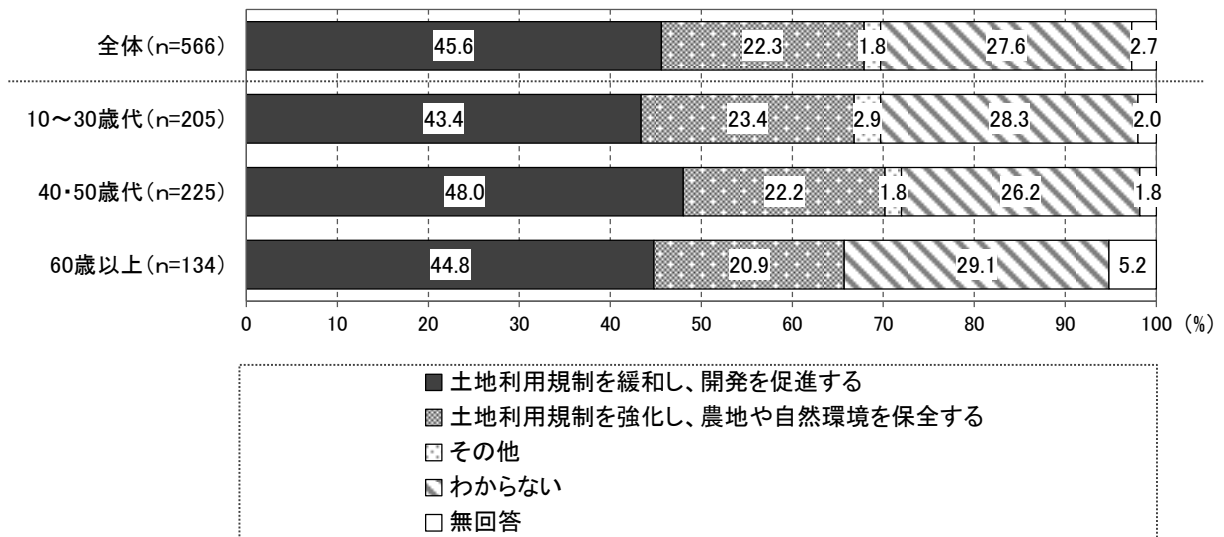


		農地を 守り、 営農を 継続で きる農 業振興 策の推 進	中小企 業の活 性化策 の推進	土地や 物件、 その他 資源を 有効活 用した 企業・ 人材の 誘致	来訪者 を増や すため の観光 施設整 備	町のブ ランド イメー ジの形 成	広域幹 線道路 からの アクセ ス、サ イン誘 導等の 充実	その他	特にな い
全体	566	157 27.7%	207 36.6%	259 45.8%	108 19.1%	147 26.0%	174 30.7%	21 3.7%	56 9.9%
10～30歳代	205	65 31.7%	76 37.1%	81 39.5%	41 20.0%	65 31.7%	66 32.2%	9 4.4%	23 11.2%
40・50歳代	225	56 24.9%	86 38.2%	121 53.8%	40 17.8%	52 23.1%	73 32.4%	8 3.6%	18 8.0%
60歳以上	134	36 26.9%	45 33.6%	55 41.0%	26 19.4%	28 20.9%	34 25.4%	4 3.0%	15 11.2%

問 21

将来の土地利用のあり方について、どのようにしていきべきだと思いますか。【〇は1つだけ】

将来の土地利用のあり方については、「土地利用規制を緩和し、開発を促進する」が45.6%、「土地利用規制を強化し、農地や自然環境を保全する」が22.3%、「その他」が1.8%などとなっています。



6. 教育・文化について

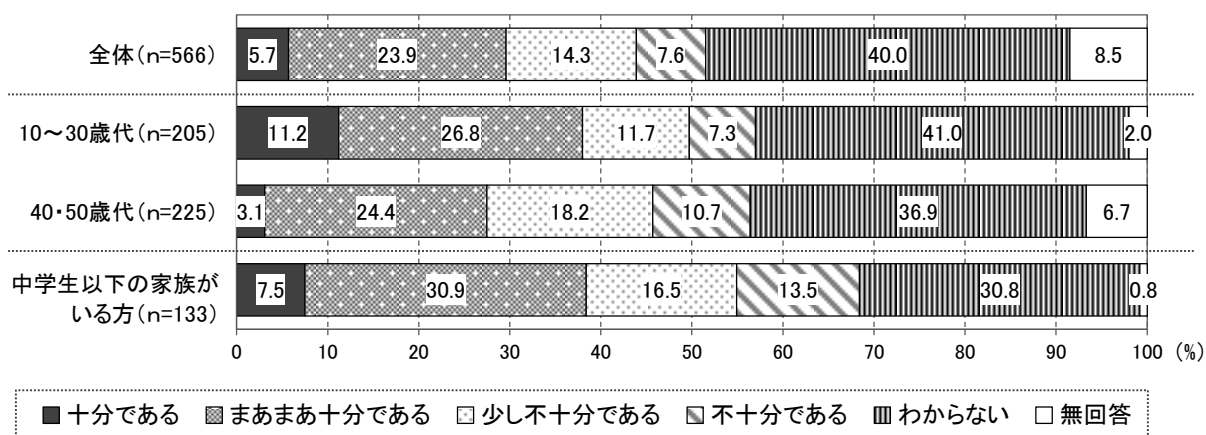
問 22

あなたは、安堵町の小中学校の教育活動について、どう感じていますか。
【それぞれ1つに○】

① 基礎学力を着実に養う教育

小中学校の教育について、4段階の尺度でお聞きしたところ、「基礎学力を着実に養う教育」は、「わからない」や無回答も多いものの、「十分である」と「まあまあ十分である」の合計が「少し不十分である」と「不十分である」の合計を上回っており、住民は、この項目について、おおむね良い評価をしていると言えます。

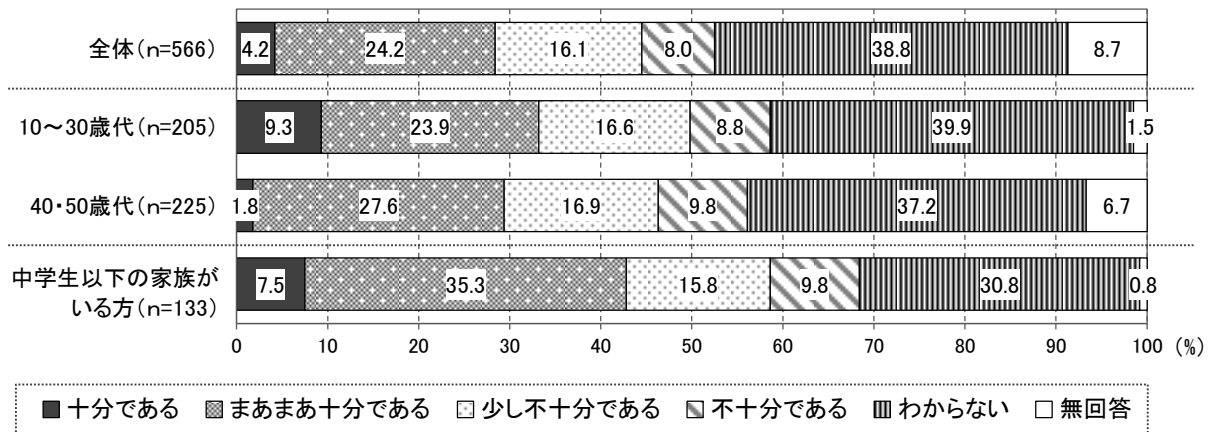
また、問7で「中学生以下の家族がいる」と回答した方みの回答では、回答者全体のものより、より高い評価となっています。



② 人間関係（コミュニケーション）を築く教育

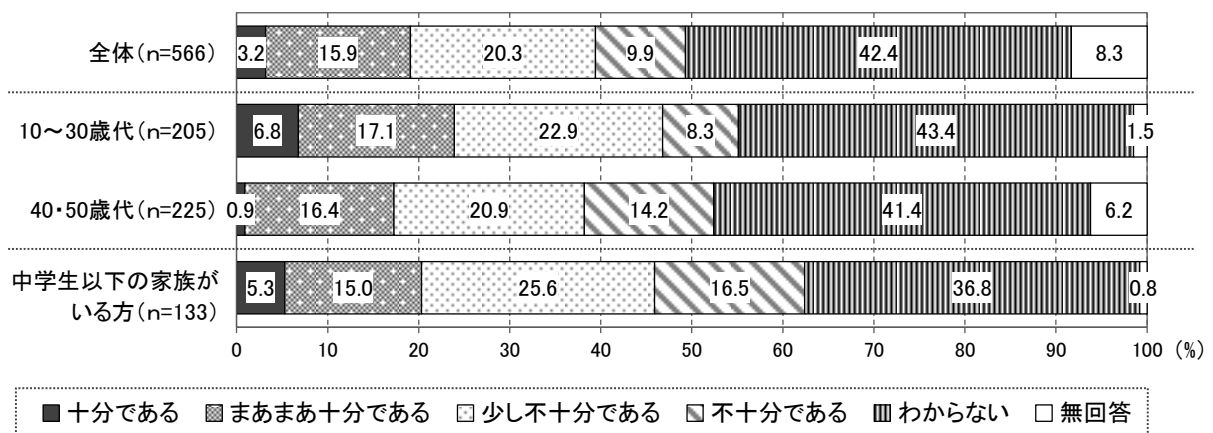
「人間関係（コミュニケーション）を築く教育」についても、「わからない」や無回答も多いものの、「十分である」と「まあまあ十分である」の合計が「少し不十分である」と「不十分である」の合計を上回っており、住民は、この項目について、おおむね良い評価をしていると言えます。

「中学生以下の家族がいる」と回答した方のみの回答では、回答者全体のものより、より高い評価となっています。



③ 希望する進路をかなえる教育

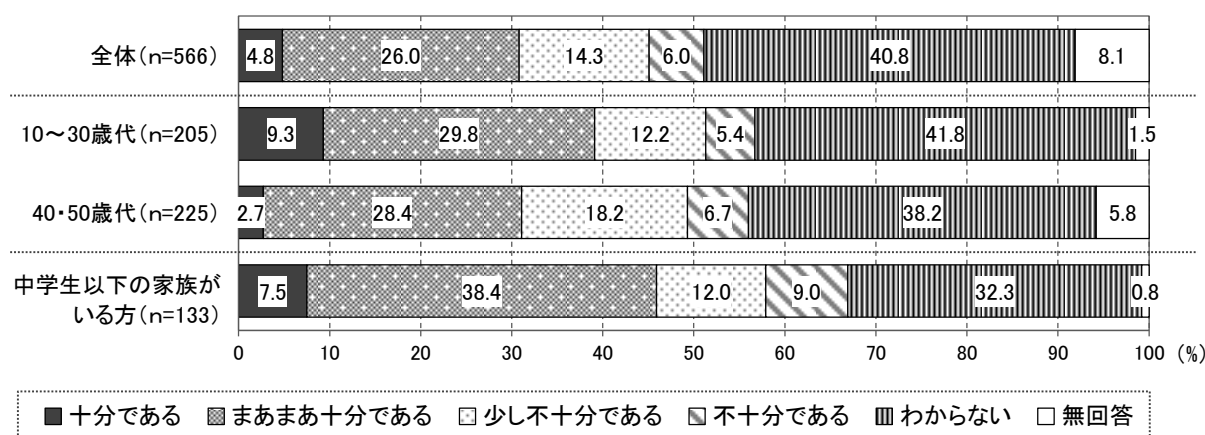
「希望する進路をかなえる教育」は、回答者全体では、「少し不十分である」と「不十分である」の合計は30%となっていますが、「中学生以下の家族がいる」と回答した方のみの回答では、回答者全体のものより、より低い評価となっています。



④ 心と体の健やかな成長を促す教育

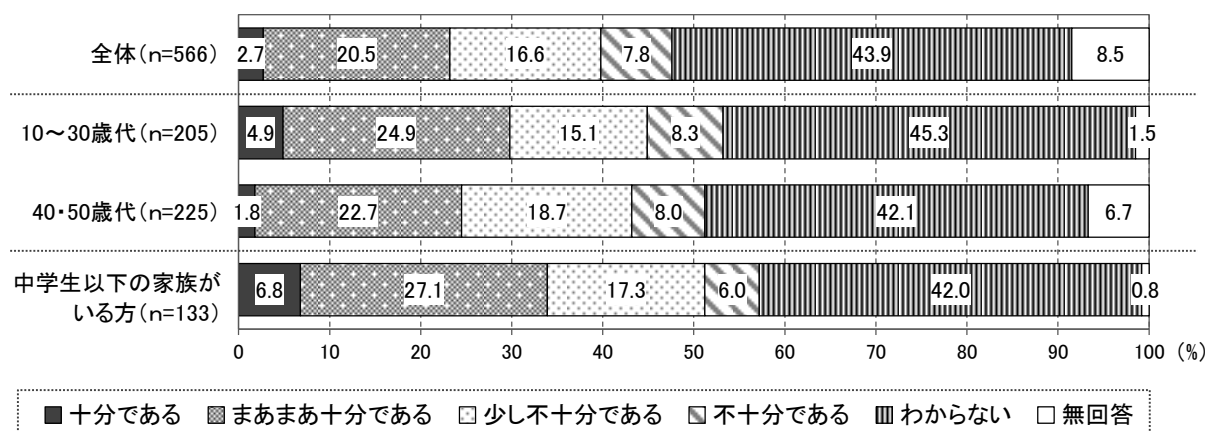
「心と体の健やかな成長を促す教育」は、「十分である」と「まあまあ十分である」の合計が「少し不十分である」と「不十分である」の合計を1割ほど上回っており、住民は、この項目について、おおむね十分であると評価していると言えます。

また、中学生以下の家族がいる133人の回答についても、回答者全体のものより、より高い評価となっています。



⑤ 住民や事業所と共に進める教育

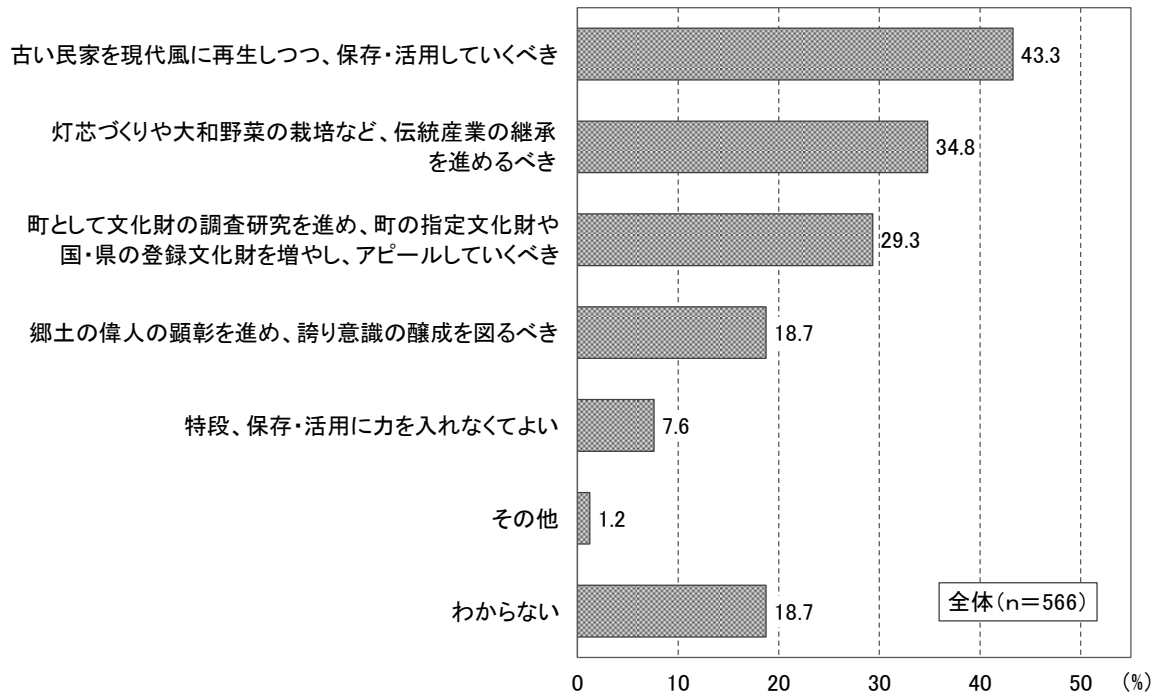
「住民や事業所と共に進める教育」は、「十分である」と「まあまあ十分である」の合計が「少し不十分である」と「不十分である」の合計とほぼ同じとなっていますが、「わからない」が4割以上を占めることから、住民や事業所と共に進める教育についての理解を進める必要があります。



問 23

将来的な歴史文化の保存・活用のあり方について、どのようにしていきべきだと思いますか。【〇はいくつでも】

将来的な歴史文化の保存・活用のあり方についてお聞きしたところ、「古い民家を現代風に再生しつつ、保存・活用していきべき」が43.3%と最も高く、次いで、「灯芯づくりや大和野菜の栽培など、伝統産業の継承を進めるべき」(34.8%)、「町として文化財の調査研究を進め、町の指定文化財や国・県の登録文化財を増やし、アピールしていきべき」(29.3%)の順となっています。

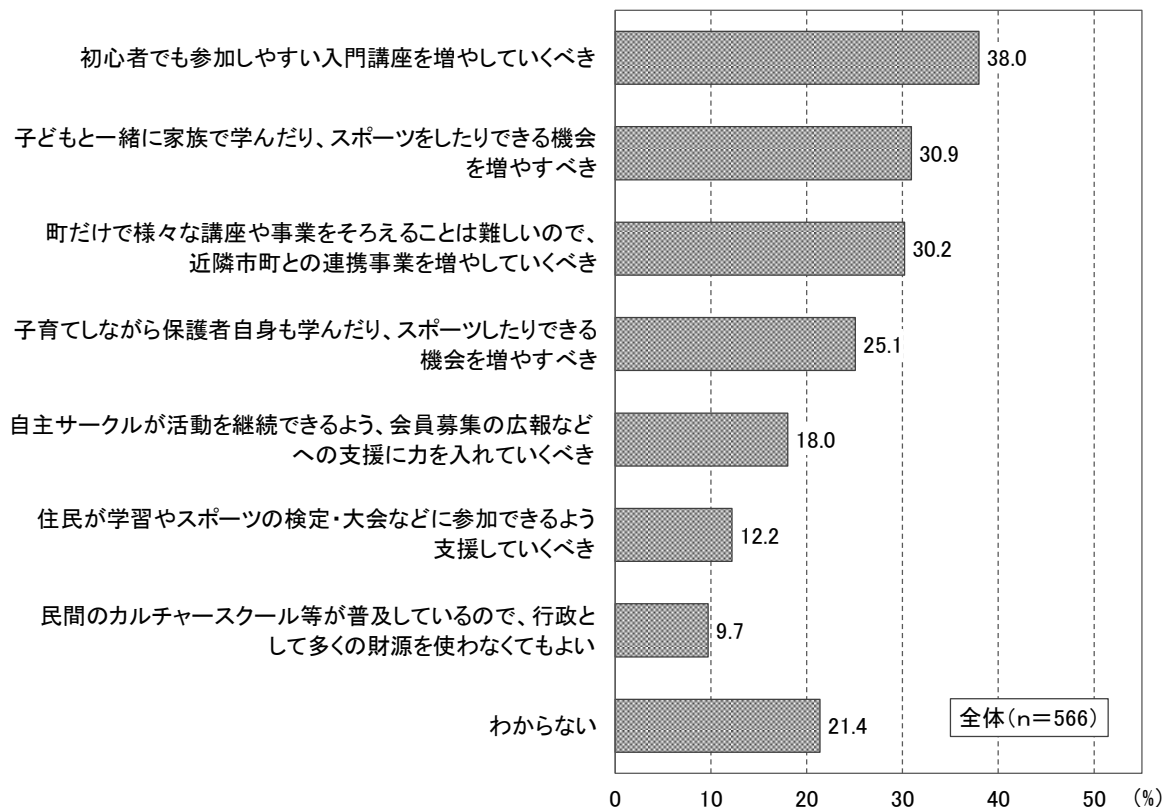


		古い民家を現代風に再生しつつ、保存・活用していきべき	町として文化財の調査研究を進め、町の指定文化財や国・県の登録文化財を増やし、アピールしていきべき	郷土の偉人の顕彰を進め、誇り意識の醸成を図るべき	灯芯づくりや大和野菜の栽培など、伝統産業の継承を進めるべき	特段、保存・活用に力を入れなくてよい	その他	わからない
	(n=)							
全体	566	245 43.3%	166 29.3%	106 18.7%	197 34.8%	43 7.6%	7 1.2%	106 18.7%
10～30歳代	205	94 45.9%	47 22.9%	25 12.2%	65 31.7%	20 9.8%	3 1.5%	41 20.0%
40・50歳代	225	105 46.7%	63 28.0%	36 16.0%	69 30.7%	16 7.1%	3 1.3%	44 19.6%
60歳以上	134	46 34.3%	54 40.3%	43 32.1%	62 46.3%	7 5.2%	1 0.7%	21 15.7%

問 24

あなたは、安堵町の生涯学習・スポーツ事業について、町教育委員会は、どのようにしていくべきだと思いますか。【〇はいくつでも】

安堵町の生涯学習・スポーツ事業について、町教育委員会は、どのようにしていくべきかをお聞きしたところ、「初心者でも参加しやすい入門講座を増やしていくべき」が38.0%と最も高く、次いで、「子どもと一緒に家族で学んだり、スポーツをしたりできる機会を増やすべき」(30.9%)、「町だけで様々な講座や事業をそろえることは難しいので、近隣市町との連携事業を増やしていくべき」(30.2%)の順となっています。



		初心者でも参加しやすい入門講座を増やしていくべき	子育てしながら保護者自身も学んだり、スポーツしたりできる機会を増やすべき	子どもと一緒に家族で学んだり、スポーツをしたりできる機会を増やすべき	町だけで様々な講座や事業をそろえることは難しいので、近隣市町との連携事業を増やしていくべき	自主サークルが活動を継続できるよう、会員募集の広報などへの支援に力を入れていくべき	住民が学習やスポーツの検定・大会などに参加できるよう支援していくべき	民間のカルチャースクール等が普及しているので、行政として多くの財源を使わなくてもよい	わからない
	(n=)								
全体	566	215 38.0%	142 25.1%	175 30.9%	171 30.2%	102 18.0%	69 12.2%	55 9.7%	121 21.4%
10～30歳代	205	67 32.7%	68 33.2%	89 43.4%	60 29.3%	34 16.6%	33 16.1%	19 9.3%	45 22.0%
40・50歳代	225	86 38.2%	50 22.2%	54 24.0%	72 32.0%	35 15.6%	27 12.0%	32 14.2%	39 17.3%
60歳以上	134	61 45.5%	24 17.9%	32 23.9%	37 27.6%	32 23.9%	8 6.0%	4 3.0%	37 27.6%

7. 行財政・まちづくりについて

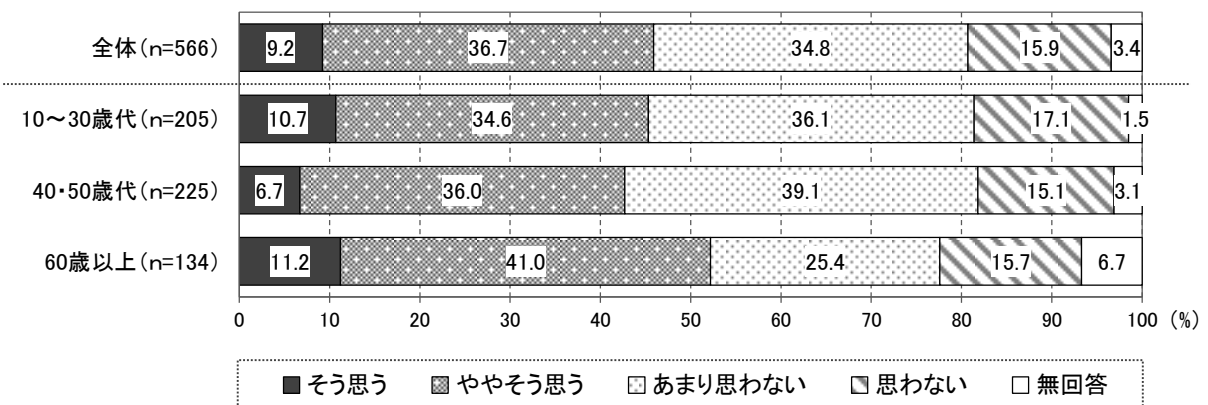
問 25

あなたは、地域に対して、以下のことをどう感じていますか。
【それぞれ1つに○】

① 自宅の隣近所で、お互い助けあえる仕組みができている

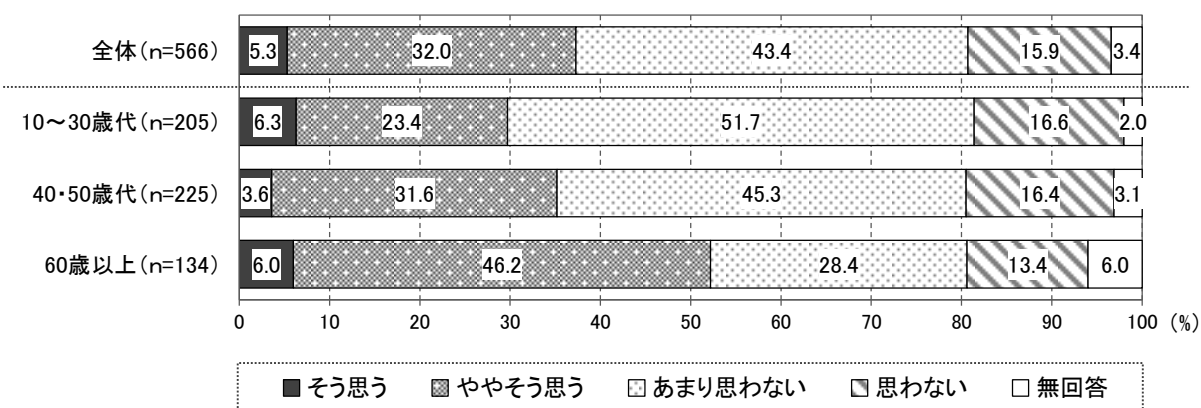
地域の支えあいの状況に関する意識について、4段階の尺度でお聞きしたところ、「自宅の隣近所で、お互い助けあえる仕組みができている」と思うかは、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」と「思わない」の合計を下回っており、この項目について、あまりできていないと評価していると言えます。

年代層別にみると、60歳以上では、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」と「思わない」の合計を上回っており、おおむねできていると評価していると言えます。



② 地域で日頃から防犯のための目配りができている

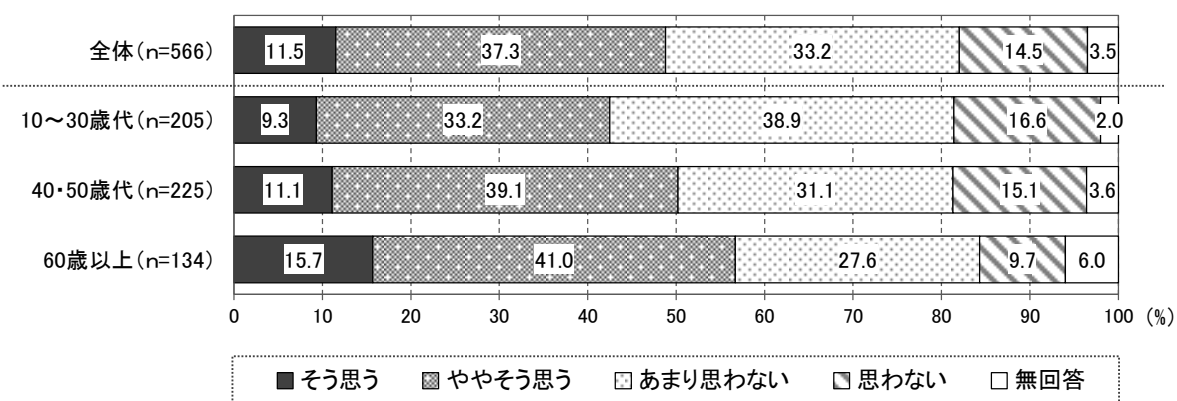
「地域で日頃から防犯のための目配りができている」と思うかは、「あまり思わない」と「思わない」の合計が6割、10～30歳に限っては約7割あり、住民は、この項目について、あまりできていないと評価していると言えます。



③ 住んでいる地域では、災害時にもみんなで助け合えると思う

「住んでいる地域では、災害時にも皆で助け合えると思う」については、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」と「思わない」の合計をわずかに上回っていますが、この項目の評価は拮抗していると言えます。

年代層別にみると、60歳以上では、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」と「思わない」の合計を大幅に上回っており、おおむねできていると評価していると言えます。



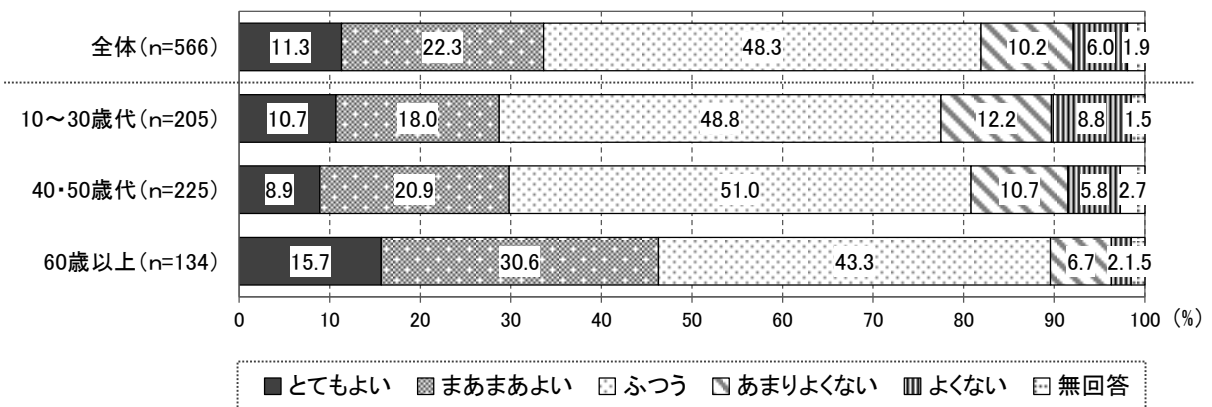
問 26

あなたは、役場に対して、以下のことをどのように感じていますか。
【それぞれ1つに○】

① 職員の対応・態度

役場に対しての意識を5段階の尺度でお聞きしたところ、「職員の対応・態度」は、「とてもよい」と「まあまあよい」の合計が「あまりよくない」と「よくない」の合計を大幅に上回っており、住民は、この項目について、おおむねよいと評価していると言えます。

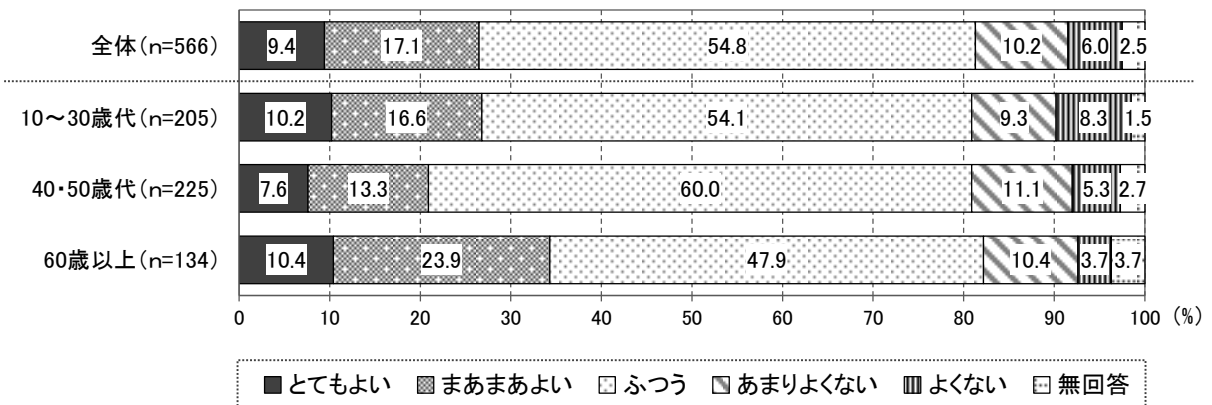
年代層別にみても大きな差はなく、いずれの年代でもおおむねよいと評価していると言えます。



② 仕事のスピード

「仕事のスピード」についても、「とてもよい」と「まあまあよい」の合計が「あまりよくない」と「よくない」の合計を上回っており、住民は、この項目について、おおむねよいと評価していると言えます。

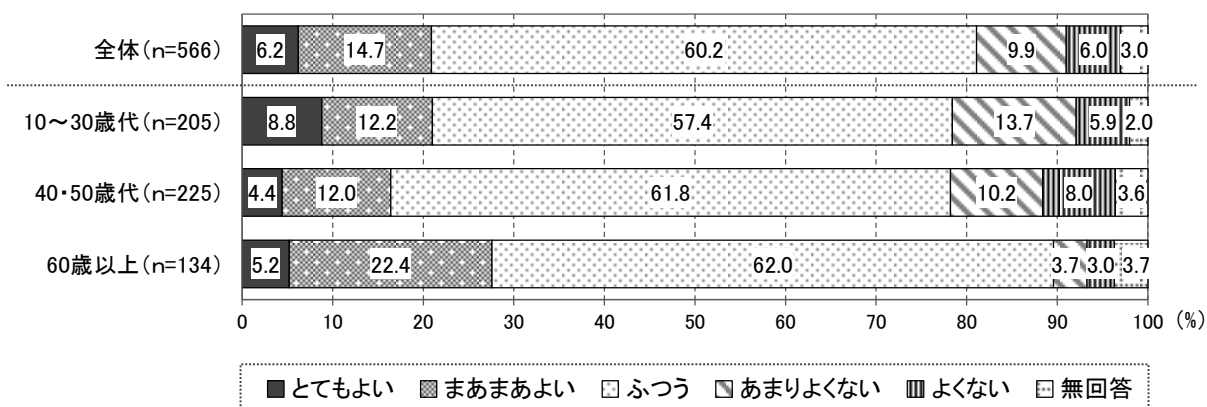
こちらも、年代層別にみても大きな差はなく、いずれの年代でもおおむねよいと評価していると言えます。



③ サービスを受けられる時間帯

「サービスを受けられる時間帯」については、「とてもよい」と「まあまあよい」の合計が「あまりよくない」と「よくない」の合計を上回っており、住民は、この項目について、おおむねよいと評価していると言えます。

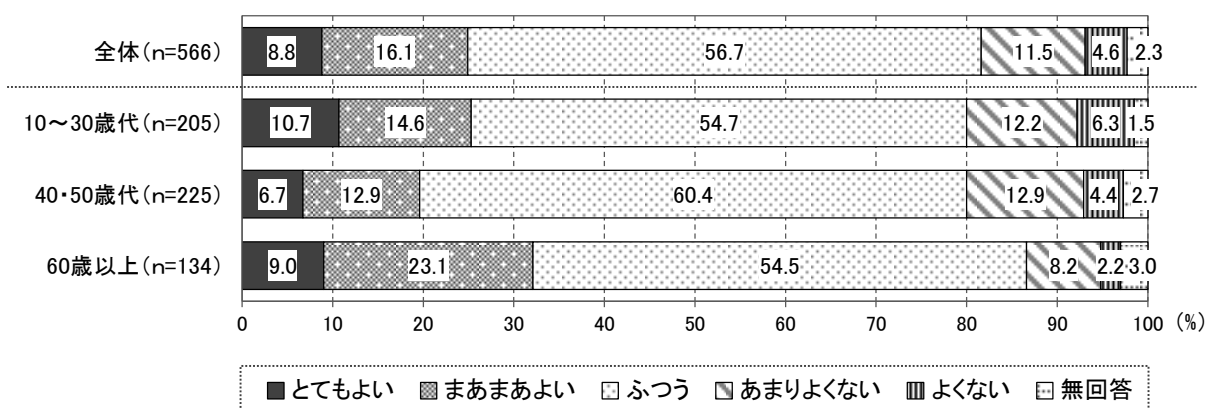
年代層別にみると、40・50歳代では、「とてもよい」と「まあまあよい」の合計が「あまりよくない」と「よくない」の合計を下回っており、この項目について、あまり良くないと評価していると言えます。



④ 役場での手続きのわかりやすさ

「役場での手続きのわかりやすさ」についても、「とてもよい」と「まあまあよい」の合計が「あまりよくない」と「よくない」の合計を上回っており、住民は、この項目について、おおむねよいと評価していると言えます。

こちらも、年代層別にみても大きな差はなく、いずれの年代でもおおむねよいと評価していると言えます。

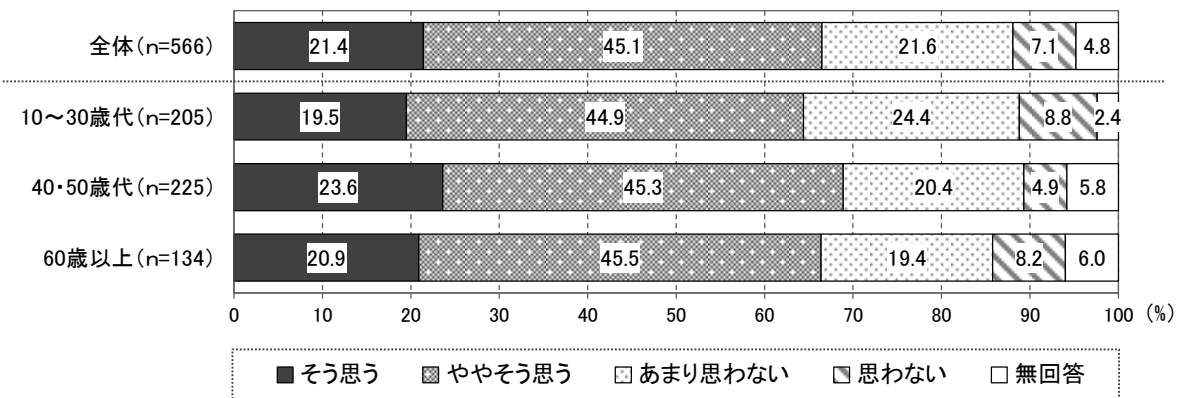


問 27

財政を安定化させるための方策や、将来への公共投資について、以下のことについてどのように思いますか。【それぞれ1つに〇】

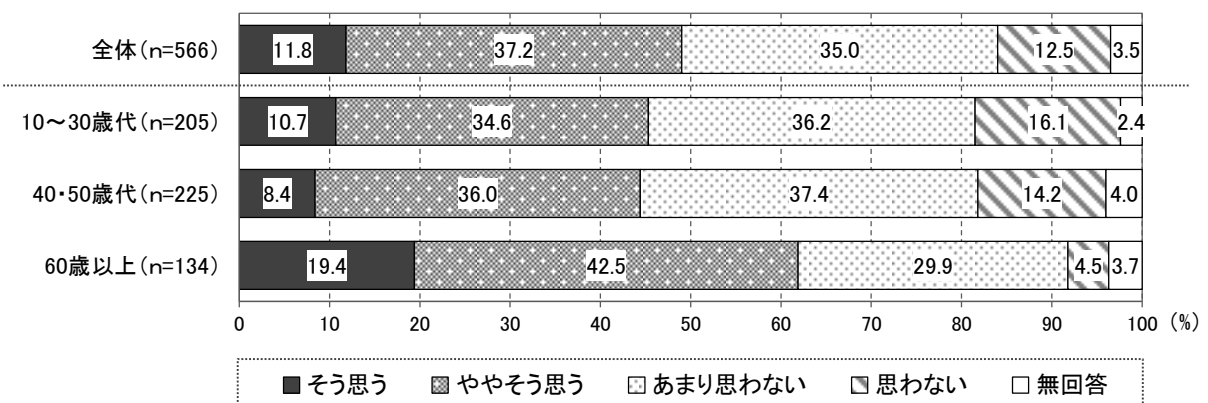
① 人口が減っていくので、町の公共施設の縮小や統廃合はやむをえない

将来への公共投資について4段階の尺度でお聞きしたところ、人口が減っていくので、町の公共施設の縮小や統廃合はやむをえないという回答は、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が6割強となっています。



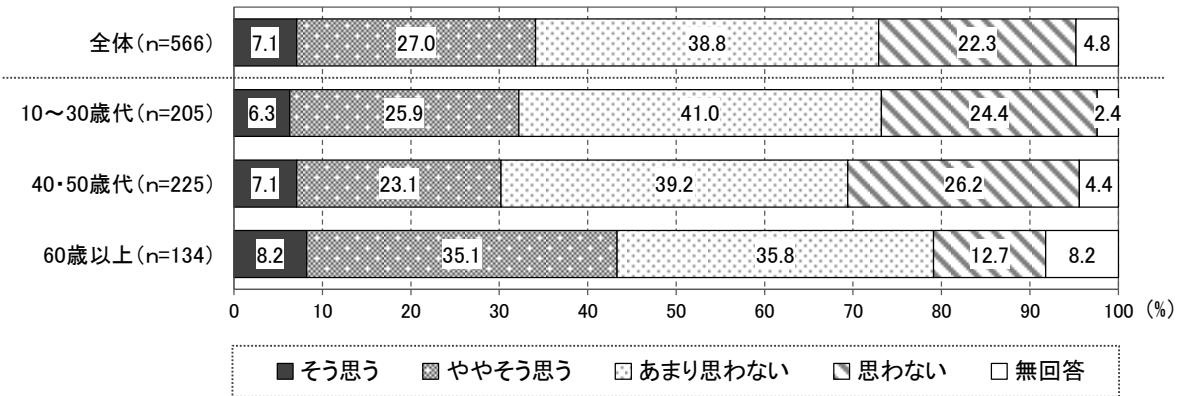
② トーク安堵カルチャーセンター（昭和 62 年築）などの公共施設は、町の活性化のために不可欠な施設なので、多額の修繕費が生じてでも維持していくべき

公共施設は、町の活性化のために不可欠な施設なので、多額の修繕費が生じてでも維持していくべきという回答は、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が5割となっています。



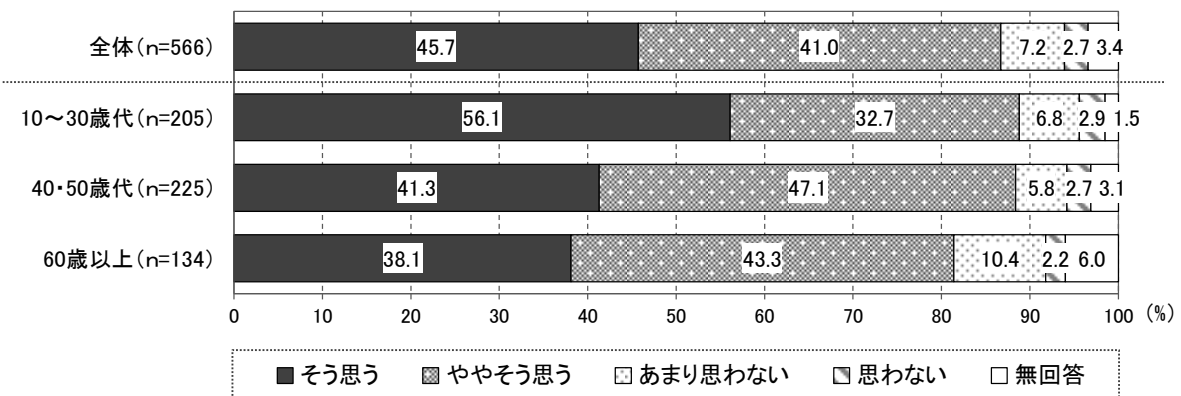
③ ②により施設を維持する場合、使用料の値上げや更なる行政負担が伴ってもかまわない

公共施設を維持する場合、使用料の値上げや更なる行政負担が伴ってもかまわないという回答は、「あまり思わない」と「思わない」の合計が「そう思う」と「ややそう思う」の合計を大幅に上回っております。



④ 小学校、中学校、こども園などの子育て関連施設は、整備などを積極的にすべき

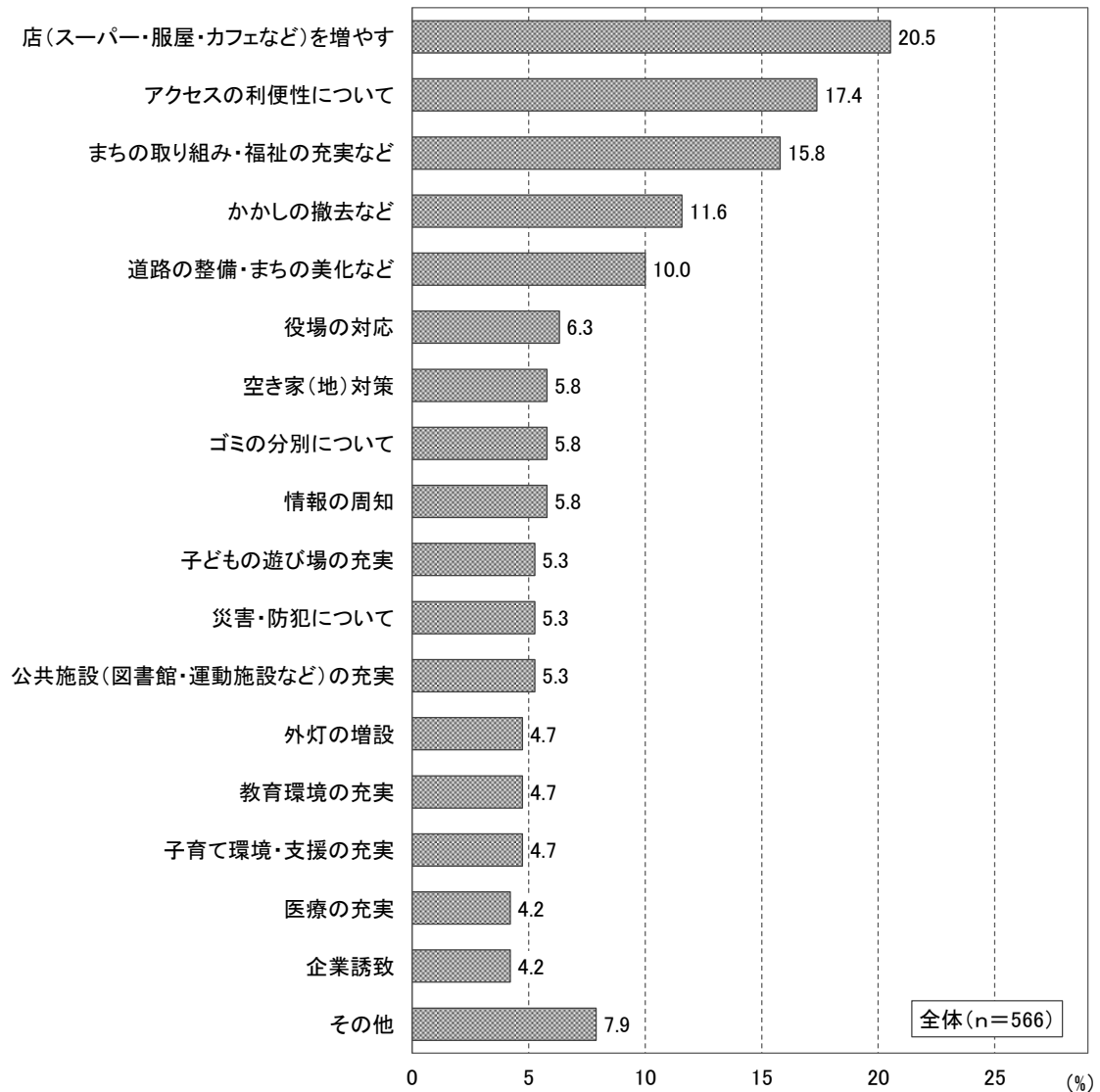
小学校、中学校、こども園などの子育て関連施設は、整備などを積極的にすべきという回答は、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が「あまり思わない」と「思わない」の合計を大幅に上回っております。



問 28

町政に関するご意見やご要望など、どんなことでも結構ですので、お書きください。

記述形式の回答をカテゴリーに分けてグラフ化をしたところ、「店（スーパー・服屋・カフェなど）を増やす」が20.5%と最も高く、次いで、「アクセスの利便性について」(17.4%)、「まちの取り組み・福祉の充実など」(15.8%)の順となっています。



★記述のピックアップ

1. 店（スーパー・服屋・カフェなど）を増やす

- ・買い物が不便なので、スーパーがほしい。
- ・野菜などの生鮮食品が買える商業施設・スーパーがほしい。
- ・コンビニ・飲食店・スーパーを増やしてほしい。
- ・店が少ない。利便性のよいところへ転居を考えるようになった。
- ・高齢化が進行しているにもかかわらず、町外で買い物をしなければならない大変不便である。便利な町づくりを望む。

2. アクセスの利便性について

- ・コミュニティバス維持費削減のため、小型化・増便し、利便性の向上を検討すべき。
- ・バスの本数が少ない。
- ・コミュニティバスは町全体をサポートすべき。
- ・高齢化に伴い、公共交通機関の確保が必要。
- ・免許証を返納したが、交通アクセスがなく出かけられない。交通手段も少なく非常に不便。

3. まちの取り組み・福祉の充実など

- ・高齢化は止められないので、介護予防・高齢者世帯の経済的援助を充実してほしい。将来を考え在住している子ども政策も充実させてほしい
- ・地域振興券はありがたかったが、使える店が少ないので現金がよかった。
- ・高齢者の働く場所がほしい。環境事業の強化。
- ・活保護受給者に町内の清掃などの活動をさせて支給するなどしなくてはならない。
- ・衣食住の安定した町づくりで永住者を増やす努力をしてほしい。

4. かかしの撤去など

- ・かかしは昼夜問わず怖いので、中止してほしい。
- ・かかしではなく、横の桜の木を整備し、観光地化すべき。
- ・かかしの作成・補修費用を医療・教育へ使用してほしい。
- ・かかしは1つで十分。
- ・かかし公園は中途半端で来訪者に失礼。

5. 道路の整備・まちの美化など

- ・道路が狭いので火災時消防車両が通行できるか心配。
- ・安堵こども園周辺の猫の糞尿の悪臭に困っている。衛生的に良くない。餌を与えている人に注意してほしい。子ども園周辺の駐車車両にも困っている。
- ・草刈りを頻繁にしてほしい。中央公園はいつも整備されていて、気持ちいい。
- ・呼吸疾患もあるので野焼きを条例で禁止してほしい。
- ・ダイコー横の梱包会社のトレーラーの出入りで道路が破損している。

6. 役場の対応

- ・マイナンバーの更新手続きの際、窓口で体制を理解していない職員が対応しており非常に不快な思いをした。正しい理解と教育をお願いしたい。
- ・近隣の役場ではできることが、安堵町役場はできないと断られる。手間がかかり困る。
- ・行政手続きの書類が多く面倒。役場の窓口対応は好印象。月1～2回でいいので、土日に窓口を開けてほしい。
- ・町長・議員・町職員の働きに感謝している。この町はとても住みやすく愛している。のどかな環境は素晴らしい。

7. 空き家（地）対策

- ・空き家の積極的賃貸サポート。
- ・使われていない田畑の貸し出しを有効活用すべき。
- ・空き家・土地の有効利用。
- ・長年放置された空き家に困っている。持ち主に連絡してほしい。

8. ゴミの分別について

- ・ゴミ処理問題のように、大きな予算がかかることは住民投票するべきだ。
- ・ゴミ分別は年齢的に無理。
- ・ペットボトルの回収日を増やしてほしい。
- ・牛の排泄物の処理がされず、悪臭がする。ゴミ分別の変更に困惑している。

9. 情報の周知

- ・安堵町の町政の方針・政策を分かりやすく提示してほしい。
- ・町外から越してきたが、HPが非常に分かりにくく活用するのが難しい。イベント・防災情報・案内などがUPされていない。平日の電話でしか確認方法がなく不便だ。
- ・施設の活用法をもっと発信してほしい。
- ・マイナンバーカード申請時、広報に未表記の書類が必要だった。

10. 子どもの遊び場の充実

- ・公園や空き地の整備。用水路の蓋がないところが多く、子どもが
- ・子どもの交流の場を設けてほしい。
- ・子ども達と遊ぶ場所がない。使用していない公園を整備し、再利用を検討してほしい。
- ・あつみ台などしこ前の広場でのボール遊びを禁止されているが、フェンスなどで対応して遊べるようにしてあげてほしい。

11. 災害・防犯について

- ・災害時用に土のうを用意してほしい。
- ・防犯カメラを設置できるように、自治会に助成金を出してほしい。
- ・川の氾濫が心配。
- ・洪水時の浸水高が分かるように、電柱に高さ表示をしてほしい。

12. 公共施設（図書館・運動施設など）の充実

- ・図書室を日曜開放してほしい。
- ・中央体育館のトレーニングマシンを増やしてほしい。エアロビなどのレッスンを増やしてほしい。役場の空きを無償で貸し出すべき。
- ・カルチャー施設の修繕が必要。町役場主催のクラブ活動は月1回無料にしてほしい。
- ・公共施設の効率利用・統廃合を含む維持管理費の削減。

13. 外灯の増設

- ・外灯を増設してほしい。
- ・役場の北側は外灯がない。
- ・自転車道の外灯が少なく、治安が悪い。

14. 教育環境の充実

- ・かかしに税金は必要ない。学校教育に使ってほしい。
- ・小中学校の行事を見直してほしい。近隣の小中学校は修学旅行に行っている。遠足も参観日もある。中止にすることは簡単だが、子どもの気持ちを考えてほしい。
- ・小中学校で個々の学力に差がつかないように見るべき。イベントを簡素化してでも、第一優先は勉強による格差をなくし、全体の学力を上げることである。

15. 子育て環境・支援の充実

- ・日曜でも子どもを預かってもらえる施設がほしい。
- ・安堵子ども園の老朽化・セキュリティが心配。交流館などしこの使い道が不明。
- ・近隣の市町と協力し病児保育の取り組みをお願いしたい。

16. 医療の充実

- ・夜間対応の病院がほしい。
- ・病院が少なく、子どもの急病時に困る。
- ・乳がん・子宮がん検診が年1回受診できるように戻してほしい。

17. 企業誘致

- ・企業誘致により、人口増・交通量増で商業施設も誘致できるのではない
- ・周辺地域と連携し、観光・名所のPRをすれば将来的な企業誘致にもつながると思う。
- ・土地を有効利用して企業を誘致し、町内を活性化すべき。町内での就労場所がない。

18. その他

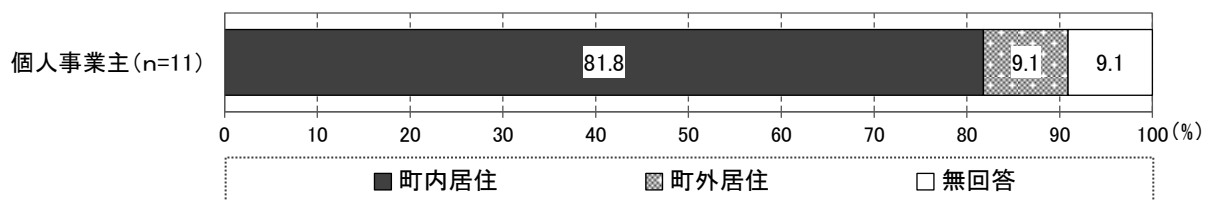
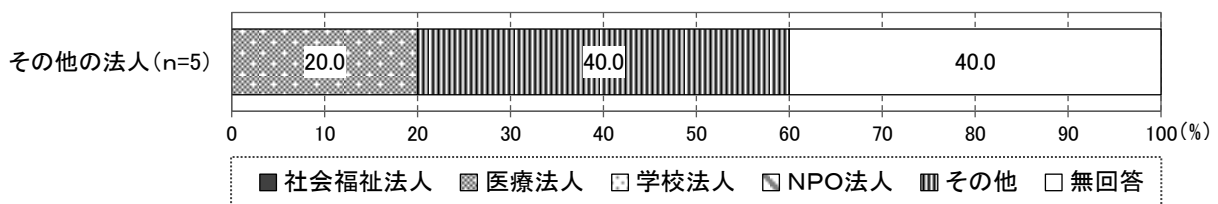
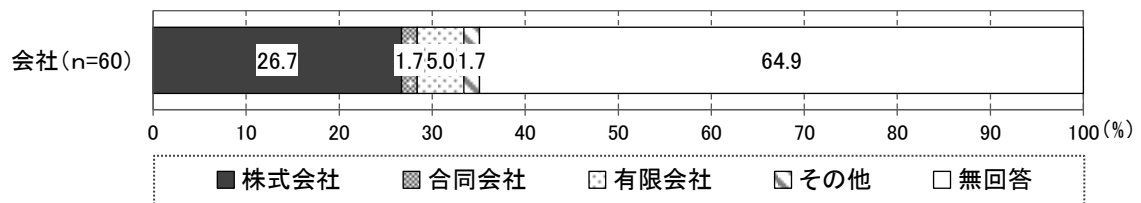
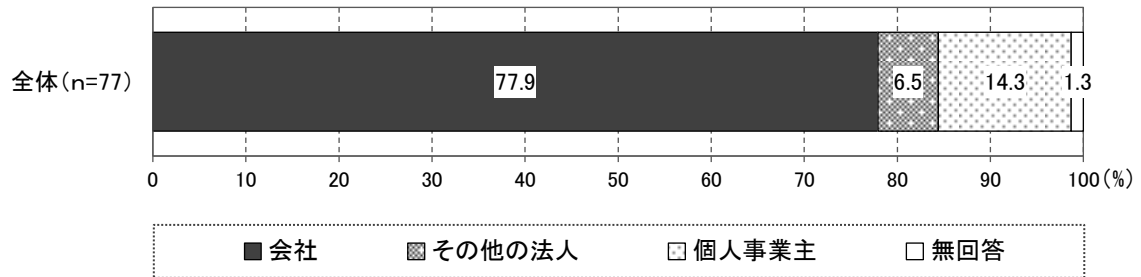
- ・数年前に越してきたが、いまだ安堵町の知識がない。移住した人向けに、安堵町の勉強会を企画してほしい。
- ・知名度が低い。若年層が少なく活気がない。町が廃れていくのは残念。
- ・このアンケート結果を積極的に活用してほしい。
- ・高齢になり、夜に困り事があるときに不安を感じる。
- ・このままだと若者は町外へ流出し、高齢化は止まらない。

第3章 事業所アンケート調査結果

1. 事業所（団体）の概要

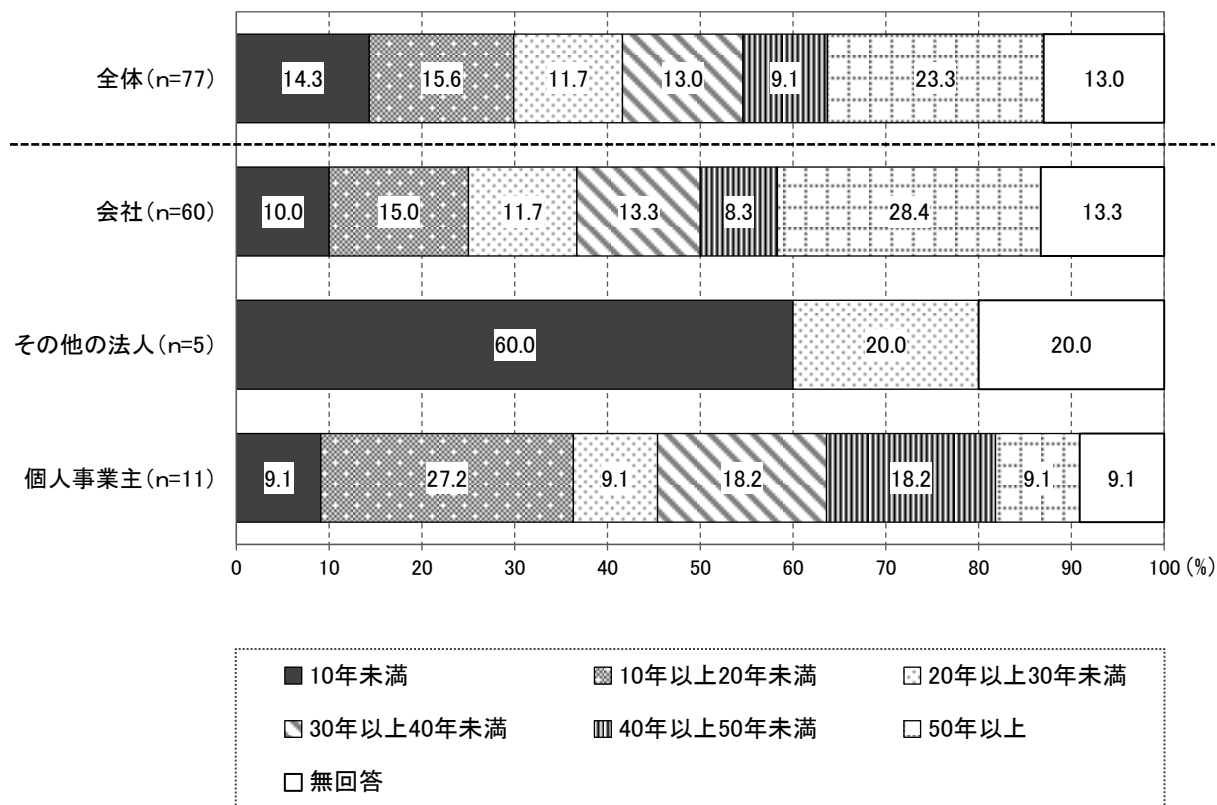
問2 貴事業所（団体）の形態

「会社」が77.9%、「その他の法人」が6.5%、「個人事業主」が14.3%となっています。



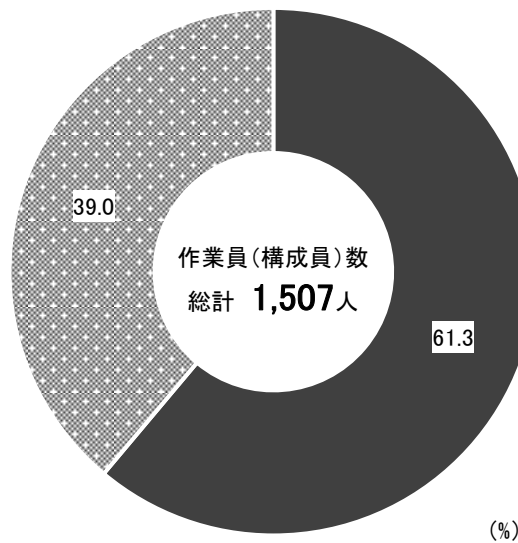
問3 創業（創立）年

全体では、「50年以上」が23.3%と最も高く、次いで、「10年以上20年未満」（15.6%）、「10年未満」（14.3%）の順となっています。



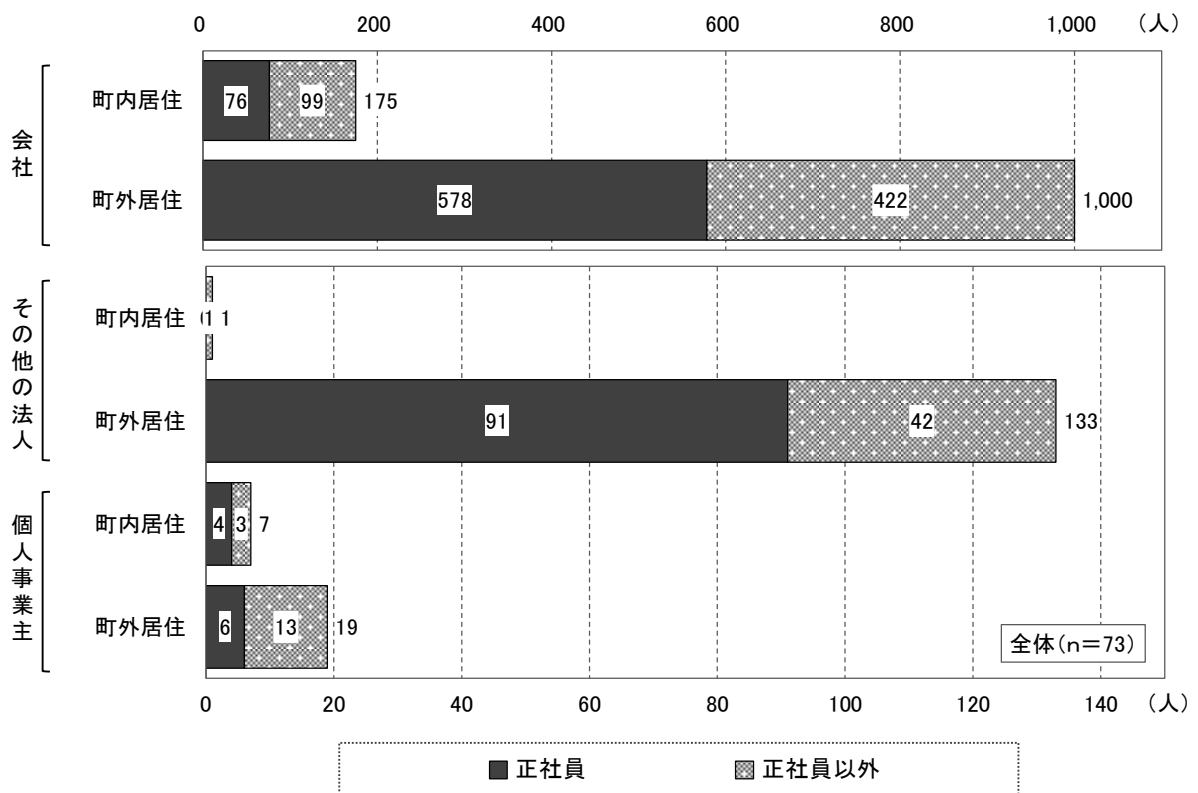
問4 従業員（構成員）は、何名ですか。概数で結構です。

全体では、「正社員」が61.3%、「正社員以外」が39.0%となっています。



■ 正社員 ■ 正社員以外

[全体 (n=77) 4事業所は無回答]



問5 行っている事業の業種や概要を教えてください。

自動車板金塗装。	会社
ポリ塩化ビニルコンパランド製造。	会社
ホテル、レストラン。	会社
一般貨物自動車運送事業。	会社
通所介護、居宅介護支援。	会社
郵政事業（郵便、貯金、保険、物販）。	会社
介護。	会社
金属加工業。	会社
みがき棒鋼及び冷間在造用鋼線。	会社
麺類製造。	会社
仕分け（麺類）。	会社
健康食品、化粧品卸し。	会社
産業機械の電気設計。	会社
土木工、舗装工事業など。	会社
不動産業。	会社
測量業。	会社
土木全般。	会社
卸売業、高圧ガス、溶接材料、機械工具、販売。	会社
配管材料の販売。	会社
ガソリンスタンド、プロパンガス販売、住宅設備。	会社
地質調査、解析。	会社
ダンボール加工、組立、検品・梱包、サービス。	会社
写真台紙、アルバムの加工。	会社
クリーニング業。	会社
子会社の管理、不動産事業。	会社
プラスチック成形品への蒸着加工及び塗装。	会社
利用運送業。	会社
不動産賃貸業。	会社
介護。	会社

土木・建設業。	会社
金融業。	会社
酪農業。	会社
プラスチック製造・販売。	会社
倉庫業。	会社
車の販売。	会社
介護事業。	会社
介護事業、ケアマネージャーとして介護支援の相談、調整を行う。	会社
製綿及び綿打直し加工、寝具類の販売など。	会社
工業用ガスバーナーの設計・製造・販売。	会社
上下水道資材、住宅機器卸売業。	会社
缶工事業。	会社
ビル管理及びメンテナンス業。	会社
写真撮影、動画撮影、撮影指導。	会社
一般貨物自動車運送事業。	会社
介護事業。	会社
金属板印刷。	会社
電気工事。	会社
食品卸業。	会社
軸受（ベアリング）用のローラーの製造・販売。	会社
小売業（コンビニエンスストア）。	会社
金属リサイクル及び成形工場。	会社
不動産賃貸（津谷商事への）。	会社
手帳製造、雑貨販売。	会社
写真台紙製造。	会社
販売。	会社
金属加工。	会社
自動車教習所。	会社
再生ポリエチレンの製造。	会社
床材の試業業務。	会社
小型エンジン。	会社

生活介護。	その他の法人
パンや、カフェ。	その他の法人
介護老人保健施設。	その他の法人
企業共同体法人による共同購入ならび外国人技能実習監理団体。	その他の法人
金融、共済、購買。	その他の法人
自動車全般。	個人事業主
陶芸教室、陶器製造。	個人事業主
機械部品加工。	個人事業主
手技療法（中国整体術）で、筋肉を調整し骨格を整え、気、血の流れを良くする。	個人事業主
パン、菓子、小売、カフェ。	個人事業主
歯科。	個人事業主
医療。	個人事業主
縫製業。	個人事業主
仏壇・仏具販売。	個人事業主
トリミングサロン。	個人事業主
自動車、新車中古車販売、車検整備、保険。	個人事業主
井戸温泉設計施工、設備工事、ドローンによる各種点検など。	-

2. 現在の事業状況

問6

現在の経営状況（新型コロナウイルスによる影響など）について教えてください。

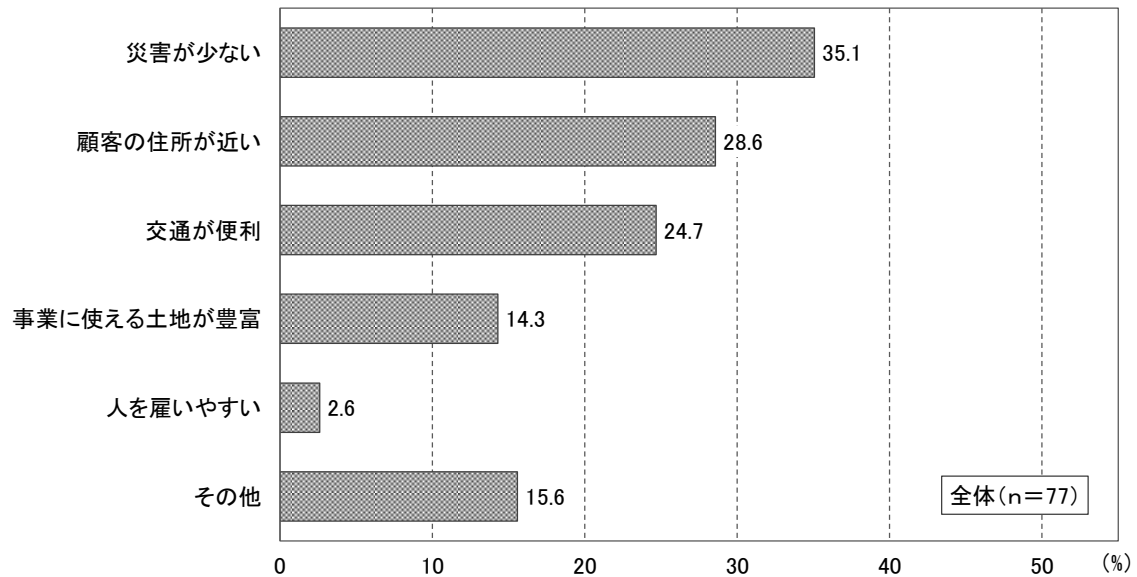
入庫する車の数が減少している。	会社
かつてない最悪の状況。	会社
物量前年比 10%前後減少状態。	会社
マスクや消毒などの物品代、人件費が少し増えた。	会社
減収、減益。	会社
毎月2～3割位の利用控えがあるように思う。	会社
受注状況が悪い。	会社
特になし。	会社
少々あり。	会社
少々あり。	会社
大変難しい状況。	会社
有り（経営悪化）。	会社
新型コロナ以前よりマイナスに推移している。	会社
新型コロナウイルスによる影響は、今のところない。	会社
新型コロナにより受注件数の減少がある。	会社
主なお客様が製造業で、新型コロナウイルスの影響により売上が減少傾向にある。	会社
前期に比べ売上が減少、赤字。	会社
特段の影響なし。	会社
4月～8月は仕事が減り、従業員に休んでもらう日もあったが、9月以降は徐々に回復してきている。	会社
結婚式のキャンセル、延期に伴い受注状況も減少している。	会社
最悪、影響大。	会社
コロナウイルスの影響がここにきて出ている。	会社
前年比売上3割ダウン。	会社
売上3割減。	会社
微動であるが減少。	会社

変わらない。	会社
販売用子牛価格の暴落。	会社
プラス要素、マイナス要素あり。現状トータルでは計画以上。	会社
現時点で影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある。	会社
減少。	会社
危機的な状況ではないが。	会社
介護・福祉という医療に近いところの業種だが、介護を受けないと家庭生活が成り立たない、ご本人が困ることから、コロナ発生もないため、今のところ経営は安定している。	会社
前年度に比べ、受注量・販売量も減少している。	会社
新型コロナウイルスの影響により売上が落ち込んでいる。	会社
経営状況は悪く、売上がかなり減少している。	会社
大変苦しい。	会社
新型コロナウイルスにより、遠方（関東や九州、東海）からの依頼が激減している。10月11月は、近畿からの依頼が激増し、依頼があってもお断りする事が多くなっている。	会社
売上減少。	会社
サービス利用の手控え。感染対策に係る業務量の拡大。	会社
新型コロナなどの影響で前年に比べ落ち込んでいる。	会社
新型コロナにより売上大幅減。	会社
生産減少（前年比約20%減）。	会社
緊急事態宣言が出ていたときは、売上が減少し大変だった。	会社
扱い数量の減少（鉄・非鉄リサイクル）、成形品の大幅減。	会社
不動産収入が減少（津谷商事の業績悪化）。	会社
売上、受注（▲20%）、特に店頭。期間工が例年より集まりやすかった。	会社
2019年度の9月10月の約74%～80%の生産量で推移している。	会社
赤字、単月黒字。	会社
仕事の依頼の減少。	会社
1ヶ月間の休業要請のため、予約の確保ができなくなったので、入所制限を実施している。	会社
売上が若干減少。	会社
輸出が大きく減り、影響があった。	会社
当社は、輸出（海外販売）が多いため、海外のロックダウンが今年にあり、売上が激減した。	会社

障害者の方々は、毎日来られるが、お店（カフェ）の方は、コロナウイルスの影響でお客様が少ない。	その他の法人
サービスの縮小、入国停止措置により事業が停滞している。	その他の法人
なし。	その他の法人
農業、商用車の動きが悪い。	個人事業主
陶芸教室は会員が減り、陶器製造も販売機会が減っている。	個人事業主
注文がなく厳しい状況。	個人事業主
新型コロナ対策をしているので、他府県の方、他府県にお勤めの方、咳、熱のある方はお断りしている。収入は例年の1／3程で、最悪。	個人事業主
平年並み。	個人事業主
元に戻った。	個人事業主
回復しつつある。	個人事業主
コロナの影響による経済の不況。	個人事業主
あまり良くない。	個人事業主
自粛中、子どもが家に居て働けなかった。	個人事業主
年齢による客数の減少。	個人事業主
対象となる客先に影響が大きく受注のキャンセル、延期などが重なり、非常に厳しい状況となっている。	-

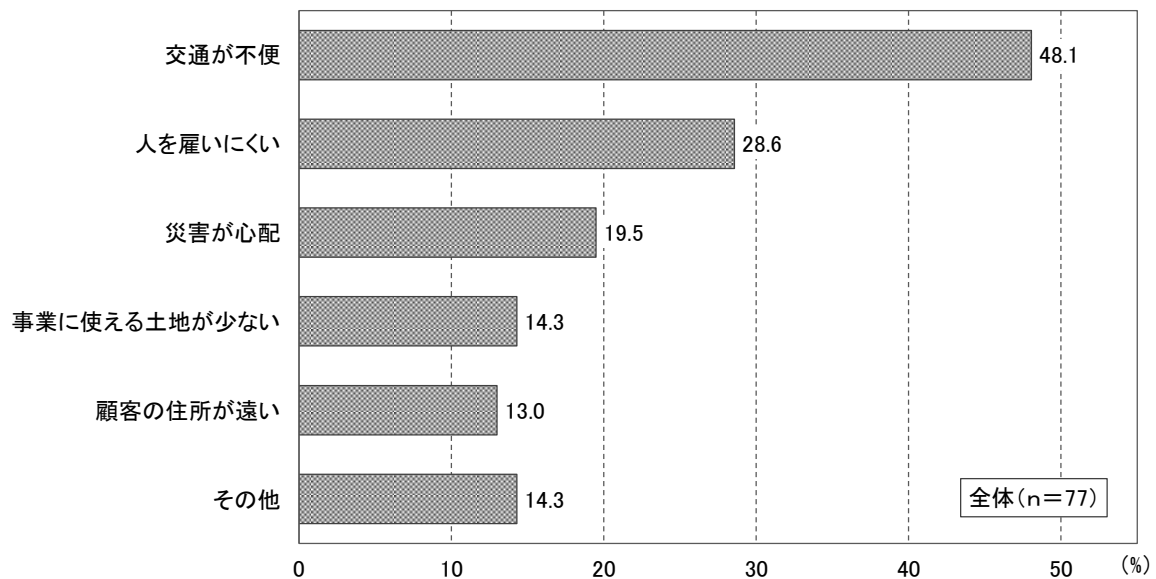
問7 現在の事業所の立地について、良い点は何ですか。【MA】

「災害が少ない」が35.1%と最も高く、次いで、「顧客の住所が近い」(28.6%)、「交通が便利」(24.7%)の順となっています。



問8 現在の事業所の立地について、不便な点は何ですか。【MA】

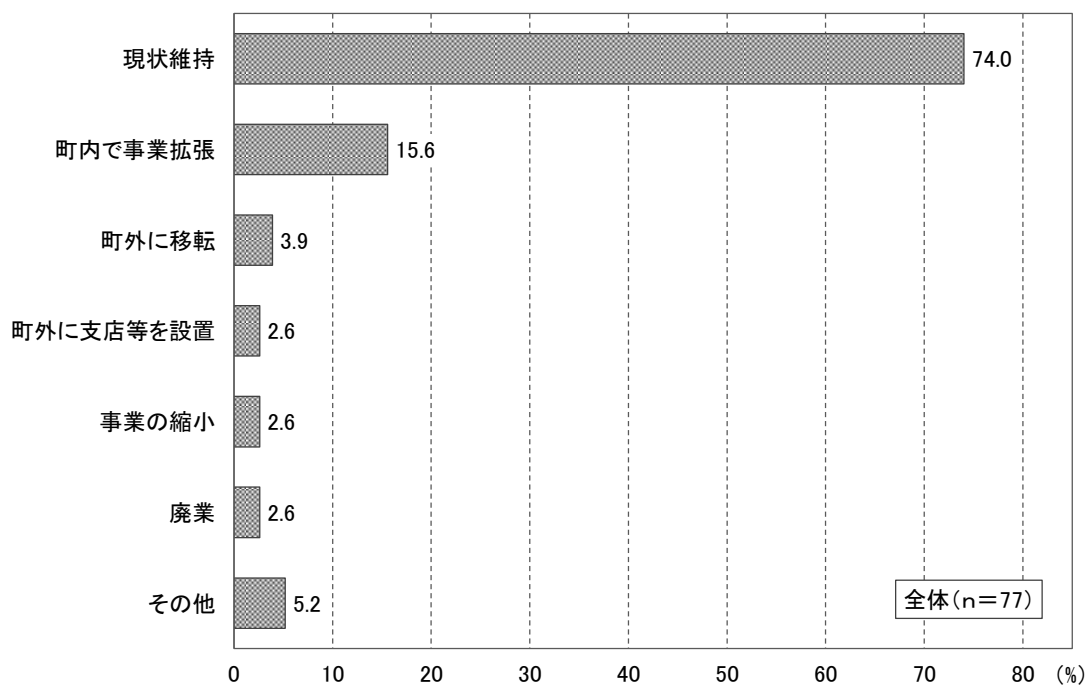
「交通が不便」が48.1%と最も高く、次いで、「人を雇いにくい」(28.6%)、「災害が心配」(19.5%)の順となっています。



3. 今後の事業について

問9 今後どのような事業展開を予定していますか。【MA】

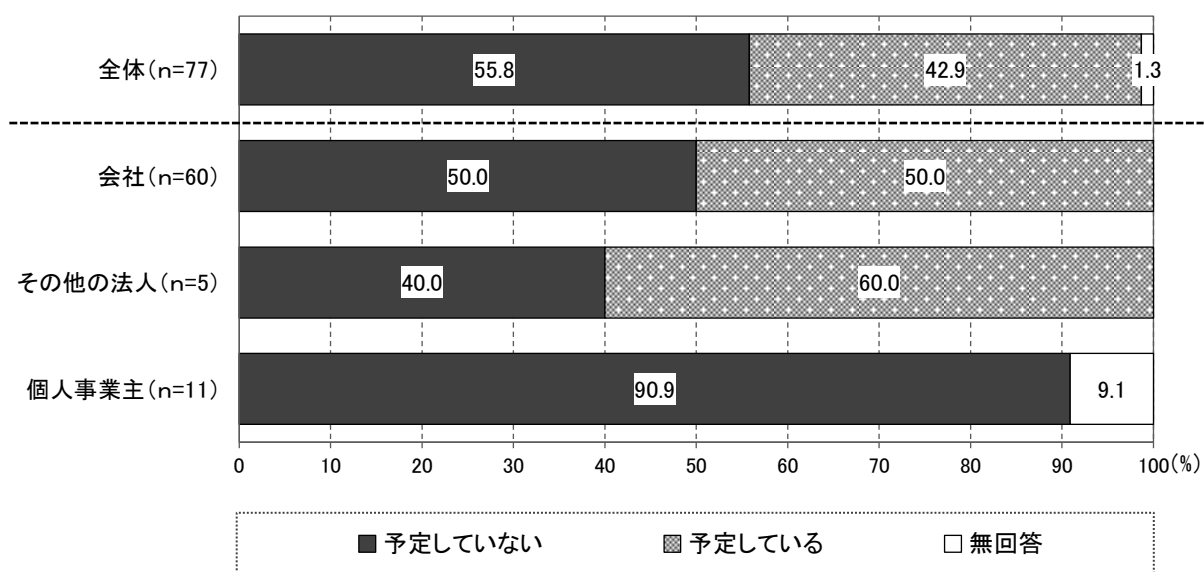
「現状維持」が74.0%と最も高く、次いで、「町内で事業拡張」(15.6%)、「町外に移転」(3.9%)の順となっています。



		町内で事業 拡張	町外に支店 等を設置	町外に移転	事業の縮小	廃業	現状維持	その他
	(n=)							
全体	77	12	2	3	2	2	57	4
		15.6%	2.6%	3.9%	2.6%	2.6%	74.0%	5.2%
会社	60	10	2	3	2	2	43	2
		16.7%	3.3%	5.0%	3.3%	3.3%	71.7%	3.3%
その他の法人	5	2	0	0	0	0	3	0
		40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%
個人事業主	11	0	0	0	0	0	10	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.9%	9.1%

問 10 今後、人材の雇用は予定していますか。

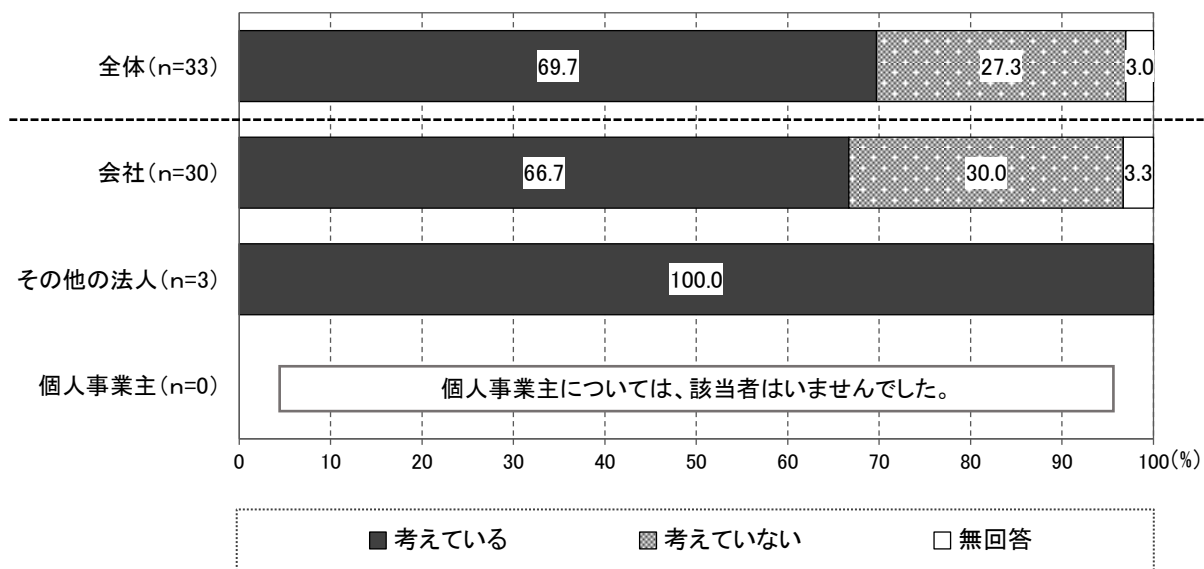
全体では、「予定していない」が55.8%、「予定している」が42.9%となっています。



問 10-1

◆問 10 で「2. 予定している」と答えた方。
町内での人材の雇用を考えていますか。

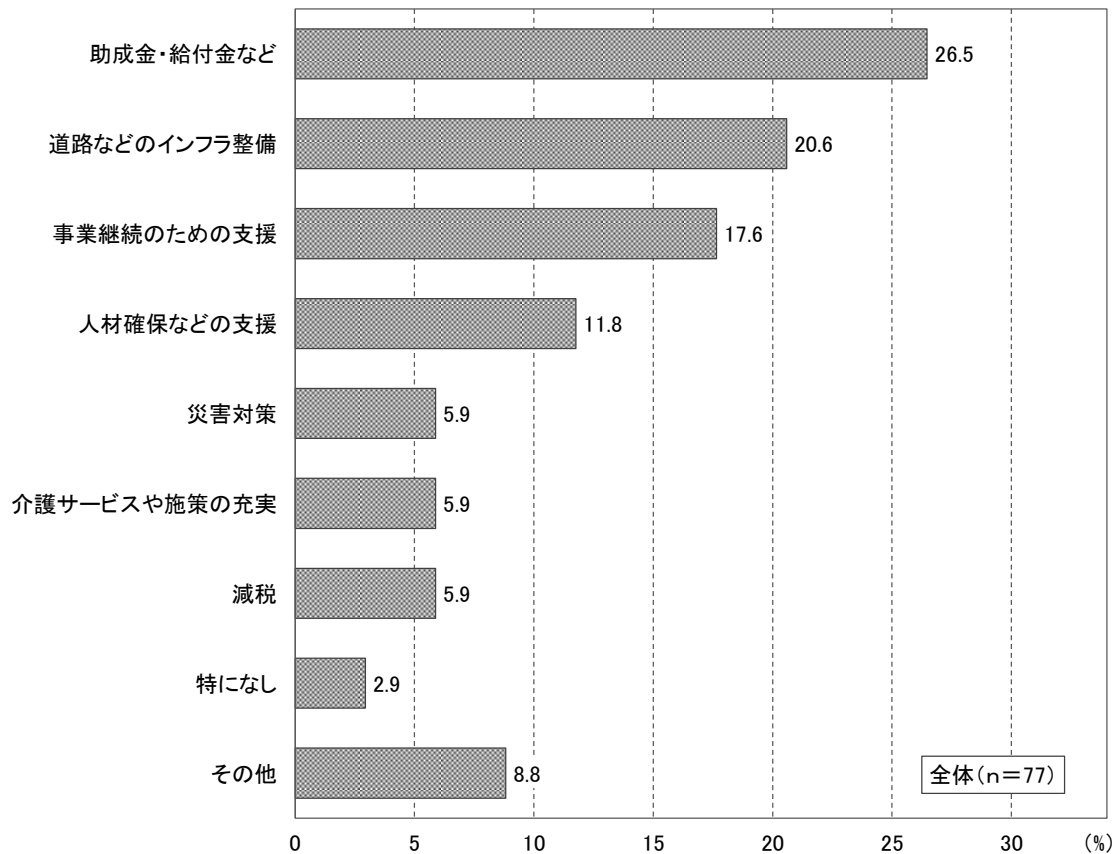
全体では、「考えている」が29.9%、「考えていない」が11.7%となっています。



問 11

今後の事業継続において、どのような公的な支援（国・県・町）があると良いと思われますか。

記述形式の回答をカテゴリーに分けてグラフ化をしたところ、「助成金・給付金など」が26.5%と最も高く、次いで、「道路などのインフラ整備」（20.6%）、「事業継続のための支援」（17.6%）の順となっています。



★記述のピックアップ

1. 助成金・給付金など

- ・コロナの影響で車の入庫が減った場合などの給付金。
- ・従業員ではなく会社自体への助成制度。
- ・もっと持続化給付金がほしい。早くコロナの特効薬ができてほしい。

2. 道路などのインフラ整備

- ・主要道路を整備してほしい。
- ・公共工事をお願いしたい。
- ・通学路になっている会社の前の道路が狭く、車が往来するので危険性がある。指導者が付いているが、子ども達は時々バラバラに歩くので、できればコースを変えるか、道路を広げられればと思う。

3. 事業継続のための支援

- ・我々運送業はコロナ禍にあっても止める事のできない業種であり、色々な制約の中、品質を維持するため努力しているところを、利用しているお客様に伝わるような支援をしてほしい。
- ・経営セミナーの開催など（商工会）。
- ・インターネット環境構築の支援。地場産業と自社の商品の開発費用の補助。

4. 人材確保などの支援

- ・人材確保などの支援。
- ・町内在住者の採用時、会社に対しての助成金があれば良いと思う。

5. 災害対策

- ・安堵町内での地質調査の実績がほしい。
- ・大雨時の水害対策をお願いしたい。社内の工場までは浸水しないが、会社正門前や駐車場が浸水し、通勤車の水没リスクがある。

6. 介護サービスや施策の充実

- ・介護保険の見直し、利用者への負担を強いるので増額はきびしいと思う。負担割を1割から2割にするだけでも、財源をある程度は確保できるのでは。
- ・根本的に居宅料が低いと感じる。特に委託を受ける要支援者の居宅料を再考願いたい。現状は、どの居宅も経営的にギリギリなところだ。併設事業所がないところは特に。

7. その他

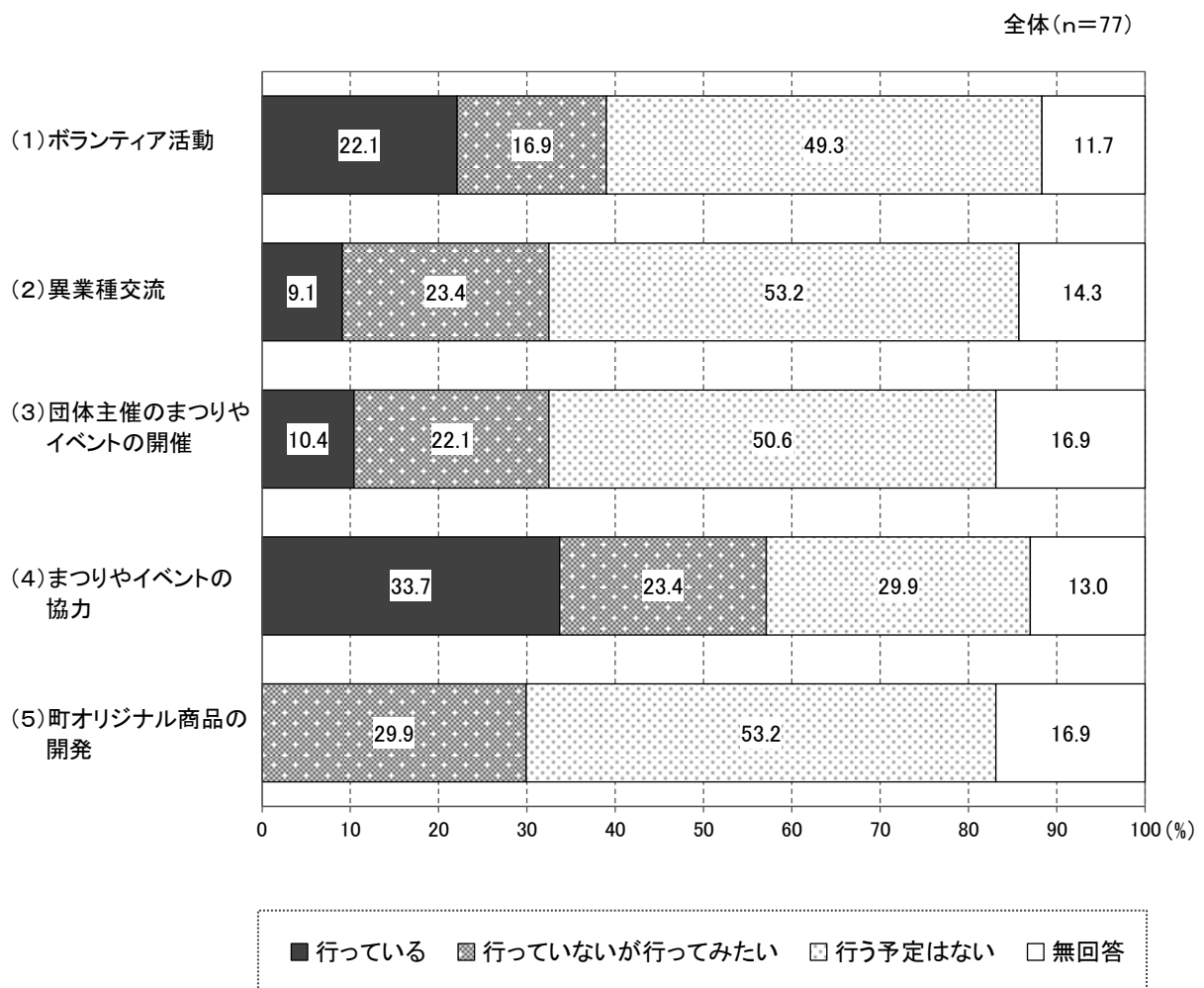
- ・規制緩和、特に町内のみの規制などを全国並に。
- ・すでに国・県からの支援はある。町からの支援はなく、こちらから何をしてくれるのか聞きたいくらいだ。

4. まちづくりについて

問 12 現在、安堵町のまちづくりと関わりのある取り組みを行っていますか。

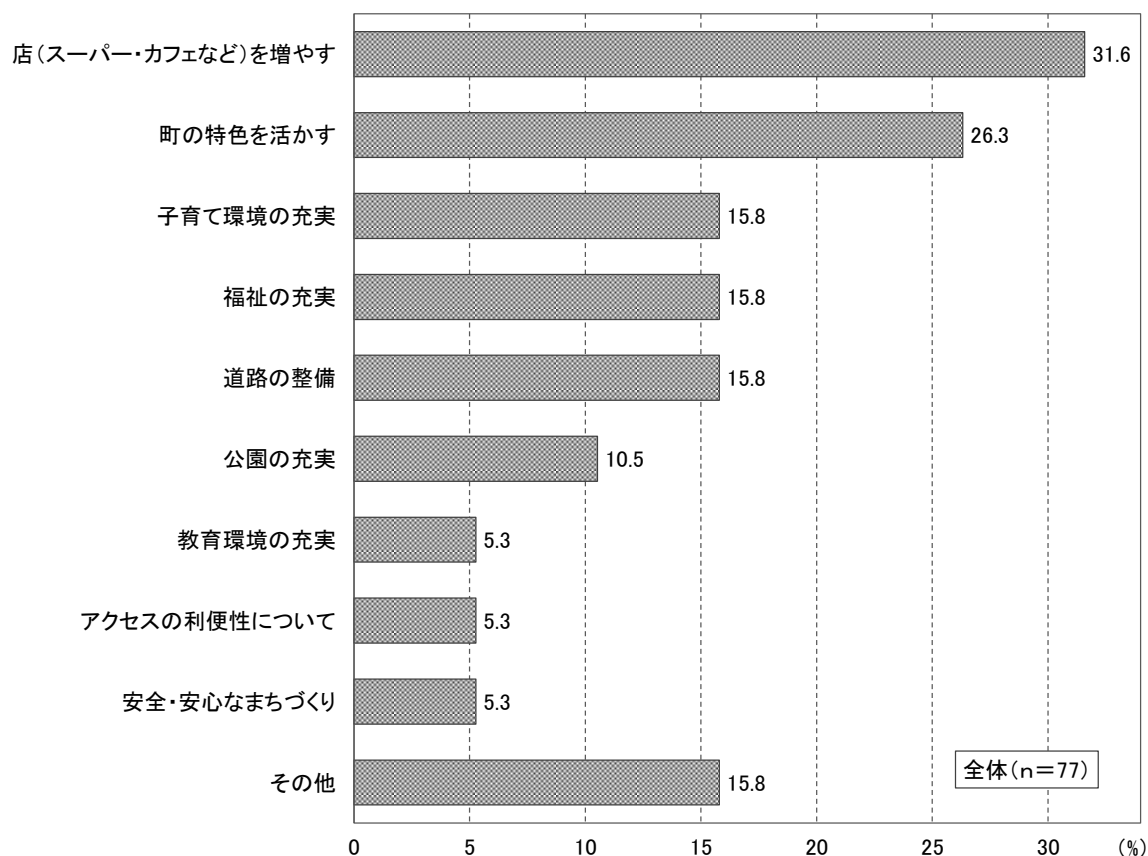
「行っている」では、「(4) まつりやイベントの協力」が 33.7%と最も高く、次いで「(1) ボランティア活動」(22.1%)、「(3) 団体主催のまつりやイベントの開催」(10.4%) の順となっています。

(5) 町オリジナル商品の開発を見ると、「行っている」の回答はありませんでした。



問 13 まちづくりに関するご意見やご要望などがあればお書きください。

記述形式の回答をカテゴリーに分けてグラフ化したところ、「店（スーパー・カフェなど）を増やす」が31.6%と最も高く、次いで、「町の特徴を活かす」（26.3%）、「子育て環境の充実」「福祉の充実」「道路の整備」（15.8%で同率）で同率の順となっています。



★記述のピックアップ

1. 店（スーパー・カフェなど）を増やす

- ・道の駅を造って、地元の農作物の販売、町内外の人との交流の場を広げ、安堵町の事を良く知ってもらおう。
- ・商店が少ないため、高齢者が外に出にくくなっている。
- ・町民だけでなく町外からも来ることができ、楽しめ、食事ができるところが近くにあれば、少しは良くなると思う。

2. 町の特徴を活かす

- ・「安堵」の名前をもっと知られるような動きをしてほしい。奈良の人でも安堵を知らない人がある。
- ・安堵町のふるさと納税の返礼品の充実。
- ・聖徳太子が安堵するような可愛いマスコット（キーホルダーなど）を作って販売する。

3. 子育て環境の充実

- ・次代を担う子ども達の地域ぐるみによる健全育成。
- ・子育てしやすい町にしてほしい。インフルエンザの予防接種の補助金や図書室の拡大・蔵書増、通学路の側溝に蓋をする（子どもがよく物を落としていると聞く）などを、お願いしたい。
- ・子どもの医療費補助を18歳までにしてほしい。せめて小学生までインフルエンザワクチンの補助を出してほしい。

4. 福祉の充実

- ・高齢化の進行に伴う高齢者福祉や障害者福祉の向上。
- ・インフラ整備や介護保険での支援が手厚ければ、閉じこもることも少なくなるのではないか。

5. 道路の整備

- ・基幹道路の整備、計画的土地利用の推進。
- ・道路が狭い上に車も通るので危険だと思う。安堵こども園の東側など、たくさんの箇所がある。
- ・道路の舗装が悪い。前の道路の振動が事務所に響く。補修されると数ヶ月は良くなるが、元に戻る。

6. 公園の充実

- ・自宅近くになでしこ交流館があるが、ボール遊びも禁止である。子どもが遊び、近くで親が見守れ、高齢者がゆっくりできる公園もない。こういったことを整備することが、ひいては企業の誘致、魅力ある町になるのではないか。

7. 教育環境の充実

- ・子どもの教育に力を入れたら、若い世代が安堵町に集まる可能性がある。そのためには、幼児から中学生まで学力アップに力を入れるなど、工夫すれば良い。例えば、英語に特化して幼児期から英語教育を取り入れ、小学性の間には日常会話ができるようになれば素晴らしいではないか。教育に予算をかけて県下一の学力がつけば意識の高い親は（多分高収入）安堵町に住みたくなると思う。人口増加→増収→安堵町が発展する。

8. アクセスの利便性について

- ・高齢者にとっては、交通の便があまり良くない。

9. 安全・安心なまちづくり

- ・これからも安心・安全なまちづくりに努めてほしい。

10. その他

- ・何かで役に立ちたい。
- ・人が集まる町になれば良いと思う。

5. その他意見

問7 現在の事業所の立地について、良い点は何ですか。

自然環境。	会社
問屋が近い。	会社
得意先の移転のため。	会社
なし。	会社
子育てをしながら仕事ができる。	会社
自宅。	会社
自宅に近い。	個人事業主
静かな環境。	個人事業主
自宅。	個人事業主
道路が広い。	個人事業主

問8 現在の事業所の立地について、不便な点は何ですか。

飲食店がない。	会社
なし。	会社
なし。	会社
特になし。	会社
なし。	会社
駐車場が少ない。	会社
特になし。	会社
特になし。	会社
若年層が少ない。	会社
なし。	-

問9 今後どのような事業展開を予定していますか。

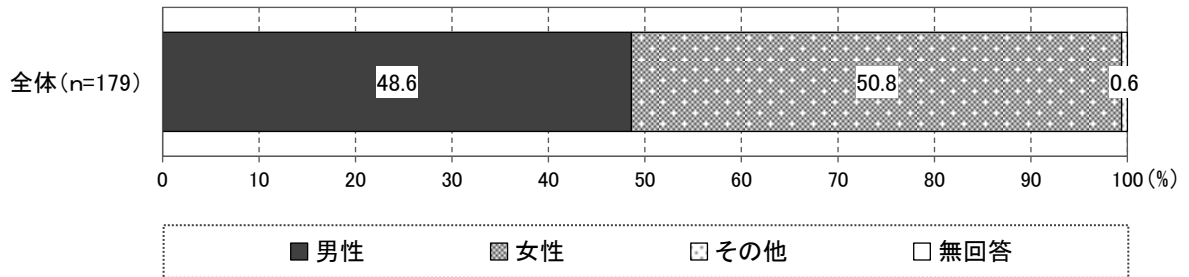
町外で事業拡張。	会社
新しい商品開発。	会社
コロナがはやく終息しないと施術が難しい。	個人事業主
未定。	-

第4章 中高生アンケート調査結果

1. あなた自身について

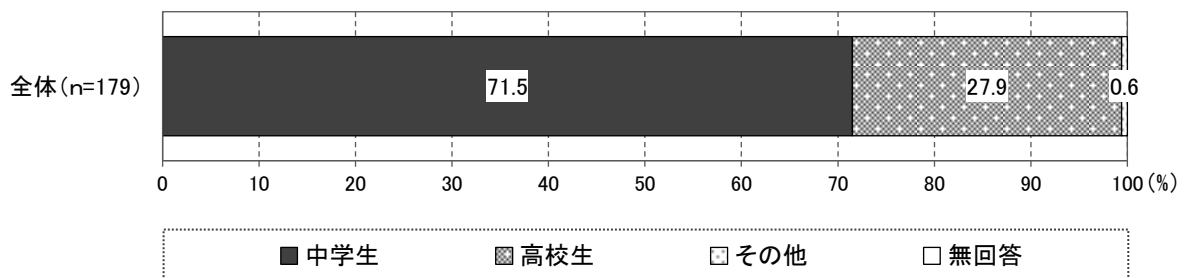
問1 あなたの性別はどれに該当しますか。

「男性」が48.6%、「女性」が50.8%となっています。



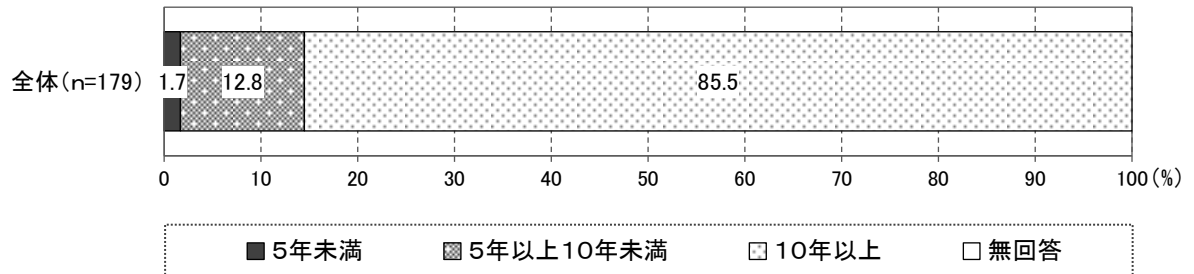
問2 中学生ですか。高校生ですか。【○は1つだけ】

「中学生」が71.5%、「高校生が」が27.9%となっています。



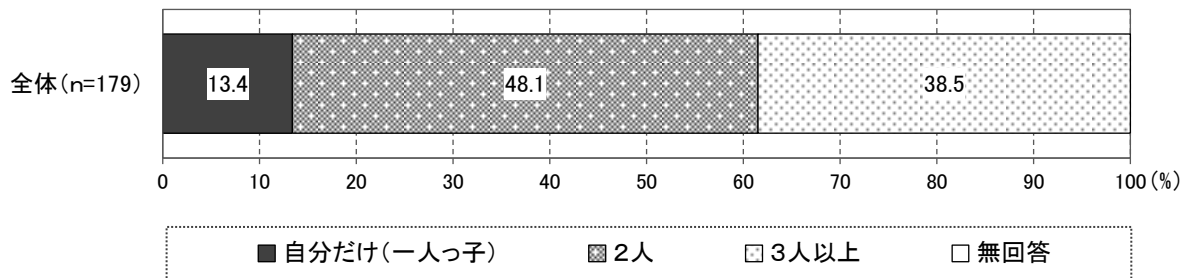
問3 安堵町に通算で何年間くらい住んでいますか。【○は1つだけ】

居住年数では、「10年以上」が85.5%と最も高く、次いで、「5年以上10年未満」(12.8%)、「5年未満」(1.7%)の順となっています。



問4 自分も入れて、きょうだいは何人ですか。【○は1つだけ】

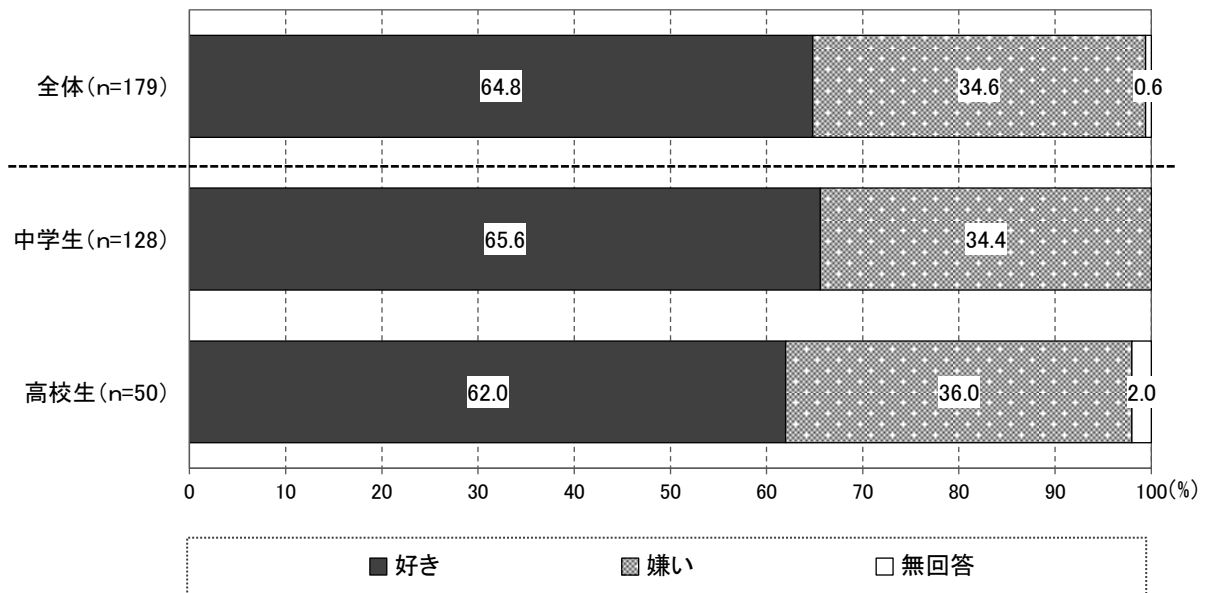
きょうだいの人数は、「2人」が48.1%と最も高く、次いで、「3人以上」(38.5%)、「自分だけ(一人っ子)」(13.4%)の順となっています。



2. 安堵町について

問5 あなたは安堵町が好きですか。【〇は1つだけ】

全体では、「好き」が64.8%と高く、「嫌い」が34.6%となっています。

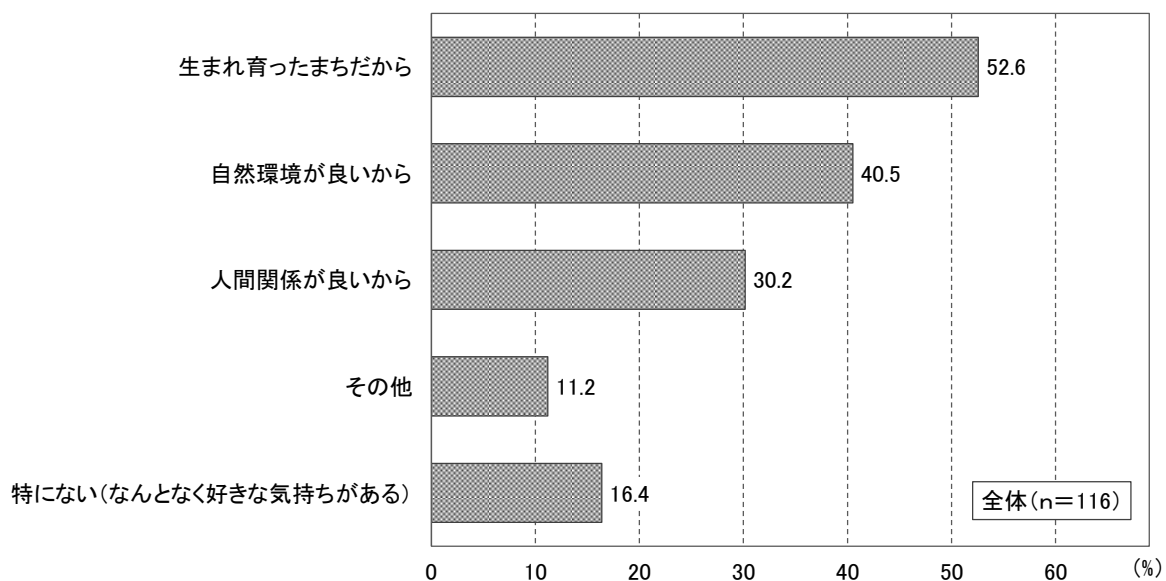


問5-1

◆問5で「1. 好き」と答えた方。

安堵町を好きな理由を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

好きと回答した方に、その理由をたずねたところ、「生まれ育ったまちだから」が52.6%と最も高く、次いで、「自然環境が良いから」(40.5%)、「人間関係が良いから」(30.2%)と続いています。

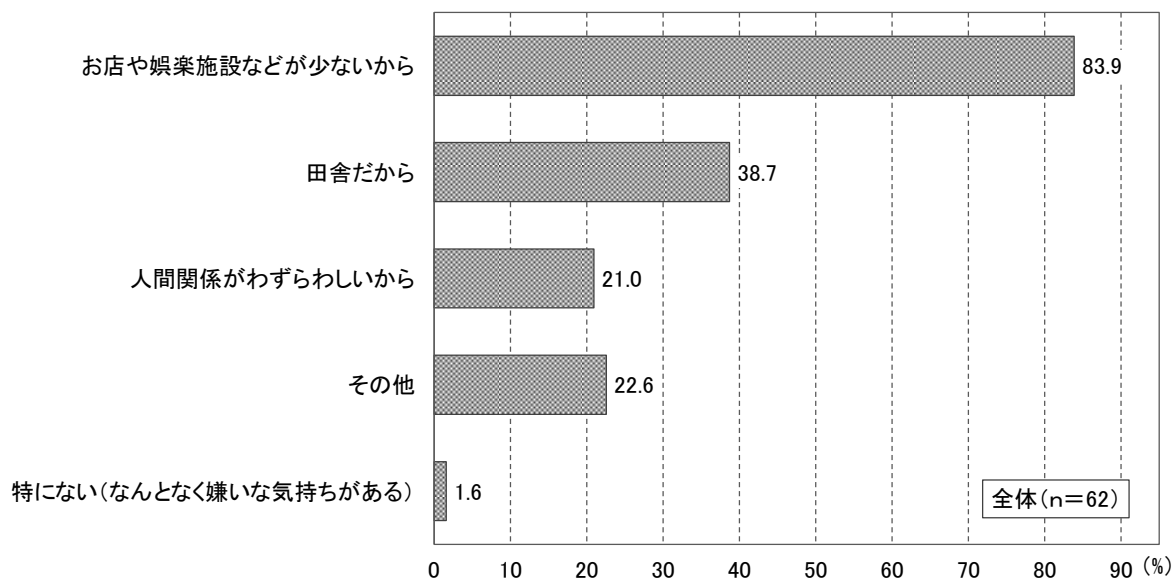


問 5-2

◆問5で「2. 嫌い」と答えた方。

安堵町を嫌いな理由を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

嫌いと回答した方に、その理由をたずねたところ、「お店や娯楽施設などが少ないから」が 83.9%と最も高く、次いで、「田舎だから」(38.7%)、「人間関係がわずらわしいから」(21.0%) と続いています。

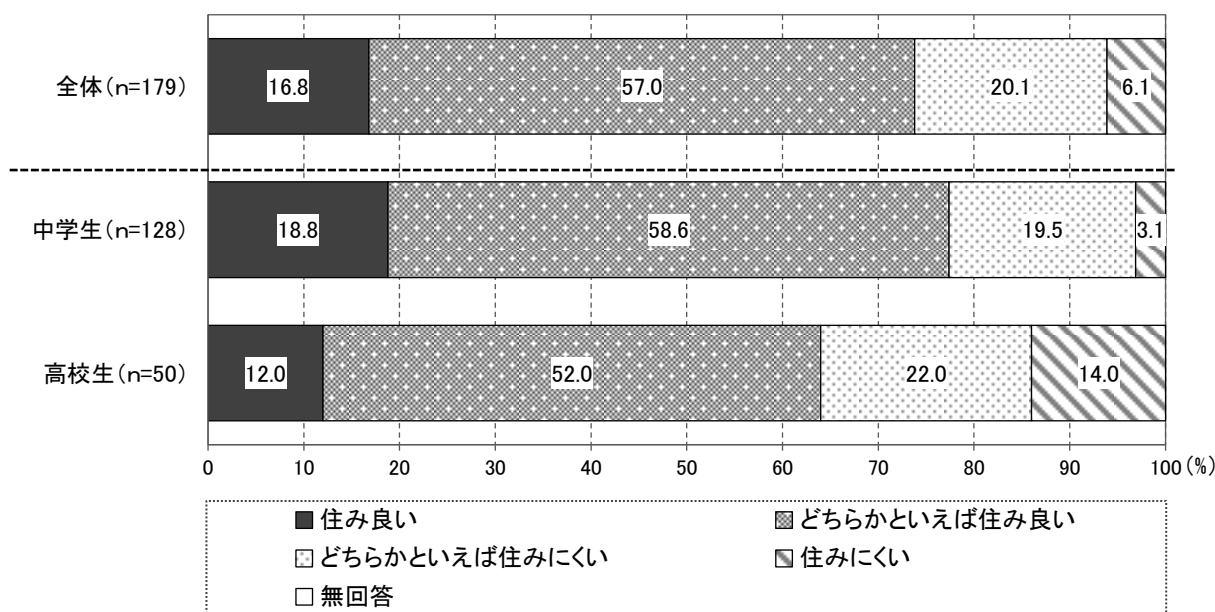


3. 町の住み良さについて

問6 あなたが住んでいる地域の住み良さはいかがですか。【〇は1つだけ】

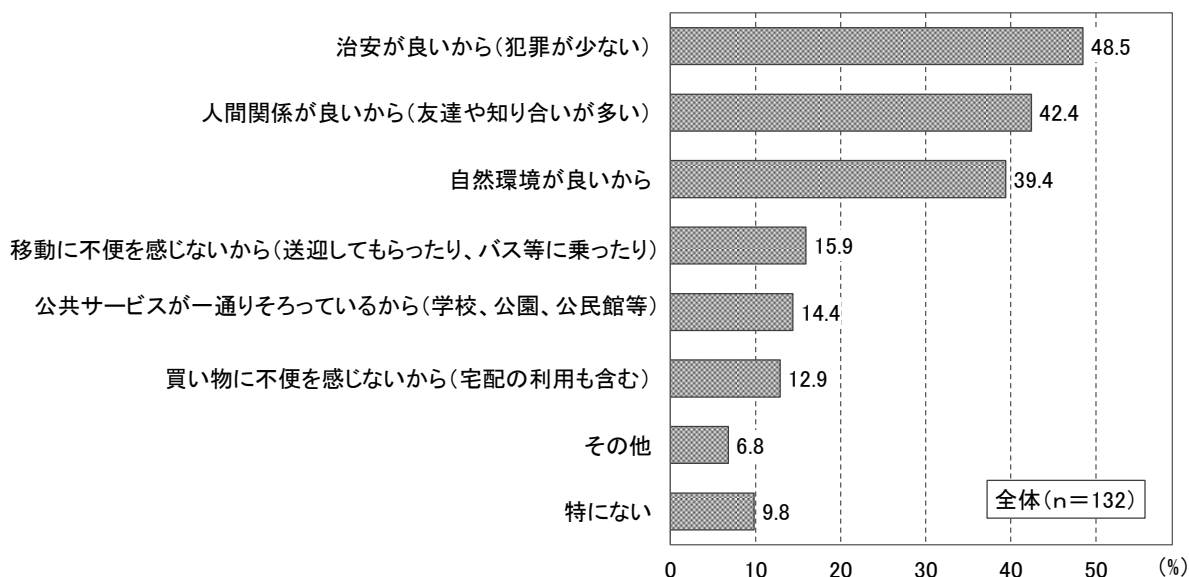
全体では、「どちらかといえば住み良い」が57.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば住みにくい」(20.1%)、「住み良い」(16.8%)の順となっています。

中学生では「住み良い」(18.8%)が「住みにくい」(3.1%)より高くなっていますが、高校生では「住み良い」(12.0%)が「住みにくい」(14.0%)より低くなっています。



◆問6で「1.」または「2.」と答えた方。
問6-1 問6で「住み良い」と回答した理由を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

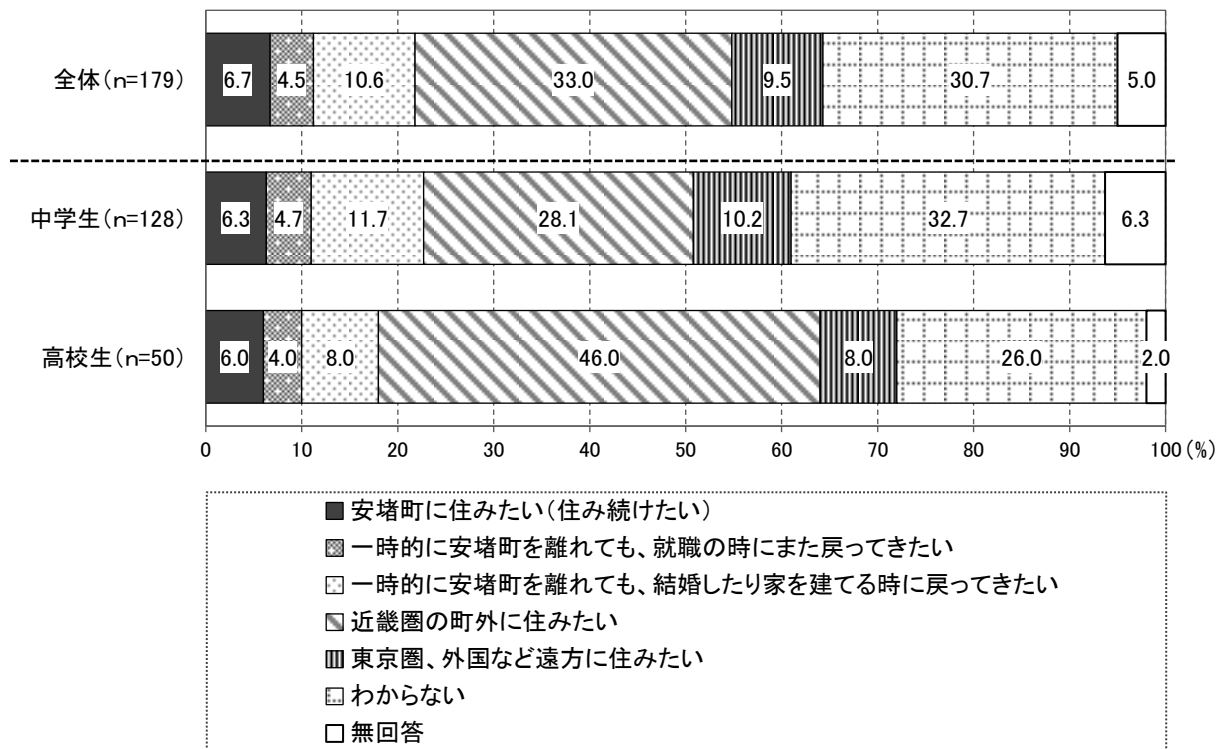
住み良いと回答した方に、その理由をたずねたところ、「治安が良いから(犯罪が少ない)」が48.5%と最も高く、次いで、「人間関係が良いから(友達や知り合いが多い)」(42.4%)、「自然環境が良いから」(39.4%)と続いています。



問 7

あなたは、地元の学校（中学校や高校）を卒業した後、安堵町に住みたいとお考えですか。【〇は1つだけ】

全体では、「近畿圏の町外に住みたい」が33.0%と最も高く、次いで、「一時的に安堵町を離れても、結婚したり家を建てる時に戻ってきたい」(10.6%)、「東京圏、外国など遠方に住みたい」(9.5%)の順となっています。また、「わからない」は30.7%となっています。

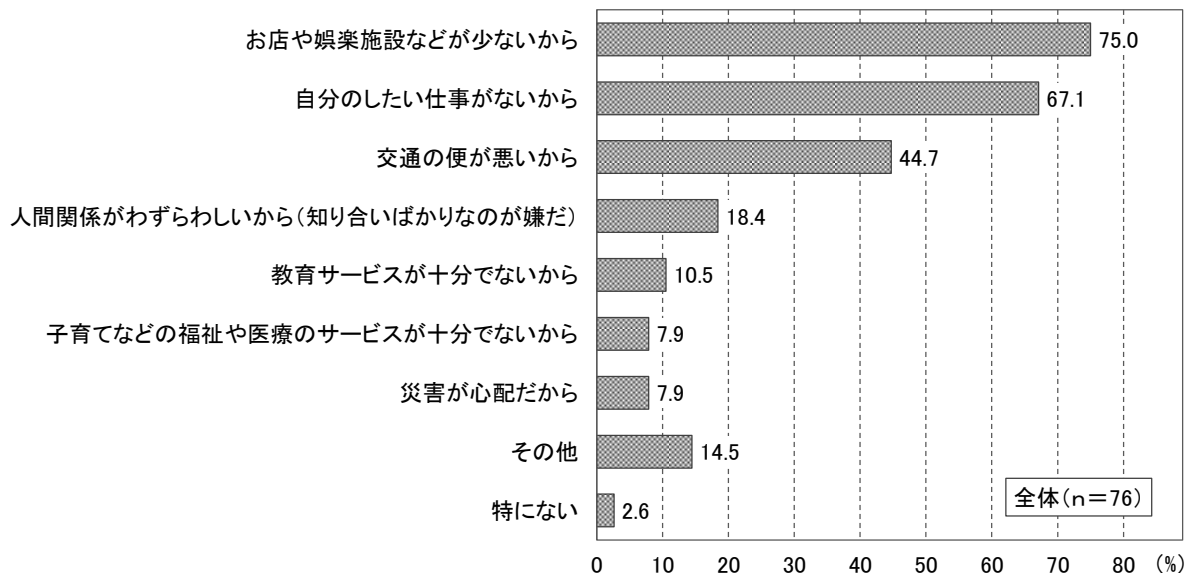


問 7-1

◆問7で「4.」または「5.」と答えた方。

安堵町に戻ってきたくない理由・安堵町に住みたいと思わない理由を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

安堵町以外に住みたいと回答した方に、その理由をたずねたところ、「お店や娯楽施設などが少ないから」が75.0%と最も高く、次いで、「自分のしたい仕事がないから」(67.1%)、「交通の便が悪いから」(44.7%)と続いています。

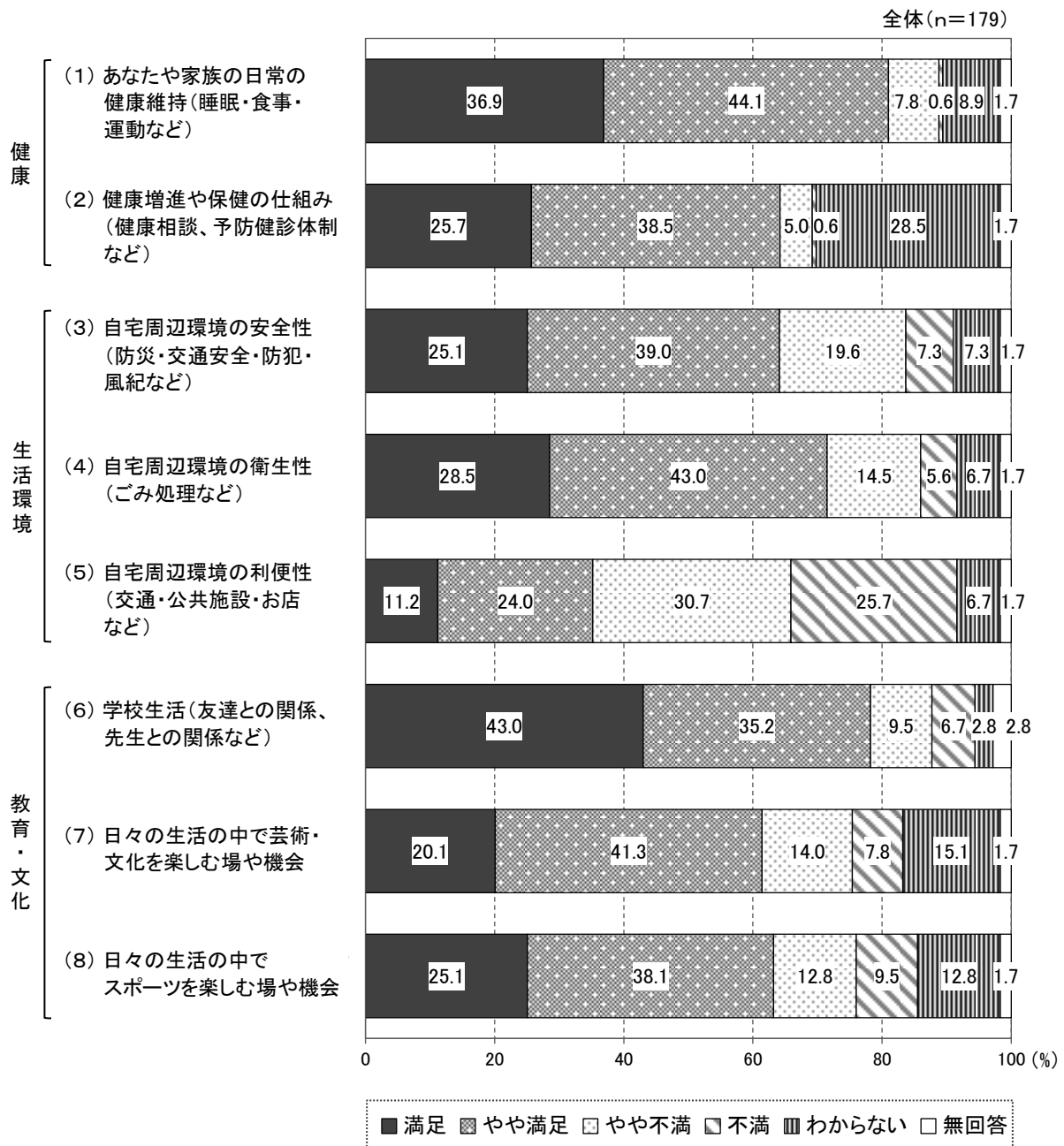


4. まちづくりについて

問8

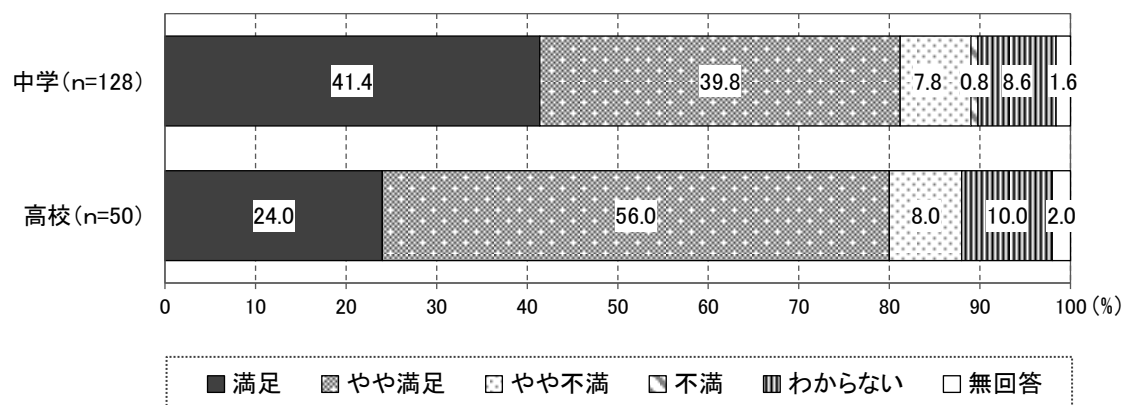
あなたが感じる安堵町のまちづくりや公的サービス、日々の生活について「満足度」を教えてください。

全体では、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”では、「(1) あなたや家族の日常の健康維持(睡眠・食事・運動など)」が81.0%と最も高く、次いで、「(6) 学校生活(友達との関係、先生との関係など)」(78.2%)、「(4) 自宅周辺環境の衛生性(ごみ処理など)」(71.5%)の順となっています。また、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”では、「(5) 自宅周辺環境の利便性(交通・公共施設・お店など)」が56.4%と最も高く、次いで、「(3) 自宅周辺環境の安全性(防災・交通安全・防犯・風紀など)」(26.9%)、「(8) 日々の生活の中でスポーツを楽しむ場や機会」(22.3%)の順となっています。

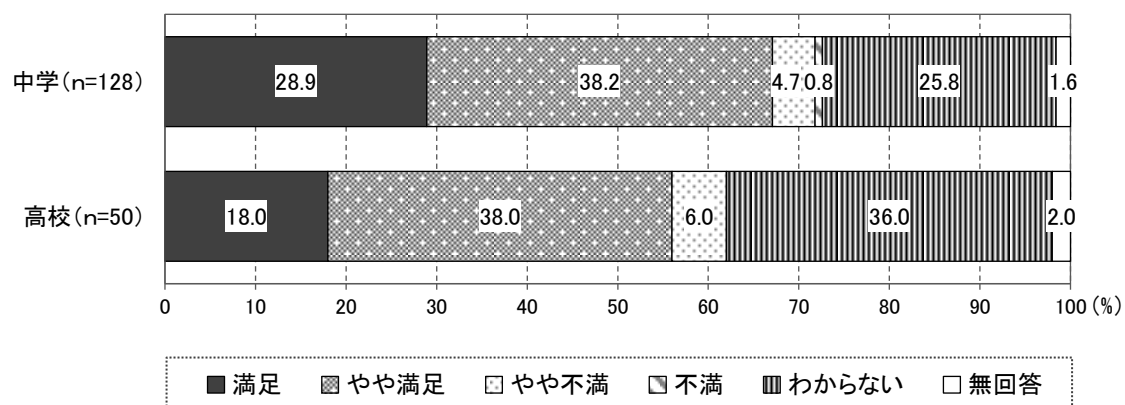


★中学生・高校生別

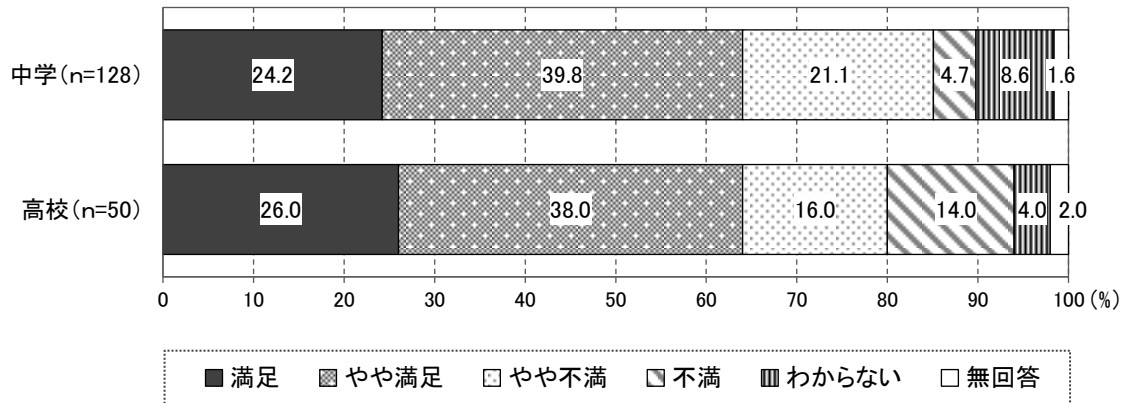
健康（１）あなたや家族の日常の健康維持（睡眠・食事・運動など）



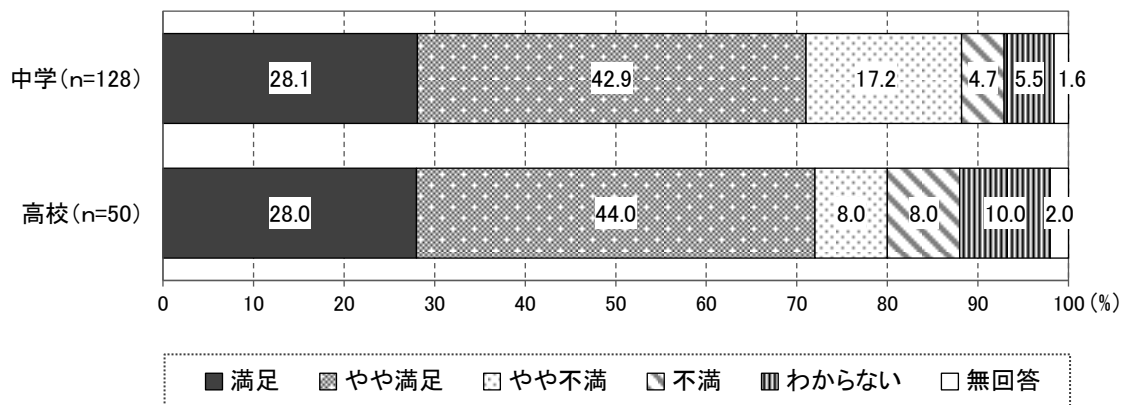
健康（２）健康増進や保健の仕組み（健康相談、予防健診体制など）



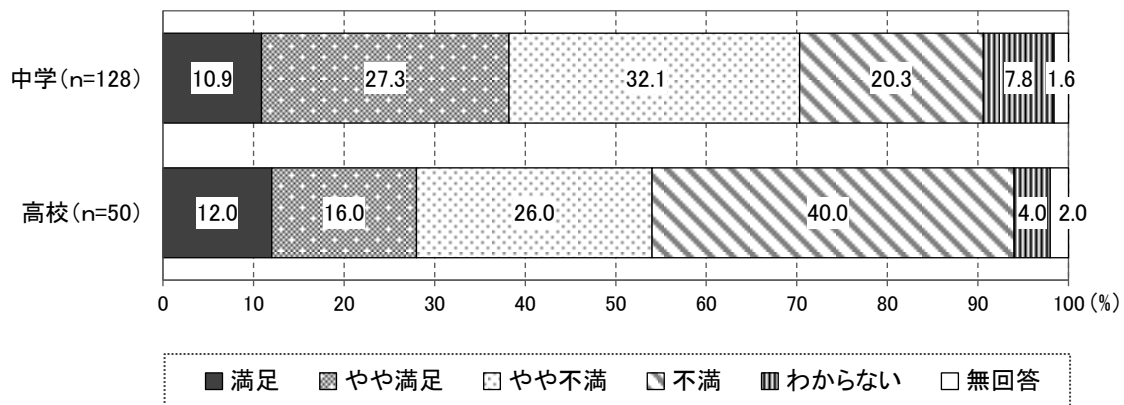
生活環境（３）自宅周辺環境の安全性（防災・交通安全・防犯・風紀など）



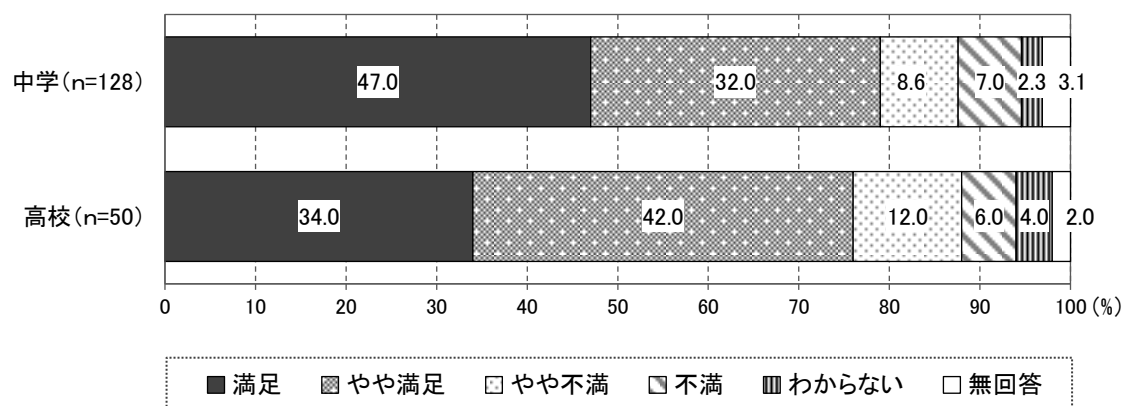
生活環境（４）自宅周辺環境の衛生性（ごみ処理など）



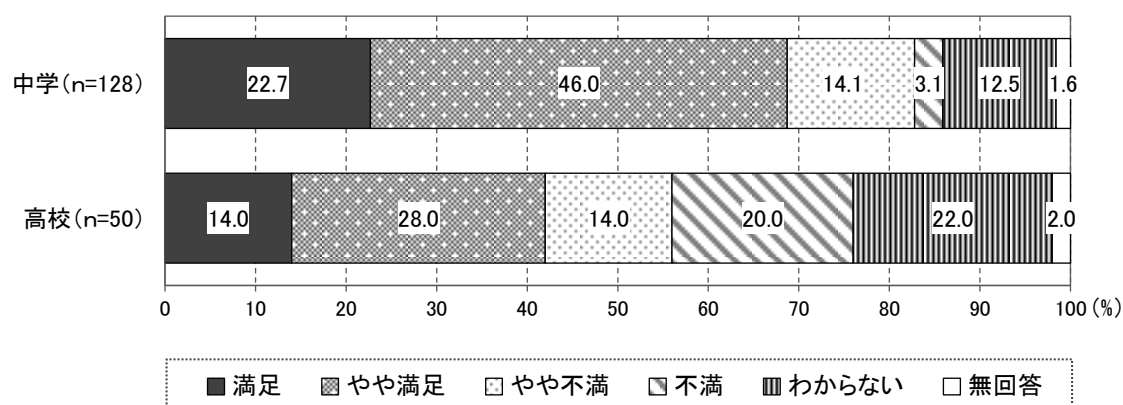
生活環境（５）自宅周辺環境の利便性（交通・公共施設・お店など）



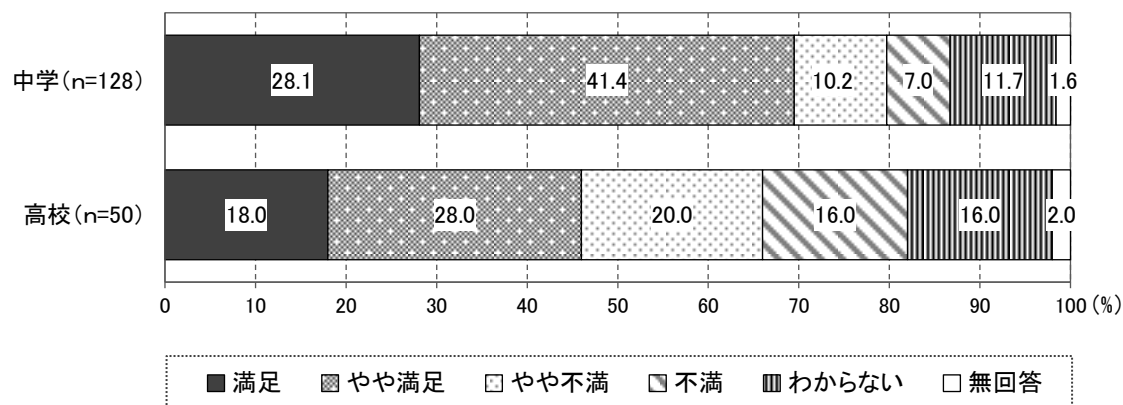
教育・文化（６）学校生活（友達との関係、先生との関係など）



教育・文化（７）日々の生活の中で芸術・文化を楽しむ場や機会

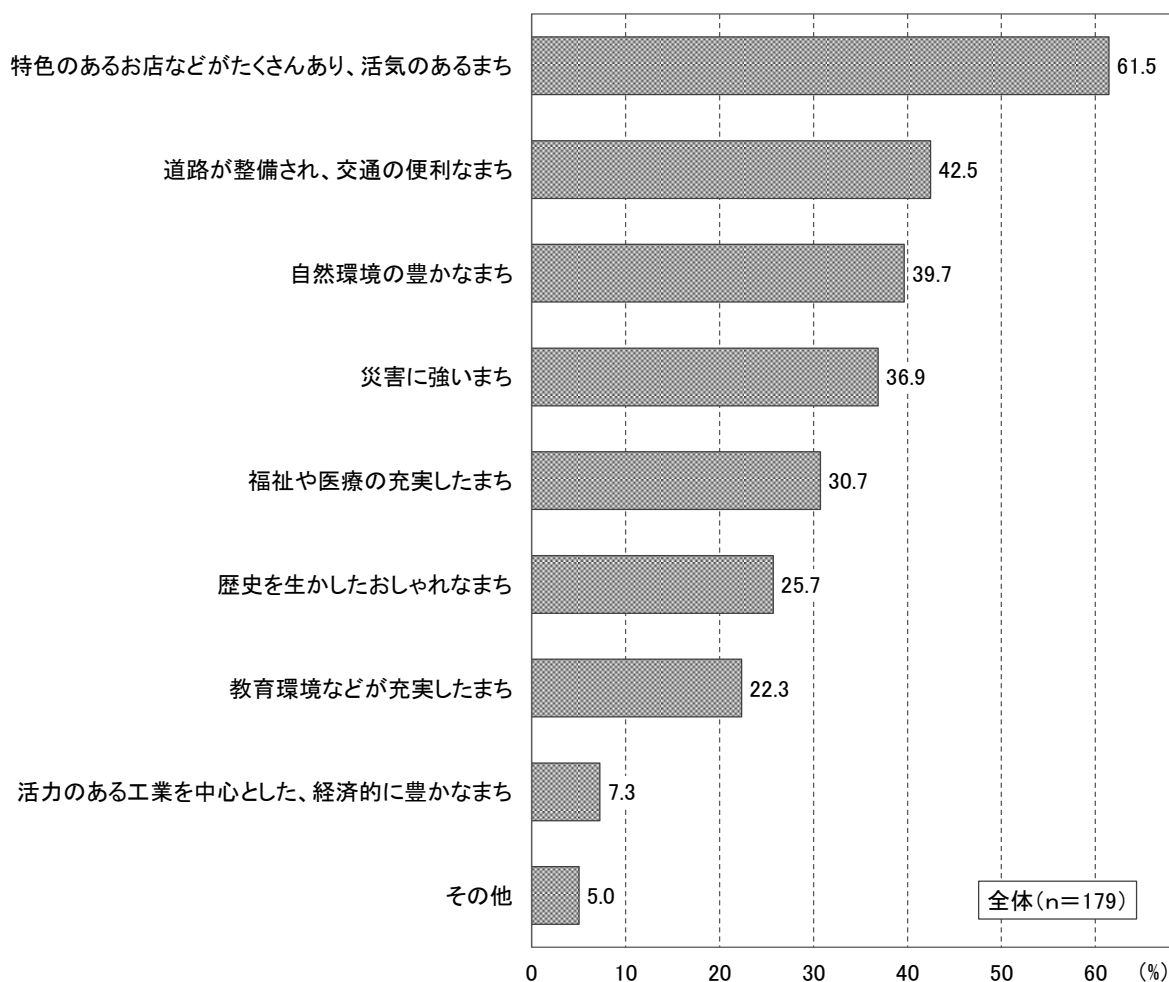


教育・文化（８）日々の生活の中でスポーツを楽しむ場や機会



問9 10年後、安堵町はどんな町であってほしいと思いますか。【〇は3つまで】

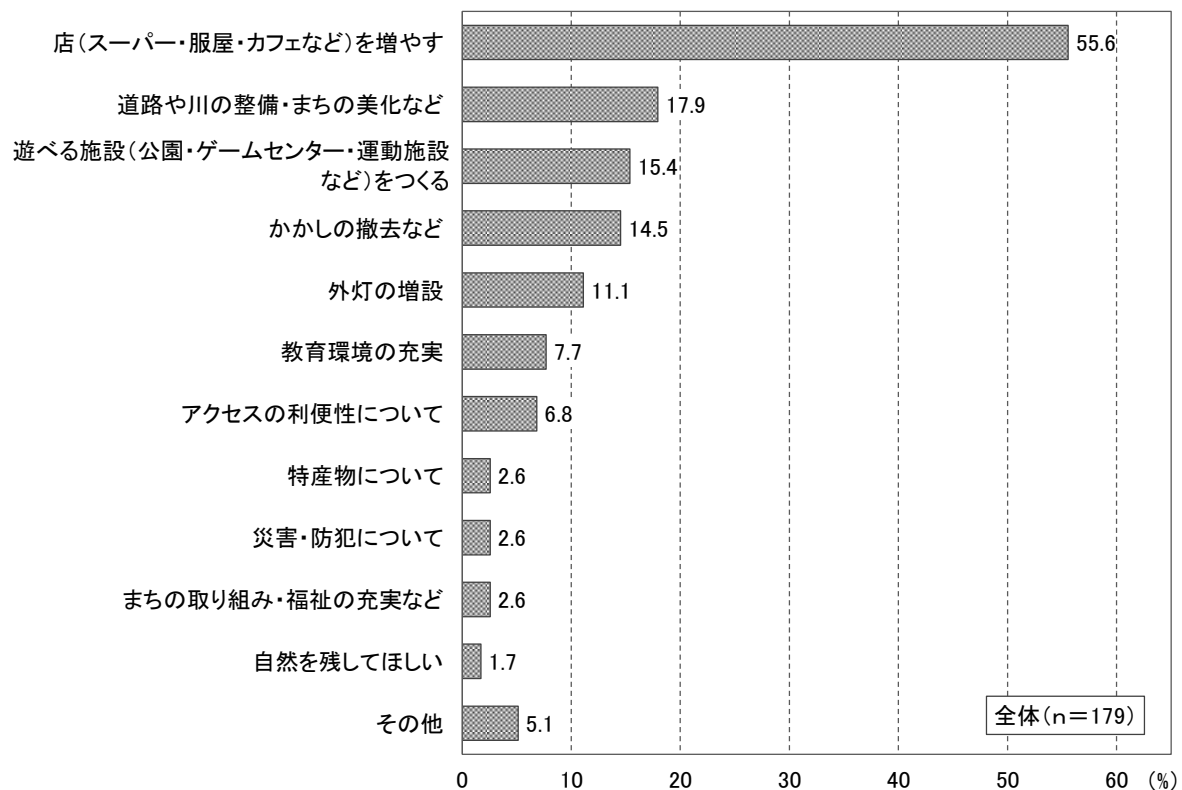
「特色のあるお店などがたくさんあり、活気のあるまち」が61.5%と最も高く、次いで、「道路が整備され、交通の便利なまち」(42.5%)、「自然環境の豊かなまち」(39.7%)と続いています。



問 10

まちづくりについて、ご意見やアイデアがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

記述形式の回答をカテゴリーに分けてグラフ化をしたところ、「店（スーパー・服屋・カフェなど）を増やす」が 55.6%と最も高く、次いで、「道路や川の整備・まちの美化など」（17.9%）、「遊べる施設（公園・ゲームセンター・運動施設など）をつくる」（15.4%）と続いています。



★記述のピックアップ

1. 店（スーパー・服屋・カフェなど）を増やす

- ・スーパーなど、もっと買い物ができるところを増やしてほしい。
- ・お店や施設などを造って皆がよりよく、過ごしやすいと思える生活ができるようにしてほしい。
- ・安堵町にお店や病院などを造り、住みやすく便利なまちになってほしい。
- ・喫茶店など、軽い食事ができる店がほしい。
- ・畑が多く店が少ないので、店を多くしてめずらしいものを売るなどすれば、人がたくさん来ると思う。

2. 道路や川の整備・まちの美化など

- ・安堵町内や川をきれいにしてほしい。
- ・聖徳太子などを建てずに、道路の補強や畑などに力を入れてほしかった。
- ・川などに落ちかけることがあるので、防げるものをつけてほしい。

- ・道が凸凹なところや狭いところ、信号がないところがあるので、整備してほしい。歩道を増やしてほしい。橋がかけてある場所はガードレールがほしい。
- ・公園や広場に雑草が多く、虫が大量にいるので遊べないところがあった。クリーンキャンペーンのような、まちを整備する機会を増やしてほしい。参加型にすることで住民の交流の場にもできる。

3. 遊べる施設（公園・ゲームセンター・運動施設など）をつくる

- ・安堵の体育館のところに平均台があるのはいいが、他にも遊具を造ってほしい。
- ・若者に人気の服屋やゲームセンターなどのお店を増やしてほしい。
- ・バスケットコートやサッカーコートなど、小中学校以外にもそういった設備をつけてほしい。
- ・もし使っていない土地や田畑があれば、バスケットができる環境や広い公園を造ってほしい。
- ・ボール遊びのできる公園がほしい。

4. かかしの撤去など

- ・夜のかかしは本当に怖い。
- ・かかしを夕方などに見かけると人と間違えて怖かったので止めてほしい。
- ・友達に安堵を教えたなら「かかしが気持ち悪い」と言われたのでかかしをなくしてほしい。
- ・かかしの取り組みはおもしろいが、古くなったかかしなどを夜に見るとすごく怖いので、管理をきちんとしてほしい。
- ・かかしを適当に作りすぎだと思う。かかしのまちにするならもっと特徴のあるかかしをつくるべきだと思う。

5. 外灯の増設

- ・夜の明かりが少なく、冬になるとさらに危なく危険。
- ・道にもっと外灯を立ててほしい。夜、安堵町を歩いていると周りがとても暗く、歩きづらい。
- ・夜、学校から自転車で帰るとき、外灯が少ないので怖い。

6. 教育環境の充実

- ・自転車通学ができるように考えてほしい。中学校の体育館が滑るので、滑らないようにしてほしい。もう少しさまざまな施設を造ってほしい。
- ・教育環境が充実したまちにしてほしい。
- ・小・中の2人の兄弟から聞くと、中学校より小学校の方がIoT設備が充実しているように思う。現在の中学2年から大学入学共通テストにおいて「情報」が受験項目として加わることから、もう少し中学のIoTの整備をするべきだと思う。

7. アクセスの利便性について

- ・バスの本数を増やしてほしい。

- ・電車の駅を造ってほしい。
- ・コミュニティバスの本数を増やしてほしい。特に朝夕の通学時間帯の平端行きのバスがなく、困っている。

8. 特産物について

- ・安堵町では昔、梨畑で栄えていたと聞いたので、最近寂しい聖徳太子像のまわりに植えてほしい。そしてその梨を使ったカフェなどを開いてほしい。
- ・安堵町の特色、活力にあふれたまちにしてほしい。
- ・聖徳太子はあまりいいものではないと思うので、安堵町の特産とうしんに力を入れた方がいいと思う。昔から続くもので、安堵町ぐらいだと思うから、かかしよりとうしんにしたらどうか。

9. 災害・防犯について

- ・災害に強いまちにしてほしい。
- ・自然災害のハザードマップを町につけてほしい。
- ・皆が安全に暮らすために、犯罪などはもっと減ってほしいと思う。

10. まちの取り組み・福祉の充実など

- ・1つの良い取り組みを諦めたり止めたりせずに、町民の意見を大切にしつつ進んで取り組んでほしい。飲食店が数か所ほしい。
- ・予告のない急なゴミ処理方法変更により、予備のゴミ袋が大量に無駄になった。1回目の変更時は早めに連絡があったので良かったが、2回目はとても急だったので両親がとても困っていた。
- ・少子高齢化が進んでいるので、親が子どもを育てやすい手厚い支援を大々的に行って盛り上げてほしい。

11. 自然を残してほしい

- ・自然は残してほしい。
- ・10年後20年後も少しは自然環境を残してほしい。

12. その他

- ・観光客が来てくれるような、魅力あるまちにしてほしいと思う。
- ・安堵町のままでいてほしい。
- ・畑を燃やす回数が多く、またバラバラで大変。
- ・今のままでいいと思う。
- ・中央体育館が他の町と比べて町民の値段が高い。2人程度で借りるときに手軽な値段にして、借りやすくしてほしい。
- ・イベントを開催してほしい。

第5章 転入者アンケート調査結果

1. 調査結果

転入者アンケートの回収は2票であり、回答は以下のようになっております。

設問	回答	
問1 あなたの性別	女性	男性
問2 あなたの年齢	30 歳代	40 歳代
問3 転入元の住所	県内	京都府
問4 転入されてお住まいになる住宅種別	新しく借りた家 (集合住宅)	新しく借りた家 (一戸建て)
問5 一緒に転入された方	● 配偶者	－
問6 安堵町に転入することとなった主な理由	● 結婚	● 自分自身の就職・ 転職・転勤
問7 安堵町のまちづくりで充実することを期待する分野	● スポーツ環境 ● 文化施設 ● 保育・教育環境	● 雇用の場
問8 安堵町のまちづくりに期待すること (自由記述)	住みよいまちづくり	－

※ 設問文は一部を省略し、無回答は「－」で記載しております。

※ ●印は、あてはまるものすべてに○をしていただく設問の回答です。

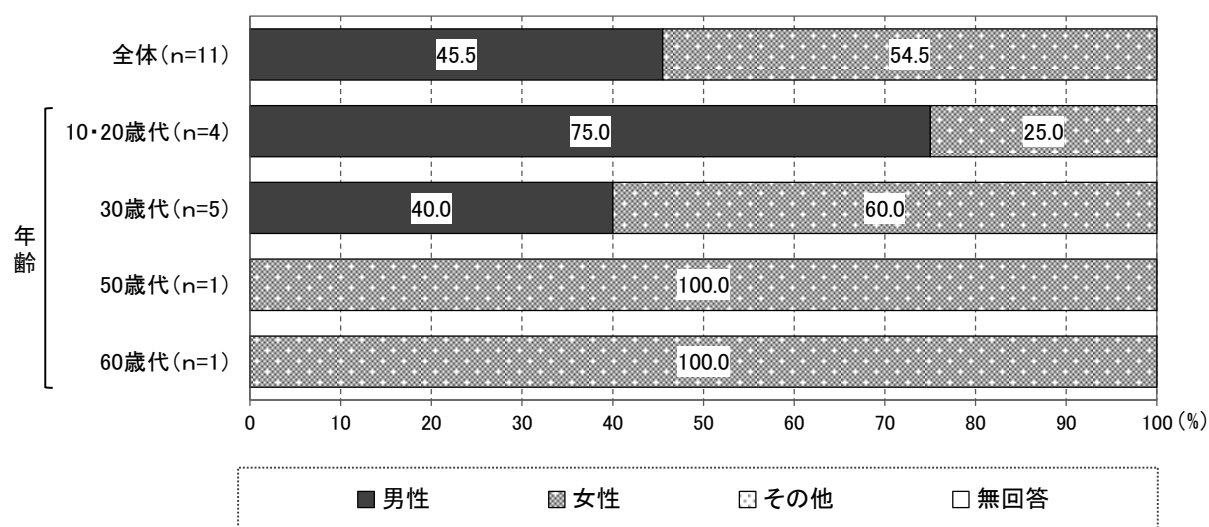
第6章 転出者アンケート調査結果

1. 調査結果

① 属性

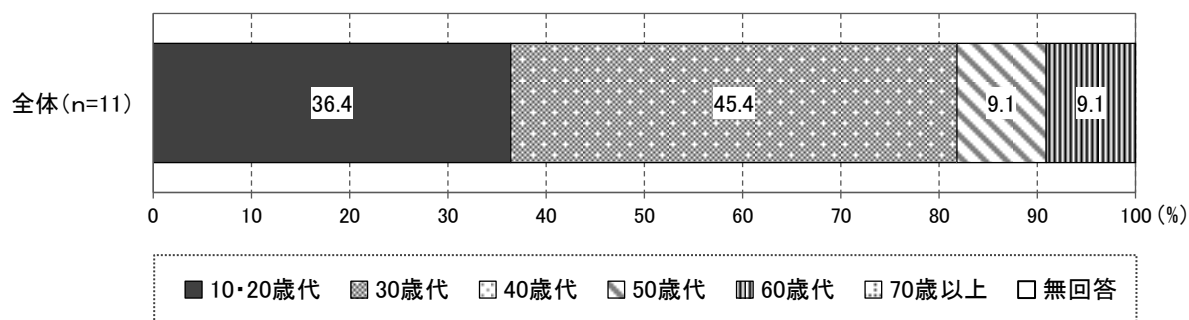
問1 あなたの性別を回答ください。

全体では、「男性」が45.5%、「女性」が54.5%となっています。



問2 あなたの年齢はいくつですか。【1つに○】

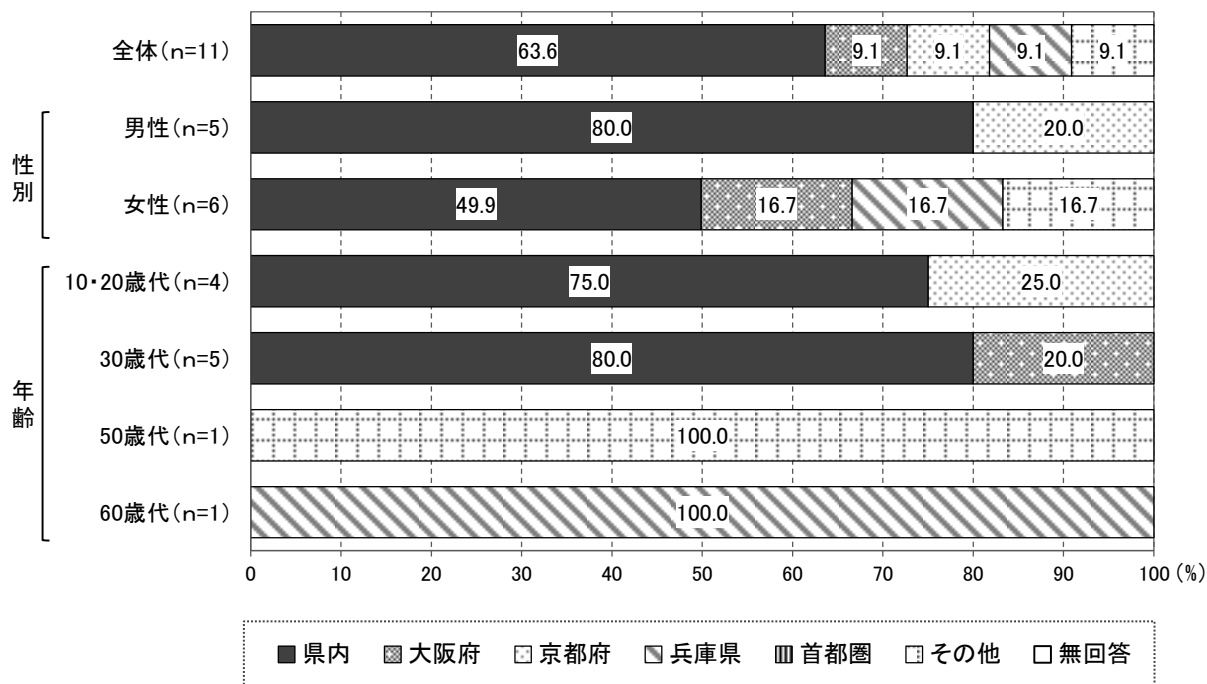
「30歳代」が45.4%と最も高く、次いで、「10・20歳代」(36.4%)、「50歳代」・「60歳代」(9.1%で同率)の順となっています。



② 転出について

問3 転出後の住所を以下より回答ください。【1つに〇】

全体では、「県内」が63.6%と最も高く、次いで、「大阪府」・「京都府」・「兵庫県」・「その他」（9.1%で同率）の順となっています。



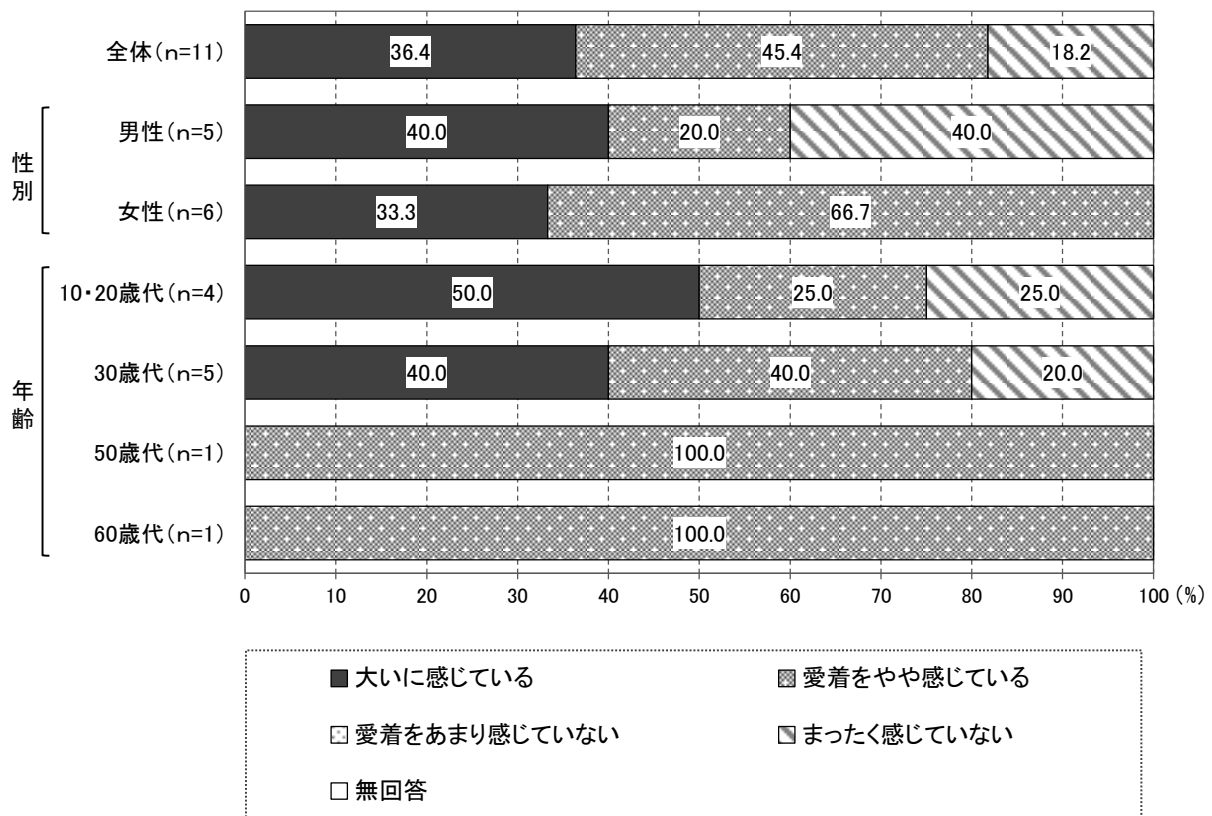
「6. その他」と回答した方

その他意見の記入は1件となっています。

滋賀県。	女性	50 歳代
------	----	-------

問4 あなたは、安堵町に愛着を感じていますか。【1つに〇】

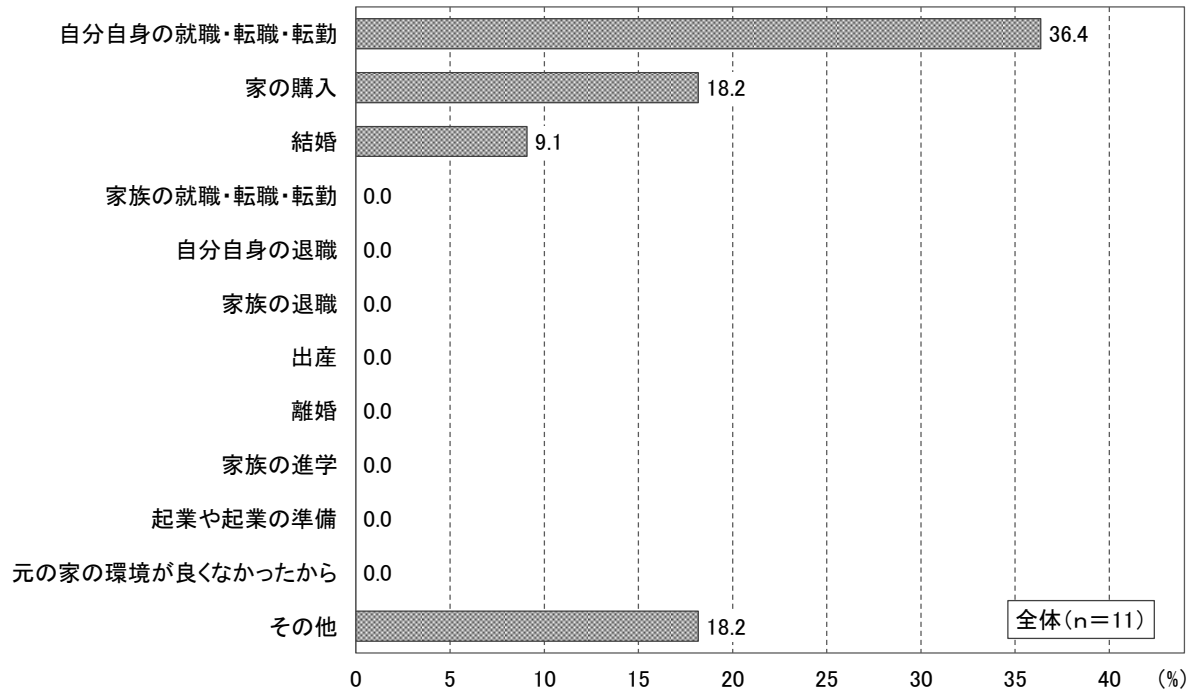
全体では、「愛着をやや感じている」が45.4%と最も高く、次いで、「大いに感じている」(36.4%)、「まったく感じていない」(18.2%)の順となっています。



問5

安堵町から他の地域へ転出する理由として、近いものを選んでください。
【あてはまるものすべてに○】

「自分自身の就職・転職・転勤」が36.4%と最も高く、次いで、「家の購入」(18.2%)、「結婚」(9.1%)の順となっています。



		(n=)	自分自身の就職・転職・転勤	家族の就職・転職・転勤	自分自身の退職	家族の退職	結婚	出産	離婚	家族の進学	家の購入	起業や起業の準備	元の家が環境が良くなかったから	その他
性別	全 体	11	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%
	男性	5	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	女性	6	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%
	その他	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢	10・20歳代	4	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%
	50歳代	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60歳代	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

「12. その他」と回答した方

その他意見の記入は1件で、他1件は無記入となっています。

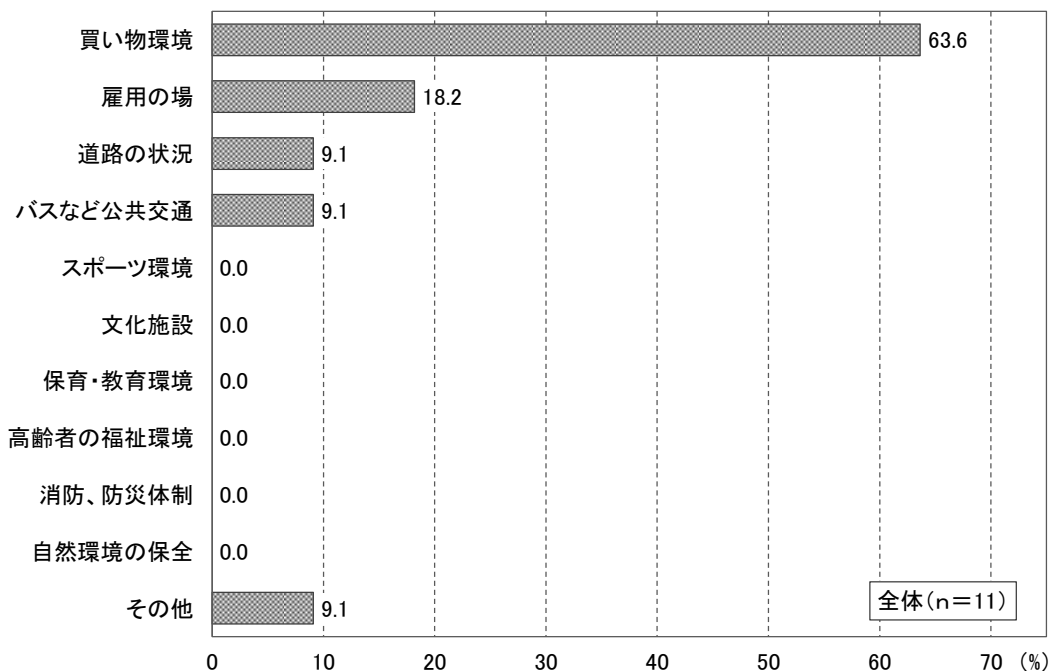
仕事の都合。	女性	30 歳代
--------	----	-------

③ まちづくりについて

問 6

安堵町のまちづくりでもっと充実すればいいと思われることは、どの分野ですか。【あてはまるものすべてに○】

「買い物環境」が63.6%と最も高く、次いで、「雇用の場」(18.2%)、「道路の状況」・「バスなどの公共交通」(9.1%で同率)の順となっています。



		道路の状況	バスなど公共交通	雇用の場	買い物環境	スポーツ環境	文化施設	保育・教育環境	高齢者の福祉環境	消防、防災体制	自然環境の保全	その他
	(n=)											
性別	全 体	11	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%	7 63.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%
	男性	5	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%
	女性	6	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	10・20歳代	4	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
年齢	30歳代	5	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50歳代	1	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60歳代	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

「11. その他」と回答した方

その他意見の記入は1件となっています。

特にない。	男性	10・20歳代
-------	----	---------

問7

今後、安堵町がよりよいまちづくりを進めるうえで、どのような手段や改善点があるか、お考えがあればお聞かせください。

自由に記述していただく形式の設問でしたが、回答はありませんでした。

第7章 調査票

1. まちづくりアンケート調査票

安堵町まちづくりアンケート

あなたの声をお聞かせください

みなさまには、日頃より町政にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

安堵町では、令和4年度を初年度とする「第5次安堵町総合計画・第2期安堵町総合戦略」を策定するにあたり、住民のみなさまのご意見を参考とするため、アンケート調査を実施させていただくことといたしました。

安堵町の未来を作る大切な計画ですので、ご回答のご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和2年10月

安堵町長 西本 安博

ご記入にあたってのお願い

- 1 調査票は、あて名のご本人がご記入ください。ご本人が記入することが難しい場合は、家族の方等が代筆での回答をお願いします。
- 2 ご記入は、黒のボールペン、または濃い鉛筆でお願いします。
- 3 回答の○の数は、【○は1つだけ】、【○は3つまで】などと指定していますので、それに合わせてください。
- 4 一部の方だけにお答えいただく質問もありますが、矢印や説明文に従ってお答えください。
- 5 令和2年10月1日現在の内容でお答えください。

※ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

11月11日（水）までにポストに投かんしてください。

※この調査についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

安堵町役場 総合政策課 電話 0743-57-1511（代表）

●あなた自身について

問1 あなたの性別はどれに該当しますか。

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問2 あなたの年齢はどれに該当しますか。【○は1つだけ】

1 18歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳
4 50歳～59歳	5 60歳～69歳	6 70歳～

●町の住み良さについて

問9 安堵町の住み良さはいかがですか。次の中から選んでください。

【○は1つだけ】

- | | | |
|---|-----------------|--------|
| 1 | 住み良い | →問9-1へ |
| 2 | どちらかといえば住み良い | →問9-1へ |
| 3 | どちらともいえない・わからない | →問10へ |
| 4 | どちらかといえば住みにくい | →問10へ |
| 5 | 住みにくい | →問10へ |

問9-1 前の質問について「住み良い」という回答の理由を、次の中から選んでください。

【〇はいくつでも】

- 1 自然環境が良いから
- 2 自然災害が少ないから
- 3 人間関係が良いから
- 4 公共サービスが一通りそろっているから
- 5 移動に不便を感じないから
- 6 買い物に不便を感じないから
- 7 商売や仕事がしやすいから
- 8 子育て環境が整っているから
- 9 防災・防犯体制が整っており、治安が良いから
- 10 教育環境が整っているから
- 11 地域の文化や伝統を気に入っているから
- 12 まちに活気があるから
- 13 その他（具体的に：)
- 14 特にない

1 ずっと住み続けたい →問 11 へ
2 当分は住み続けたい →問 11 へ
3 いずれ町外へ引っ越したい →問 10-1 へ
4 すぐに町外へ引っ越したい →問 10-1 へ
5 わからない →問 11 へ

- 1 交通の便が悪いから
- 2 買物や娯楽、余暇の場が少ないから
- 3 近くに適当な職場が少ないから
- 4 福祉サービスが十分でないから
- 5 医療機関が利用しにくいから
- 6 保育環境が十分でないから
- 7 子育て環境（情報提供・相談・サークル活動など）が十分でないから
- 8 教育環境が十分でないから
- 9 自然環境が良くないから
- 10 人間関係がわずらわしいから（自治会活動や近所づきあいが面倒など）
- 11 仕事の都合で引っ越さなければならないから
- 12 子どもや孫と同居するから
- 13 まちに活気がないから
- 14 結婚又は子どもが生まれるから
- 15 その他（具体的に： _____）
- 16 特になし

問 11 安堵町の生活環境やまちづくりの現状について、①満足度、②重要度を分野ごとにおたずねします。

① 各項目の現状についてどの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に○をつけてください。

② 各項目についてどの程度重要だと思いますか。それぞれの項目についてあてはまる番号に○をつけてください。

評価等 項目		① 満足度						② 重要度				
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満		重要	やや重要	ふつう	あまり重要でない	重要でない
例	(1) 健康診断などの健康づくり	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
保健・医療・福祉	(1) 健康診断などの健康づくり	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(2) 町内や近隣の医療環境の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(3) 高齢者福祉・介護の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(4) 障害者支援の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(5) 子育て支援の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
生活環境	(6) 公園の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(7) 道路（新設・維持補修など）の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(8) 公共交通の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(9) 上水道の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(10) 下水道、し尿処理の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(11) 住宅地賃貸住宅等の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(12) ごみ分別、環境保全の推進	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(13) 消防・防災の強化	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(14) 交通安全対策の推進	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(15) 防犯の強化	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

評価等 項目		① 満足度						② 重要度				
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満		重要	やや重要	ふつう	あまり重要でない	重要でない
産業振興	(16) 農業の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(17) 工業（製造業・建設業）の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(18) 商業の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(19) 観光の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(20) 企業誘致、雇用創出、起業支援	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
教育・文化	(21) 小学校の教育	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(22) 中学校の教育	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(23) 幼児教育	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(24) 生涯学習（各種サークル、文化、芸術など）	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(25) スポーツ振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(26) 歴史・文化財の保全、活用	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
まちづくり	(27) 国際交流・国内の地域間交流	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(28) 人権の尊重	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(29) 地域の情報化（オンライン手続きなど）の推進	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(30) 地域づくり（自治活動・ボランティアなど）	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
	(31) 行財政運営（行政運営、行政改革など）	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

問 11-1 自治体は限られた財源の中で、施策を実施していかなければなりません。問 11 の（1）から（31）の施策に優先順位をつけるとしたら、優先順位の高い施策と優先順位の低い施策は、それぞれどれですか。【それぞれ3つ記入】

優先順位の <u>高い</u> 施策	①	②	③
優先順位の <u>低い</u> 施策	①	②	③

●健康・医療・福祉について

問 12 あなたは、現在、健康づくりのために次のことができていますか。
【それぞれ1つに○】

	い でき てい な あ ま り	お お む ね で き て い る
① 食事に気をつける（量や塩分、脂肪分など）	2	1
② できるだけ体を動かす	2	1
③ ストレスをためない	2	1
④ 出かけたり、人を招いたりして人との会話を楽しむ	2	1

問 13 あなたは、介護保険や障害福祉など、安堵町の福祉サービスで、今後、特に充実すべきことは何だと思いますか。【○は3つまで】

- 1 高齢者の多様な住まいの確保
- 2 認知症の方の支援
- 3 介護予防の充実
- 4 障害者の社会参加の支援
- 5 引きこもりを防止する多様な参加機会の充実
- 6 その他（具体的に： _____）
- 7 特にない

問 14 あなたは、以下の子育てサービスで、今後、特に充実すべきことは何だと思いますか。

【○は3つまで】

- 1 学童保育（時間延長など）の充実
- 2 学童保育での学習対応の拡充
- 3 放課後（学童保育除く）学習支援の充実
- 4 子育てに関する情報提供の充実
- 5 子育て世帯の交流の場の提供
- 6 その他（具体的に： _____）
- 7 特になし

●生活環境について

問 15 通勤通学を除く日常生活での主な移動手段は何ですか。【〇はいくつでも】

1 自家用車・バイク	2 J R
3 近鉄	4 バス
5 自転車	6 タクシー
7 その他 ()	

問 16 あなたは、現在、環境保全のために次のことができていますか。
【それぞれ1つに〇】

	できて いる おおむね	できて いない あまり
① 使い捨て商品をできるだけ使わないようにしている	1	2
② 食品を買い過ぎたり、捨てたりしないようにしている	1	2
③ ごみはきちんと分別し、定められた方法で出している	1	2
④ できるだけ地域で採れた農産物を購入している	1	2
⑤ エコマーク商品など省エネ効果の高い製品を選んでいる	1	2

問 17 あなたは、ごみの減量化や資源のリサイクルに取り組みたいです。【〇は1つだけ】

1 積極的に取り組みたい	2 できる限り取り組みたい
3 あまり取り組みたくない	4 取り組みたくない

問 18 あなたは、災害への備えのために次のことを実践していますか。
【それぞれ1つに〇】

	できて いる おおむね	できて いない あまり
① 食料等の備蓄や停電時対策（ラジオ、懐中電灯等）	1	2
② 家具の転倒防止策や建物の耐震補強	1	2
③ 被災時の家族や支援者との連絡方法の確認	1	2
④ 避難場所への移動方法の確保	1	2
⑤ 自治会や隣近所など地域での交流・避難訓練	1	2
⑥ ハザードマップでの危険個所の確認	1	2

問 19 あなたは、町外から安堵町に移住する際の課題は何だと思われますか。

【〇はいくつでも】

- | | | |
|----|--------------------------|---|
| 1 | 移住希望者が住宅を新築できる土地がない | |
| 2 | 空き家を移住希望者に提供するしくみが整っていない | |
| 3 | 公共交通が不便 | |
| 4 | 医療機関が少ない | |
| 5 | 商業施設が少ない | |
| 6 | 移住者向けの情報発信やサポートが不十分 | |
| 7 | 町内には移住者向けの仕事が少ない | |
| 8 | 移住者が起業や就業しやすいしくみがない | |
| 9 | 住民が移住者の受け入れに消極的 | |
| 10 | 子育て支援策が少ない | |
| 11 | 教育環境に不安がある | |
| 12 | 特に問題はないと思う | |
| 13 | その他（具体的に： | ） |
| 14 | わからない | |

●産業振興・都市基盤について

問 20 あなたは、安堵町の産業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【〇はいくつでも】

- | | | |
|---|----------------------------|---|
| 1 | 農地を守り、営農を継続できる農業振興策の推進 | |
| 2 | 中小企業の活性化策の推進 | |
| 3 | 土地や物件、その他資源を有効活用した企業・人材の誘致 | |
| 4 | 来訪者を増やすための観光施設整備 | |
| 5 | 町のブランドイメージの形成 | |
| 6 | 広域幹線道路からのアクセス、サイン誘導等の充実 | |
| 7 | その他（具体的に： | ） |
| 8 | 特にない | |

問 21 将来の土地利用のあり方について、どのようにしていくべきだと思いますか。【〇は1つだけ】

- | | | |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 土地利用規制を緩和し、開発を促進する | |
| 2 | 土地利用規制を強化し、農地や自然環境を保全する | |
| 3 | その他（具体的に： | ） |
| 4 | わからない | |

●教育・文化について

問 22 あなたは、安堵町の小中学校の教育活動について、どう感じていますか。
【それぞれ1つに○】

	十分である	まあまあ十分である	少し不十分である	不十分である	わからない
① 基礎学力を着実に養う教育	1	2	3	4	5
② 人間関係（コミュニケーション）を築く教育	1	2	3	4	5
③ 希望する進路をかなえる教育	1	2	3	4	5
④ 心と体の健やかな成長を促す教育	1	2	3	4	5
⑤ 住民や事業所と共に進める教育	1	2	3	4	5

問 23 将来的な歴史文化の保存・活用のあり方について、どのようにしていくべきだと思いますか。【○はいくつでも】

- 1 古い民家を現代風に再生しつつ、保存・活用していくべき
- 2 町として文化財の調査研究を進め、町の指定文化財や国・県の登録文化財を増やし、アピールしていくべき
- 3 郷土の偉人の顕彰を進め、誇り意識の醸成を図るべき
- 4 灯芯づくりや大和野菜の栽培など、伝統産業の継承を進めるべき
- 5 特段、保存・活用に力を入れなくてよい
- 6 その他（具体的に： _____）
- 7 わからない

問 24 あなたは、安堵町の生涯学習・スポーツ事業について、町教育委員会は、どのようにしていくべきだと思いますか。【○はいくつでも】

- 1 初心者でも参加しやすい入門講座を増やしていくべき
- 2 子育てしながら保護者自身も学んだり、スポーツしたりできる機会を増やすべき
- 3 子どもと一緒に家族で学んだり、スポーツをしたりできる機会を増やすべき
- 4 町だけで様々な講座や事業をそろえることは難しいので、近隣市町との連携事業を増やしていくべき
- 5 自主サークルが活動を継続できるよう、会員募集の広報などへの支援に力を入れていくべき
- 6 住民が学習やスポーツの検定・大会などに参加できるよう支援していくべき
- 7 民間のカルチャースクール等が普及しているので、行政として多くの財源を使わなくてもよい
- 8 わからない

●行財政・まちづくりについて

問 25 あなたは、地域に対して、以下のことをどう感じていますか。【それぞれ1つに○】

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
① 自宅の隣近所で、お互い助けあえる仕組みができている	1	2	3	4
② 地域で日頃から防犯のための目配りができている	1	2	3	4
③ 住んでいる地域では、災害時にもみんなで助け合えると思う	1	2	3	4

問 26 あなたは、役場に対して、以下のことをどのように感じていますか。【それぞれ1つに○】

	とてもよい	まあまあよい	ふつう	あまりよくない	よくない
① 職員の対応・態度	1	2	3	4	5
② 仕事のスピード	1	2	3	4	5
③ サービスを受けられる時間帯	1	2	3	4	5
④ 役場での手続きのわかりやすさ	1	2	3	4	5

問 27 財政を安定化させるための方策や、将来への公共投資について、以下のことについてどのように思いますか。【それぞれ1つに○】

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
① 人口が減っていくので、町の公共施設の縮小や統廃合はやむをえない	1	2	3	4
② トーク安堵カルチャーセンター（昭和62年築）などの公共施設は、町の活性化のために不可欠な施設なので、多額の修繕費が生じてでも維持していくべき	1	2	3	4
③ ②により施設を維持する場合、使用料の値上げや更なる行政負担が伴ってもかまわない	1	2	3	4
④ 小学校、中学校、こども園などの子育て関連施設は、整備などを積極的にすべき	1	2	3	4

問 28 町政に関するご意見やご要望など、どんなことでも結構ですので、お書きください。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is a vertical margin line on the left side, creating a narrow left margin. The paper appears to be from a notebook or a standard ruled document.

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

このアンケート調査票は、全てご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に入れて、11月11日（水）までにポストへ投函してください。（切手は不要です。）

2. 事業所アンケート調査票

安堵町まちづくり 事業所アンケート

皆さまの声をお聞かせください

みなさまには、日頃より町政にご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

安堵町では、令和4年度を初年度とする「第5次安堵町総合計画・第2期安堵町総合戦略」を策定するため、町に関わる事業所（団体）のみなさまからご意見をいただき、企業立地の魅力を見つけ、安堵町で事業を継続し、新たに事業を生むための支援策を検討し、創設することで商工業を活性化するため、アンケート調査を実施させていただくことにいたしました。

町を未来につないでいく大切な計画ですので、回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。
誠に勝手ながら、令和2年11月11日（水）までに同封の封筒によりご返送をお願いいたします。
（切手は不要です。）

令和2年 10 月

安堵町長 西本 安博

※この調査についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

安堵町役場 総合政策課 電話 0743-57-1511（代表）

問1 貴事業所（団体）の名称

--

問2 貴事業所（団体）の形態

- | |
|--------------------------------------|
| 1 会社（株式会社・合同会社・有限会社・その他） |
| 2 その他の法人（社会福祉法人・医療法人・学校法人・NPO法人・その他） |
| 3 個人事業主（町内居住 ・ 町外居住） |

問3 創業（創立）年

明治・大正・昭和・平成・令和（ ）年

問4 従業員（構成員）は、何名ですか。概数で結構です。

正社員	名（町内居住	名 町外居住	名）
正社員以外	名（町内居住	名 町外居住	名）

問5 行っている事業の業種や概要を教えてください。

--

問6 現在の経営状況（新型コロナウイルスによる影響など）について教えてください。

--

問7 現在の事業所の立地について、良い点は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|------------|-----------|---------------|
| 1 交通が便利 | 2 人を雇いやすい | 3 事業に使える土地が豊富 |
| 4 顧客の住所が近い | 5 災害が少ない | 6 その他（ ） |

問8 現在の事業所の立地について、不便な点は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|------------|
| 1 交通が不便 | 2 人を雇いにくい |
| 3 事業に使える土地が少ない | 4 顧客の住所が遠い |
| 5 災害が心配 | 6 その他（ ） |

問9 今後どのような事業展開を予定していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------|-------------|
| 1 町内で事業拡張 | 2 町外に支店等を設置 |
| 3 町外に移転 | 4 事業の縮小 |
| 5 廃業（理由： ） | 6 現状維持 |
| 7 その他（ ） | |

問10 今後、人材の雇用は予定していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------|------------------|
| 1 予定していない | 2 予定している（問10-1へ） |
|-----------|------------------|

問10-1 町内での人材の雇用を考えていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------|----------|
| 1 考えている | 2 考えていない |
|---------|----------|

問11 今後の事業継続において、どのような公的な支援（国・県・町）があると良いと思われますか。

--

問12 現在、安堵町のまちづくりと関わりのある取り組みを行っていますか。
（それぞれ1つに○）

	行 っ て い る	み た い が 行 っ て い な い	な い 行 う 予 定 は
(1) ボランティア活動	1	2	3
(2) 異業種交流	1	2	3
(3) 団体主催のまつりやイベントの開催	1	2	3
(4) まつりやイベントの協力	1	2	3
(5) 町オリジナル商品の開発	1	2	3

問13 まちづくりに関するご意見やご要望などがあればお書きください。

--

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

3. 中高生アンケート調査票

若者のまちづくり意識アンケート

あなたの声をお聞かせください

若者のみなさんへ。

安堵町では、次代を担う中高生をはじめとする若者のみなさんが、自分たちのまちをどのように思っているのか、将来どんなまちであってほしいと思っているのか、おたずねするアンケート調査をさせていただくこととしました。このアンケート結果は、「第5次安堵町総合計画・第2期安堵町総合戦略」など、今後のまちづくりの方向性を定める大変重要な計画に反映されます。より良い安堵町をつくっていくために、ご協力をお願いします。

令和2年 10 月

安堵町長 西本 安博

ご記入にあたってのお願い

- 1 選択肢の中から選んでボールペンや鉛筆などで数字に○印をつけてください。
- 2 回答の○の数は、【○は1つだけ】、【○は3つまで】などと指定していますので、それに合わせてください。
- 3 令和2年10月1日現在の内容でお答えください。

※ご記入いただいた調査票は、中学生の方は担任の先生に渡してください。その他の方は、同封の封筒に入れて、令和2年11月11日（水）までにポストに投函してください。（切手は不要です。）

※調査についてわからないことは、先生に聞いていただくか、下記までお問合せください。

安堵町役場 総合政策課 電話 0743-57-1511（代表）

●あなた自身について

問1 あなたの性別はどれに該当しますか。

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問2 中学生ですか。高校生ですか。【○は1つだけ】

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1 中学生 | 2 高校生 | 3 その他 |
|-------|-------|-------|

問3 安堵町に通算で何年間くらい住んでいますか。【○は1つだけ】

- | | | |
|--------|-------------|---------|
| 1 5年未満 | 2 5年以上10年未満 | 3 10年以上 |
|--------|-------------|---------|

問4 自分も入れて、きょうだいは何人ですか。【○は1つだけ】

- | | | |
|--------------|------|--------|
| 1 自分だけ（一人っ子） | 2 2人 | 3 3人以上 |
|--------------|------|--------|

●安堵町について

問5 あなたは安堵町が好きですか。【〇は1つだけ】

- | | | | |
|------|--------|------|--------|
| 1 好き | →問5-1へ | 2 嫌い | →問5-2へ |
|------|--------|------|--------|

問5-1 安堵町を好きな理由を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

- | | |
|------------------------|---|
| 1 生まれ育ったまちだから | |
| 2 自然環境が良いから | |
| 3 人間関係が良いから | |
| 4 その他（具体的に： | ） |
| 5 特にない（なんとなく好きな気持ちがある） | |

問5-2 安堵町を嫌いな理由を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

- | | |
|------------------------|---|
| 1 お店や娯楽施設などが少ないから | |
| 2 人間関係がわずらわしいから | |
| 3 田舎だから | |
| 4 その他（具体的に： | ） |
| 5 特にない（なんとなく嫌いな気持ちがある） | |

●町の住み良さについて

問6 あなたが住んでいる地域の住み良さはいかがですか。次の中から選んでください。【〇は1つだけ】

- | | |
|-----------------|--------|
| 1 住み良い | →問6-1へ |
| 2 どちらかといえば住み良い | →問6-1へ |
| 3 どちらかといえば住みにくい | →問7へ |
| 4 住みにくい | →問7へ |

問6-1 問6で「住み良い」と回答した理由を、次の中から選んでください。
【〇はいくつでも】

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 自然環境が良いから | |
| 2 治安が良いから（犯罪が少ない） | |
| 3 人間関係が良いから（友達や知り合いが多い） | |
| 4 公共サービスが一通りそろっているから（学校、公園、公民館等） | |
| 5 移動に不便を感じないから（送迎してもらったり、バス等に乗ったり） | |
| 6 買い物に不便を感じないから（宅配の利用も含む） | |
| 7 その他（具体的に： | ） |
| 8 特にない | |

問7 あなたは、地元の学校（中学校や高校）を卒業した後、安堵町に住みたいとお考えですか。次の中から選んでください。【〇は1つだけ】

1	安堵町に住みたい（住み続けたい）	→問8へ
2	一時的に安堵町を離れても、就職の時にまた戻ってきたい	→問8へ
3	一時的に安堵町を離れても、結婚したり家を建てる時に戻ってきたい	→問8へ
4	近畿圏の町外に住みたい	→問7-1へ
5	東京圏、外国など遠方に住みたい	→問7-1へ
6	わからない	→問8へ

問7-1 安堵町に戻ってきたくない理由・安堵町に住みたいと思わない理由を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

1	交通の便が悪いから	
2	お店や娯楽施設などが少ないから	
3	自分のしたい仕事がないから	
4	子育てなどの福祉や医療のサービスが十分でないから	
5	災害が心配だから	
6	人間関係がわずらわしいから（知り合いばかりなのが嫌だ）	
7	教育サービスが十分でないから	
8	その他（具体的に：	）
9	特にない	

●まちづくりについて

問8 あなたが感じる安堵町のまちづくりや公的サービス、日々の生活について「満足度」を教えてください。項目ごとに、1～5の番号をそれぞれ選び〇をつけてください。

		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
(例)	(1) あなたや家族の日常の健康維持（睡眠・食事・運動など） 〇をつけて下さい→	1	②	3	4	5
健康	(1) あなたや家族の日常の健康維持（睡眠・食事・運動など）	1	2	3	4	5
	(2) 健康増進や保健の仕組み（健康相談、予防健診体制など）	1	2	3	4	5
生活環境	(3) 自宅周辺環境の安全性（防災・交通安全・防犯・風紀など）	1	2	3	4	5
	(4) 自宅周辺環境の衛生性（ごみ処理など）	1	2	3	4	5
	(5) 自宅周辺環境の利便性（交通・公共施設・お店など）	1	2	3	4	5
教育・文化	(6) 学校生活（友達との関係、先生との関係など）	1	2	3	4	5
	(7) 日々の生活の中で芸術・文化を楽しむ場や機会	1	2	3	4	5
	(8) 日々の生活の中でスポーツを楽しむ場や機会	1	2	3	4	5

問9 10年後、安堵町はどんな町であってほしいと思いますか。【〇は3つまで】

- 1 自然環境の豊かなまち
- 2 教育環境などが充実したまち
- 3 道路が整備され、交通の便利なまち
- 4 福祉や医療の充実したまち
- 5 災害に強いまち
- 6 特色のあるお店などがたくさんあり、活気のあるまち
- 7 活力のある工業を中心とした、経済的に豊かなまち
- 8 歴史を生かしたおしゃれなまち
- 9 その他（具体的に： _____）
- 10 特にない

問10 まちづくりについて、ご意見やアイデアがあれば、どんなことでも結構です。お書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

4. 転入者アンケート調査票

安堵町に転入される方へのまちづくりアンケート

安堵町では、令和4年度からの新しい総合計画の策定に向けた準備を進めています。

このアンケート調査は、安堵町が今後のまちづくりを考えるにあたり、転入された方に、転入の要因や町政に求める点などをお聞かせいただくために実施するものです。なにとぞ調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

また、この調査は無記名方式のため、個人が特定されることはありません。お答えいただいた内容につきましても統計的な処理・分析を行うこと以外の目的で使用することは一切ありません。

ご記入にあたってのお願い

1. 黒の鉛筆又はボールペンでご記入ください。
2. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。各設問文に（1つに○）、（あてはまるものすべてに○）などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
3. 令和2年10月1日現在の内容でお答えください。

問1 あなたの性別を回答ください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢はいくつですか。（1つに○）

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 10・20 歳代 | 2. 30 歳代 |
| 3. 40 歳代 | 4. 50 歳代 |
| 5. 60 歳代 | 6. 70 歳以上 |

問3 転入元の住所を以下より回答ください。（1つに○）

- | | | |
|--------|--------|--------------------------------------|
| 1. 県内 | 2. 大阪府 | 3. 京都府 |
| 4. 兵庫県 | 5. 首都圏 | 6. その他（都道府県名： ） |

問4 転入されてお住まいになるのは、次のどれですか。（1つに○）

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 新しく購入した家（一戸建て） | 2. 新しく購入した家（集合住宅） |
| 3. 新しく借りた家（一戸建て） | 4. 新しく借りた家（集合住宅） |
| 5. 自分や家族が住んでいた家 | 6. 寮・福祉施設など |
| 7. その他（ ） | |

裏面へ続く

問5 一緒に転入された方を以下より回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 18歳未満の子ども () 人 |
| 3. 18歳以上の子ども () 人 | 4. 両親 () 人 |
| 5. その他 () | |

問6 安堵町に転入することとなった主な理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 自分自身の就職・転職・転勤 | 2. 家族の就職・転職・転勤 |
| 3. 自分自身の退職 | 4. 家族の退職 |
| 5. 結婚 | 6. 出産 |
| 7. 離婚 | 8. 家族の進学 |
| 9. 家の購入 | 10. 起業や起業の準備 |
| 11. 元の家が環境が良くなかったから | 12. その他 () |

問7 安堵町のまちづくりで充実することを期待されるのは、どの分野ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 道路の状況 | 2. バスなど公共交通 |
| 3. 雇用の場 | 4. 買い物環境 |
| 5. スポーツ環境 | 6. 文化施設 |
| 7. 保育・教育環境 | 8. 高齢者の福祉環境 |
| 9. 消防、防災体制 | 10. 自然環境の保全 |
| 11. その他 () | |

問8 安堵町のまちづくりに期待することがあればお聞かせください。

--

◎本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

安堵町役場 総合政策課

住 所：奈良県生駒郡安堵町大字東安堵 958 番地

電 話：0743-57-1511

Eメール sougouseisaku@town.ando.lg.jp

5. 転出者アンケート調査票

安堵町を転出される方へのまちづくりアンケート

安堵町では、令和4年度からの新しい総合計画の策定に向けた準備を進めています。

このアンケート調査は、安堵町が今後のまちづくりを考えるにあたり、転出される方に、転出の要因や町政の改善点などをお聞かせいただくために実施するものです。なにとぞ調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

また、この調査は無記名方式のため、個人が特定されることはありません。お答えいただいた内容につきましても統計的な処理・分析を行うこと以外の目的で使用することは一切ありません。

ご記入にあたってのお願い

1. 黒の鉛筆又はボールペンでご記入ください。
2. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。各設問文に（1つに○）、（あてはまるものすべてに○）などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
3. 令和2年10月1日現在の内容でお答えください。

問1 あなたの性別を回答ください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢はいくつですか。（1つに○）

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 10・20 歳代 | 2. 30 歳代 |
| 3. 40 歳代 | 4. 50 歳代 |
| 5. 60 歳代 | 6. 70 歳以上 |

問3 転出後の住所を以下より回答ください。（1つに○）

- | | | |
|--------|--------|--------------------------------------|
| 1. 県内 | 2. 大阪府 | 3. 京都府 |
| 4. 兵庫県 | 5. 首都圏 | 6. その他（都道府県名： ） |

問4 あなたは、安堵町に愛着を感じていますか。（1つに○）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 大いに感じている | 2. 愛着をやや感じている |
| 3. 愛着をあまり感じていない | 4. まったく感じていない |

裏面へ続く

問5 安堵町から他の地域へ転出する理由として、近いものを選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 自分自身の就職・転職・転勤	2. 家族の就職・転職・転勤
3. 自分自身の退職	4. 家族の退職
5. 結婚	6. 出産
7. 離婚	8. 家族の進学
9. 家の購入	10. 起業や起業の準備
11. 元の家が環境が良くなかったから	12. その他 ()

問6 安堵町のまちづくりでもっと充実すればいいと思われることは、どの分野ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 道路の状況	2. バスなど公共交通
3. 雇用の場	4. 買い物環境
5. スポーツ環境	6. 文化施設
7. 保育・教育環境	8. 高齢者の福祉環境
9. 消防、防災体制	10. 自然環境の保全
11. その他 ()	

問7 今後、安堵町がよりよいまちづくりを進めるうえで、どのような手段や改善点があるか、お考えがあればお聞かせください。

◎本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

アンケート調査は、以上です。ご協力ありがとうございました。

安堵町役場 総合政策課

住 所：奈良県生駒郡安堵町大字東安堵 958 番地

電 話：0743-57-1511

Eメール sougouseisaku@town.ando.lg.jp

「第5次安堵町総合計画・第2期安堵町総合戦略」策定のための

アンケート調査結果報告書

令和3年3月

企画・編集 安堵町 総合政策課